

令和元年度

令和元年度

# 水道事業統計年報

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

水道事業統計年報

長野市上下水道局  
イメージキャラクター  
みずなちゃん



この資料は再生紙を使用しています

長野市上下水道局

長野市上下水道局

# 目 次

## 第1章 機構と職員

1 上下水道局機構図	1
2 所属別・会計別職員配置状況	2
3 部門・性質別職員数、給与費の状況	3

## 第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

1 主な施設の状況	4
2 機械器具及び車両等の保有数	5
(1) 所属別車両保有台数	5
(2) 長野市上下水道局無線施設一覧表	5
(3) 給水タンク一覧表	5

## 第3章 水道事業

1 水道事業の概要	6
(1) 水道事業全体の概要	6
(2) 旧上水道事業の概要	7
(3) 旧簡易水道事業の概要	8
(4) 水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法	9
2 水道の沿革	11
(1) 長野市水道のあゆみ	11
(2) 沿革	19
(3) 拡張事業の経過	21
(4) 送配水系統図	23
(5) 給水区域図	43
(6) 水系図	45
3 水道の維持管理統計	47
(1) 給水普及状況	47
(2) 各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）	47
(3) 各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水道事業）	48
(4) 取水量及び配水量	49
① 取水量	49
② 配水量	50
1) 1日最大配水量及び平均配水量の推移	51
2) 月別1日最大・最小配水量	51
3) 配水量・有効水量・無効水量の内訳	52
4) 無収水量の内訳	52
5) 無効水量の内訳	52
6) 温度と配水量の関係	53
(5) 量水器	54
① 年度別量水器取付・取替工事	54
② 口径別設置個数	54

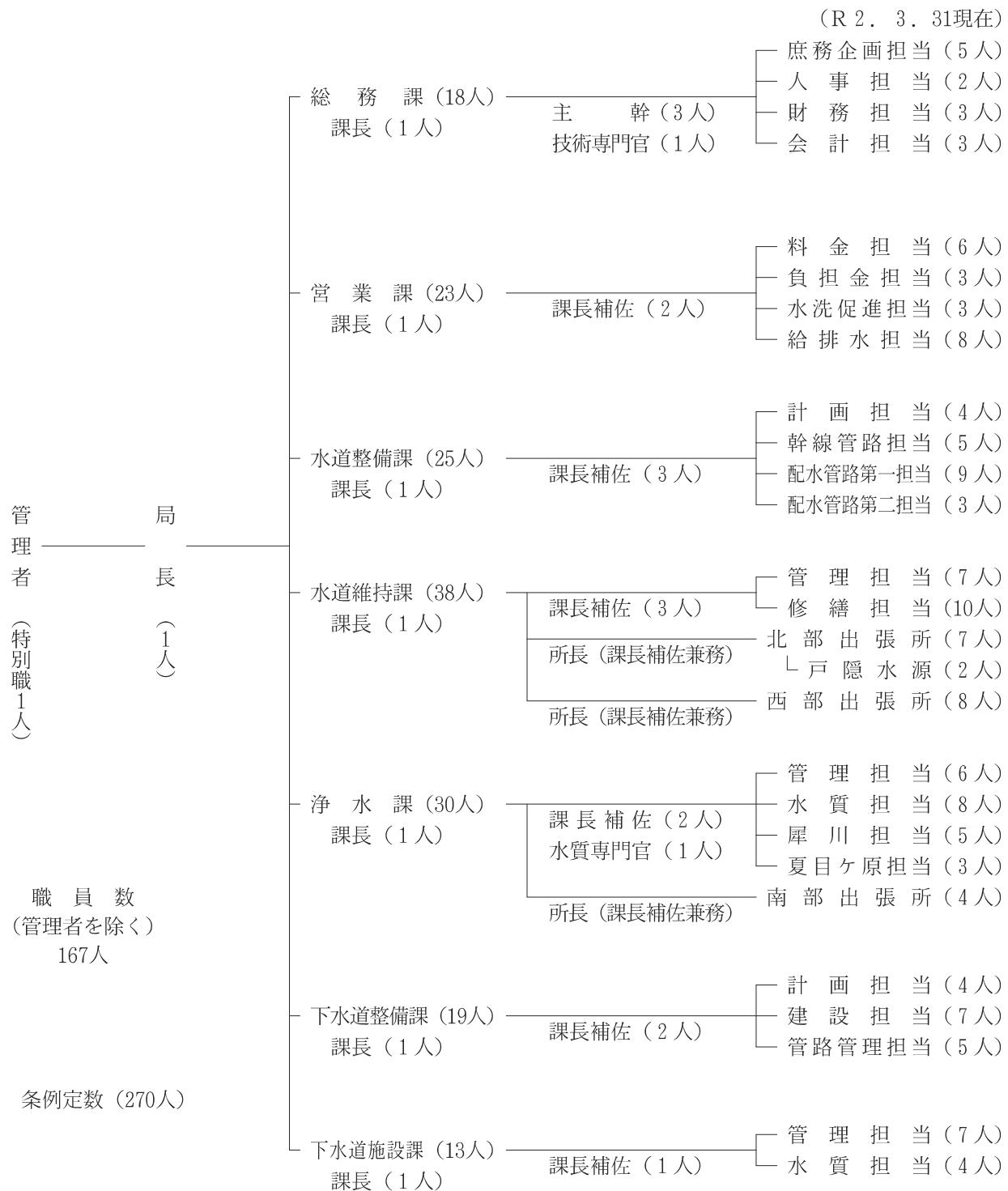
(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況	54
(7) 給水栓における苦情（処理）件数	55
(8) 漏水調査及び内訳	55
① 音聴調査	55
② 漏水調査・修繕状況	56
③ 「地下」漏水防止状況	56
(9) 薬品使用量	57
① パック年間使用量	57
② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量	57
③ 水道用消石灰年間使用量	58
④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量	58
⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量	58
⑥ 水道用活性炭年間使用量	58
(10) 動力用電力使用量及び料金	59
<b>4 水道施設</b>	<b>60</b>
(1) 導水管（路）布設延長（全地区）	60
(2) 導水管（路）布設延長（旧上水事業地区）	61
(3) 導水管（路）布設延長（旧簡易水道事業地区）	62
(4) 送・配水管布設延長（全地区）	63
(5) 送・配水管布設延長（旧上水道事業地区）	64
(6) 送・配水管布設延長（旧簡易水道事業地区）	65
(7) 各地区的水道施設	66
① 長野地区	66
② 松代地区	74
③ 若穂地区	77
④ 豊野地区	79
⑤ 戸隠地区	80
⑥ 鬼無里地区	83
⑦ 大岡地区	84
⑧ 信州新町地区	86
⑨ 中条地区	92
⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）	95
⑪ ポンプ場一覧	106
(8) 消火栓数	108
(9) ダムの概要	109
① 水源開発費（ダム負担金）とその財源	110
1) 裾花ダム	110
2) 奥裾花ダム関係	110
3) 大町ダム関係	111
<b>5 経営状況</b>	<b>112</b>
(1) 財務状況	112
① 水道事業決算報告書	112
1) 収益的収入及び支出	112
2) 資本的収入及び支出	113

② 損益計算書	114
③ 貸借対照表	114
④ 水道事業固定資産明細書	116
1) 有形固定資産	116
2) 無形固定資産	117
⑤ 収益費用構成	117
1) 収益構成	117
2) 費用構成	117
3) 性質別費用構成	118
⑥ 経営状況の推移	119
⑦ 資本的支出とその財源の推移	119
⑧ 費目別原価構成	120
⑨ 性質別原価構成	120
⑩ 供給単価と給水原価の推移	121
⑪ 経常収益と料金収入の推移	121
⑫ 一般会計繰入金の推移	122
⑬ 企業債の状況	122
1) 現況	122
2) 企業債の推移	123
3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表	124
4) 建設投資額に占める企業債比率の推移	125
⑭ 経営比較分析	126
⑮ 経営分析	127
⑯ 財務分析	127
(2) 水道料金	128
① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）	128
② 1戸当たり1カ月平均使用水量及び水道料金（税込み）	129
③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）	129
④ 水道料金収納状況（税込み）	129
⑤ 檜針件数（隔月検針）	130
⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）	130
⑦ 水道料金表	131
(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）	132
① 概要	132
② 開催状況	132
③ 過去の答申内容（長野市水道料金等審議会時を含む）	133
(4) 主な委託業務（主として100万円以上）	137



# 第1章 機構と職員

## 1 上下水道局機構図





### 3 部門・性質別職員数、給与費の状況

水道

(R 2. 3. 31現在)

項目		年 度	27	28	29	30	元
職員	損益勘定所属職員(A)		85人	83人	82人	83人	83人
	内	原水関係職員	3	3	3	3	3
	内	浄水 "	24	24	23	24	24
	内	配水・給水 "	43	41	41	41	41
	内	検針・集金 "	0	0	0	0	0
	内	総務・管理 "	15	15	15	15	15
	資本勘定所属職員(B)		26人	28人	28人	28人	27人
	職員計(A) + (B)		111人	111人	110人	111人	110人
	対前年度比率		101.8%	100.0%	99.1%	100.9%	99.1%
	指數・26年度 = 100		101.8	101.8	100.9	101.8	100.9
員	非	原水関係職員	0	0	0	0	0
	常	浄水 "	3	4	4	4	4
	勤	配水・給水 "	6	6	6	6	6
	勤	検針・集金 "	0	0	0	0	0
	勤	総務・管理 "	2	3	2	1	3
	勤	計	11人	13人	12人	11人	13人
給与費	平均給料		325,407円	326,329円	327,197円	329,588円	329,971円
	対前年度比率		99.2%	100.3%	100.3%	100.7%	100.1%
	指數・26年度 = 100		99.2	99.5	99.8	100.5	100.6
	職員1人当たり給与費年額		7,613千円	7,874千円	8,028千円	8,093千円	8,284千円
	対前年度比率		91.3%	103.4%	102.0%	100.8%	102.4%
	指數・26年度 = 100		91.3	94.5	96.3	97.1	99.4
平均年齢			43才	43才	43才	44才	45才
平均勤続年数			20年	20年	20年	20年	20年

※ 給与費年額(税込)は給料、手当、法定福利費及び退職給与。

※ 管理者を含む。

## 第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

### 1 主な施設の状況

(R 2. 3. 31現在)

名 称	所 在 地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	建物延面積 (m <sup>2</sup> )	建 物 の 構 造	取得年月日
長野市上下水道局	長野市大字鶴賀緑町 1613番地	—	874.90	(市役所第二庁舎9階)	S 62. 9. 1
水 道 維 持 課	〃 三輪1丁目2番49号	4,332	801.25	鉄骨陸屋根平屋・他3棟	H 14. 9. 13
犀 川 浄 水 場	〃 差出南 3丁目10番1号	48,808	5,301.00	鉄筋コンクリート3階・ 他9棟	H 13. 3. 31
夏 目 ケ 原 浄 水 場	〃 大字平柴246番地	41,651.71	2,404.88	鉄筋コンクリート3階・ 地下1階・他3棟	S 46. 3. 10
往 生 地 浄 水 場	〃 大字西長野往生地 1220番地2	19,240	172.46	鉄骨平屋 鉄板葺・他2棟	S 53. 5. 15
飯 纏 浄 水 場	〃 大字上ヶ屋 2471番地1	27,428	211.25	鉄筋コンクリート平屋	S 48. 3. 31
淨水課南部出張所	〃 松代町清野 332番地1	3,927	702.29	鉄骨2階	H元. 11. 30
西 条 浄 水 場	〃 松代町西条3222番地	799	67.86	鉄筋コンクリート平屋	H 27. 7. 31
豊 栄 浄 水 場	〃 松代町豊栄 1387番地2	1,783	261.00	鉄骨平屋 カラー鉄板葺・他1棟	S 59. 3. 31
寺 尾 浄 水 場	〃 松代町柴302番地	4,005	155.31	鉄筋コンクリート平屋	H 28. 3. 31
山 内 浄 水 場	〃 若穂保科 6259番地1547	1,318	92.87	鉄筋コンクリート平屋	H 29. 3. 10
川 合 新 田 水 源	〃 大字川合新田 2981番地	12,903	765.00	鉄筋コンクリート2階	H 22. 6. 28
戸 隠 水 源	〃 戸隠3105番地	155,377	68.98	木造平屋 鉄板葺	H 13. 12. 18
堀 水 源	〃 豊野町浅野 998番地3	1,347.49	133.32	鉄骨2階	H 8. 3. 15
西 沖 浄 水 場	〃 豊野町浅野 1060番地4	911.00	104	鉄骨コンクリート	S 63. 3. 31
戸 隠 浄 水 場	〃 戸隠字向林 2428番地6	3,082.00	420	鉄骨コンクリート	H 25. 12. 26
穂 刈 浄 水 場	〃 信州新町里穂刈 115番地1	1,084.00	135.11	鉄筋コンクリート平屋・ 他3棟	H 30. 3. 31
三 ケ 野 浄 水 場	〃 中条日下野 984番地4	1,575.00	429.00	鉄筋コンクリート地下1 階・地上1階	H 11. 3. 31

## 2 機械器具及び車両等の保有数

### (1) 所属別車両保有台数

(R 2. 3. 31現在)

	ライトバン	トラック	軽	特種	乗用車	計
総務課			1		1 (1)	2 (1)
営業課			9			9
水道整備課	1		7			8
水道維持課	3	2	18	9		32
浄水課	2	1	8			11
下水道整備課			6			6
下水道施設課		4	3	1	1	9
合計	6	7	52	10	2 (1)	77 (1)

( ) 内はリース車両

### (2) 無線施設一覧表

(R 2. 3. 31現在)

局名	出力	数量	備考
基地局	10 W	1 台	設置場所 水道維持課
移動局	10 W	15 台	車両13、携帯2
	5 W	5 台	携帯5
	1 W	4 台	携帯4
デジタルMCA半固定	2 W	2 台	総務課、水道維持課
デジタルMCA携帯	2 W	34 台	総務課1 営業課5 水道整備課2 水道維持課14 浄水課5 下水道整備課5 下水道施設課2
I P 無線機携帯	—	30 台	総務課1 営業課1 水道整備課1 水道維持課23 (北部5、西部6、戸隠2) 浄水課2(南部1) 下水道整備課1 下水道施設課1

### (3) 給水タンク一覧表

(R 2. 3. 31現在)

容 量	材 質	数 量
3 m <sup>3</sup>	ステンレス製	4 基
2 m <sup>3</sup>	〃	3 基
2 m <sup>3</sup>	アルミ製	4 基
1 m <sup>3</sup>	〃	2 基
500 ℥	〃	20 基

## 第3章 水道事業

### 1 水道事業の概要

#### (1) 水道事業全体の概要

(R 2. 3. 31現在)

事業創設認可年月日		明治45年6月14日		供用開始年月日		大正4年4月1日		
法適用年月日		昭和28年4月1日		計画給水区域面積		191.35km <sup>2</sup>	計画給水人口	273,000人
項目	年度	単位	平成29年度	前年度比	平成30年度	前年度比	令和元年度	前年度比
行政区域内人口	人	378,389	99.5%	376,080	99.4%	373,971	99.4%	
世帯数	世帯	159,930	100.4%	160,625	100.4%	161,472	100.5%	
給水区域内人口(A)	人	273,582	99.4%	271,568	99.3%	269,818	99.4%	
世帯数	世帯	118,246	100.2%	118,648	100.3%	119,204	100.5%	
現在給水人口(B)	人	273,134	99.4%	271,103	99.3%	269,358	99.4%	
世帯数	世帯	118,062	100.2%	118,453	100.3%	119,010	100.5%	
給水普及率(B/A)	%	99.84	同率	99.83	0.01減	99.83	同率	
配水能力	m <sup>3</sup>	165,039	100.1%	165,039	100.0%	165,039	100.0%	
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	102,202	101.2%	102,544	100.3%	99,244	96.8%	
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	92,067	99.8%	91,995	99.9%	90,703	98.6%	
一人一日最大給水量	ℓ	374	101.9%	378	101.1%	368	97.4%	
一人一日平均給水量	ℓ	337	100.3%	339	100.6%	337	99.4%	
年間総給水量(C)	m <sup>3</sup>	33,604,295	99.8%	33,578,225	99.9%	33,197,329	98.9%	
年間総有収水量(D)	m <sup>3</sup>	29,271,015	99.9%	29,198,147	99.8%	28,426,381	97.4%	
有収率(D/C)	%	87.1	同率	87.0	0.1減	85.6	1.4減	
年間有効水量(E)	m <sup>3</sup>	30,291,019	100.0%	30,217,012	99.8%	29,645,416	98.1%	
有効率(E/C)	%	90.1	0.1増	90.0	0.1減	89.3	0.7減	
供給単価	円/m <sup>3</sup>	208.44	104.0%	211.90	101.7%	212.48	100.3%	
給水原価	円/m <sup>3</sup>	173.51	97.9%	180.12	103.8%	183.53	101.9%	
総収入(税抜)	千円	7,173,481	99.6%	7,184,039	100.1%	7,074,746	98.5%	
総費用(税抜)	千円	5,669,875	97.9%	5,842,256	103.0%	5,820,977	99.6%	
企業債残高	千円	30,819,625	101.1%	30,768,343	99.8%	30,500,651	99.1%	
職員数	人	110	99.1%	111	100.9%	110	99.1%	

※ 職員数には管理者を含む。

## (2) 旧上水道事業の概要

(R 2. 3. 31現在)

項目	単位	平成29年度	前年度 対 比	平成30年度	前年度 対 比	令和元年度	前年度 対 比
給水区域内人口(A)	人	262,912	99.5%	261,273	99.4%	259,840	99.5%
〃世帯数	世帯	113,297	100.3%	113,784	100.4%	114,443	100.6%
現在給水人口(B)	人	262,595	99.5%	260,934	99.4%	259,501	99.5%
〃世帯数	世帯	113,175	100.3%	113,651	100.4%	114,310	100.6%
給水普及率(B/A)	%	99.88	同率	99.87	0.01減	99.87	同率
配水能力	m³	155,814	100.0%	155,814	100.0%	155,814	100.0%
一日最大給水量	m³	96,117	102.2%	97,282	101.2%	93,921	96.5%
一日平均給水量	m³	86,722	100.0%	87,051	100.4%	85,911	98.7%
一人一日最大給水量	ℓ	366	102.8%	373	101.9%	362	97.1%
一人一日平均給水量	ℓ	330	100.3%	334	101.2%	331	99.1%
年間総給水量(C)	m³	31,653,644	100.0%	31,773,688	100.4%	31,443,556	99.0%
年間総有収水量(D)	m³	28,252,250	99.9%	28,205,428	99.8%	27,451,998	97.3%
有収率(D/C)	%	89.3	同率	88.8	0.5減	87.3	1.5減
年間有効水量(E)	m³	29,106,516	100.0%	29,116,021	100.0%	28,583,414	98.2%
有効率(E/C)	%	92.0	0.1増	91.6	0.4減	90.9	0.7減
供給単価	円/m³	208.01	104.0%	211.47	101.7%	212.04	100.3%
給水原価	円/m³	153.58	97.3%	159.93	104.1%	164.90	103.1%
総収入(税抜)	千円	6,541,177	103.3%	6,619,655	101.2%	6,508,154	98.3%
総費用(税抜)	千円	4,843,018	97.6%	5,009,924	103.4%	5,023,608	100.3%
企業債残高	千円	24,926,506	101.0%	25,212,868	101.1%	25,090,577	99.5%

## (3) 旧簡易水道事業の概要

(R 2. 3. 31現在)

項目	単位	平成29年度	前年度 対 比	平成30年度	前年度 対 比	令和元年度	前年度 対 比
給水区域内人口(A)	人	10,670	96.7%	10,295	96.5%	9,978	96.9%
〃世帯数	世帯	4,949	98.3%	4,864	98.3%	4,761	97.9%
現在給水人口(B)	人	10,539	96.8%	10,169	96.5%	9,857	96.9%
〃世帯数	世帯	4,887	98.3%	4,802	98.3%	4,700	97.9%
給水普及率(B/A)	%	98.77	0.01増	98.78	0.01増	98.79	0.01増
配水能力	m <sup>3</sup>	9,225	100.9%	9,225	100.0%	9,225	100.0%
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	6,085	87.3%	5,262	86.5%	5,323	101.2%
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	5,345	97.1%	4,944	92.5%	4,792	96.9%
一人一日最大給水量	ℓ	577	90.2%	507	87.9%	540	106.5%
一人一日平均給水量	ℓ	507	100.2%	486	95.9%	486	100.0%
年間総給水量(C)	m <sup>3</sup>	1,950,651	97.1%	1,804,537	92.5%	1,753,773	97.2%
年間総有収水量(D)	m <sup>3</sup>	1,018,765	98.0%	992,719	97.4%	974,383	98.2%
有収率(D/C)	%	52.2	0.5増	55.0	2.8増	55.6	0.6増
年間有効水量(E)	m <sup>3</sup>	1,184,503	98.4%	1,100,991	92.9%	1,062,002	96.5%
有効率(E/C)	%	60.7	0.8増	61.0	0.3増	60.6	0.4減
供給単価	円/m <sup>3</sup>	220.29	104.3%	224.11	101.7%	224.94	100.4%
給水原価	円/m <sup>3</sup>	726.27	103.2%	753.76	103.8%	738.53	98.0%
総収入(税抜)	千円	632,304	72.7%	564,384	89.3%	566,592	100.4%
総費用(税抜)	千円	826,857	100.2%	832,332	100.7%	797,369	95.8%
企業債残高	千円	5,893,119	101.3%	5,555,475	94.3%	5,214,374	93.9%

(4) 水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法

(R 2. 3. 31現在) (単位: m<sup>3</sup>/日)

地区	水 源	浄 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法
長野地区	犀川水源	犀川浄水場	33,420	29,400	伏流水 消石灰+塩素滅菌
	裾花水源	夏目ヶ原浄水場	30,800	22,100	ダム水 急速ろ過+塩素滅菌
	川合新田水源		54,250	28,700	ダム水 急速ろ過+塩素滅菌
	戸隠水源	飯綱浄水場 往生地浄水場	29,840	24,000	地下水 塩素滅菌
			5,800	5,565	ダム水 緩速ろ過+塩素滅菌
小 計			154,110	109,765	
松代地区	寺尾水源	寺尾浄水場	5,029	2,900	地下水 エアレーション+塩素滅菌
	豊栄水源	豊栄浄水場	2,000	800	湧水・表流水 急速ろ過+塩素滅菌
	西条水源	西条浄水場	500	300	湧水・表流水 膜ろ過+塩素滅菌
			7,529	4,000	
若穂地区	塚本水源		2,000	1,500	地下水 塩素滅菌
	持者水源	持者浄水場	150	5	湧水 緩速ろ過+塩素滅菌
	笹平水源	山内浄水場	500	400	表流水 膜ろ過+塩素滅菌
	高岡水源	高岡浄水場	30	20	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
			2,680	1,925	
豊野地区	堀水水源		7,000	1,400	地下水 塩素滅菌
	西沖水源	西沖浄水場	5,870	2,000	地下水 紫外線+塩素滅菌
			12,870	3,400	
旧上水道事業計			177,189	119,090	
戸隠地区	戸隠水源	戸隠浄水場	(長野地区に含む)	(長野地区に含む)	ダム水 活性炭吸着+膜ろ過+塩素滅菌
	越水第3水源		678	181	地下水 塩素滅菌
	越水第4水源		1,440	408	地下水 塩素滅菌
	宝光社第1水源		336	214	湧水 塩素滅菌
	上野第1水源		60	17	湧水 塩素滅菌
	上野第3水源		290	80	地下水 塩素滅菌
	上野第4水源		1,663	459	地下水 塩素滅菌
	水景苑水源		25	21	地下水 塩素滅菌
	山入水源		17	6	伏流水 塩素滅菌
	宮浦水源		576	91	地下水 塩素滅菌
	谷沢水源		309	235	湧水 塩素滅菌
	跳子口水源		200	117	湧水 塩素滅菌
	下祖山第1水源		22	19	湧水 塩素滅菌
	下祖山第2水源		30	27	湧水 塩素滅菌
			5,646	1,875	
鬼無里地区	大清水水源		892	892	湧水 塩素滅菌
	タキノ沢水源		892	892	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢1号水源		34	34	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢2号水源		139	70	湧水 塩素滅菌
	ひのき沢水源		20	10	湧水 塩素滅菌
	財又水源		343	78	湧水 塩素滅菌
			2,320	1,976	

地区	水 源	淨 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法		
大岡地区	四ヶ村・五ヶ村水源		880	95	湧水 塩素滅菌		
	中牧水源		115	96	地下水 塩素滅菌		
	聖北水源		40	8	湧水 塩素滅菌		
	小聖水源		426	58	湧水 塩素滅菌		
	大岡南部水源		75	20	地下水 塩素滅菌		
	樺内南水源		432	57	地下水 塩素滅菌		
	聖山水源		1,210	488	地下水 塩素滅菌		
小 計			3,178	822			
信州新町地区	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195	1,901	伏流水 急速ろ過+塩素滅菌+紫外線処理		
	花倉水源		100	39	湧水 塩素滅菌		
	鹿道水源		95	24	伏流水 塩素滅菌		
	日名水源		78	71	伏流水 塩素滅菌		
	橋木水源		95	87	伏流水 塩素滅菌		
	吐唄水源		26	16	伏流水 塩素滅菌		
	牧田中水源		123	30	湧水 塩素滅菌		
	味藤水源	味藤浄水場	144	31	湧水 膜ろ過+塩素滅菌		
	塩本水源	塩本浄水場	158	28	湧水 膜ろ過+塩素滅菌		
	左右水源	左右浄水場	30	21	湧水 膜ろ過+塩素滅菌		
	中尾水源	中尾浄水場	12	9	伏流水 急速ろ過+塩素滅菌		
小 計			3,056	2,257			
中条地区	念佛寺沢水源	三ヶ野浄水場	1,440	889	表流水 膜ろ過+塩素滅菌+活性炭吸着		
	不動滝水源	清水浄水場	173	52	湧水 膜ろ過+塩素滅菌		
	清水水源		86	34			
	臥雲水源		51	24	湧水 塩素滅菌		
	石原水源		25	19	湧水 塩素滅菌		
	下条水源		45	35	湧水 塩素滅菌		
	小 計		1,820	1,053			
旧簡易道事業 計			16,020	7,983			
合 計			193,209	127,073			
水源種別	ダム水		90,850	56,365			
	表流水		1,940	1,289			
	伏流水		35,938	31,514			
	地下水		56,243	33,701			
	湧水		8,238	4,204			
許可水利水量	犀川水源	犀川浄水場	33,420		伏流水		
			30,800		ダム水		
	裾花水源	夏目ヶ原浄水場	54,250				
	戸隠水源	飯綱浄水場 往生地浄水場	5,800				
	岩野水源		3,430				
	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195				
	鹿道水源		95				
	日名水源		78				
	橋木水源		95				
	吐唄水源		26				
	合 計		130,189				

## 2 水道の沿革

### (1) 長野市水道のあゆみ

年 月 日	事 項
(1908) 明治41. 7. 6	長野市水道調査部設置
(1911) 明治44. 3. 20 4. 25	水源地決定の件について審議 戸隠を水源とすることを決定
(1913) 大正 2. 3. 14 3. 30	工事実施認可（往生地浄水場を建設） 上水道（戸隠）着工 費用835千円
(1915) 大正 4. 4. 1	給水戸数2,615戸、給水人口13,100人で給水開始（全国で28番目に開始）
(1922) 大正11. 8. 7	上水道布設について松代町会議決
(1924) 大正13. 12. 30	上水道布設工事竣工
(1928) 昭和 3. 2. 17	第1期拡張認可（犀川伏流水）
(1929) 昭和 4. 7. 9	夏目ヶ原浄水場（緩速ろ過池）竣工（犀川水源取水開始）
(1932) 昭和 7. 5. 12	社団法人日本水道協会設立に伴い加入
(1945) 昭和20. 11. 8	第2期拡張認可（野尻水源、岡田水源新設）
(1946) 昭和21. - -	往生地浄水場及び夏目ヶ原浄水場にて塩素滅菌開始
(1951) 昭和26. 11. 6	岡田水源竣工
(1952) 昭和27. 1. 14	野尻湖の河水利用に関する協定締結
(1953) 昭和28. 4. 1	地方公営企業法に基づき水道事業を経営するため長野市水道公社を設置
(1954) 昭和29. 2. 24 11. 6	関川水系野尻湖並びに信濃川水系鳥居川の水の使用を承認される。 蚊里田浄水場竣工
(1955) 昭和30. 1. 1 9. 20	町制を施行し豊野町水道計画を具体化 豊野町上水道（創設）事業認可 工事費59,000千円
(1956) 昭和31. 7. 20	七瀬水源竣工
(1957) 昭和32. 12. 12	第3期拡張認可（犀川水源、七瀬水源新設）
(1958) 昭和33. 10. 30	綿内村上水道竣工
(1959) 昭和34. 4. 1 9. 15 11. 20 12. 5	道島浄水場沈澱池緩速ろ過池竣工 水道公社庁舎竣工（柳町） 川田村簡易水道竣工 保科村 “
(1960) 昭和35. 3. 30 4. 1 7. -	寺尾 “ 長野市水道局設置 犀川浄水場急速ろ過運転開始 (30,000 m³/日)
(1961) 昭和36. 3. 20	西条簡易水道竣工
(1962) 昭和37. 2. 11 8. 22	管理者 柳原正之 就任 (S 47. 7. 17退任) 第3期拡張変更認可（岡田水源廃止、更北、青木島、川中島拡張）
(1963) 昭和38. 12. 27	第4期拡張認可（犀川水源増設、川合新田水源、裾花水源新設）
(1964) 昭和39. 7. 14 12. 26	戸隠水系導水路崩落による災害（有料道路関連） 里島発電所の水路を通じて取水することについての協定締結

年 月 日	事 項
(1965) 昭和40. 4. 1	夏目ヶ原緩速ろ過池使用中止
6. 1	裾花ダム建設に関する基本協定締結
(1966) 昭和41. 3. -	川合新田水源揚水開始
(1967) 昭和42. 3. 20	犀川浄水場急速ろ過拡張竣工
6. 1	四ヶ郷用水（善光寺土地改良区）から取水
12. -	メーター検満取替台帳電算処理開始
12. 20	長野市若穂上水道経営認可（保科、川田簡易水道統合）
12. 30	若松町加圧ポンプ場竣工
(1968) 昭和43. 1. 1	若穂上水道給水開始
3. 30	夏目ヶ原浄水場配水池（P C タンク9,600m <sup>3</sup> /日）竣工
	水道料金計算の電算処理委託開始
10. 5	長野大橋 橋梁添架竣工（Φ500mm）
(1970) 昭和45. 3. 31	裾花ダムの管理に関する協定締結（長野県88.6%、企業局8.7%） 長野市 2.7%
7. 20	日本水道協会長野県支部の長野県水道協議会への合併に伴い、同協議会へ加入
(1971) 昭和46. 3. 31	第4期拡張変更認可（川合新田水源増量、芋井、浅川拡張）
6. 18	寺尾水源竣工
8. 9	犀川浄水場送水管Φ600mm Y字管破裂（断水世帯数25,000戸）
10. 1	犀川浄水場前塩素処理開始
(1972) 昭和47. 3. 31	第5期拡張認可（奥裾花ダム参画、松代、若穂拡張、七瀬水源廃止）
4. 1	水道料金改定平均70%引上げ
4. 20	西山四地区拡張事業着手
6. 1	夏目ヶ原急速ろ過開始（夏目ヶ原浄水場竣工）
6. 9	裾花川上流総合開発事業に関する基本協定締結 (長野県 $\frac{908}{1000}$ ・企業局 $\frac{11}{1000}$ ・長野市、鬼無里村 $\frac{81}{1000}$ )
7. -	犀川浄水場硫酸バンドより、PACに切替える。
7. 18	管理者 石川敏郎 就任（S59.7.17退任）
7. 20	豊栄水道配水池竣工（300m <sup>3</sup> ）
9. 30	寺尾第三水源竣工（480m <sup>3</sup> ）
(1973) 昭和48. 2. 15	飯綱高原専用水道施設の買収（60,000千円）
3. 26	寺尾配水池竣工（300m <sup>3</sup> ）
5. 1	夏目ヶ原浄水場前塩素注入開始
11. 30	関崎橋配水管添架竣工、屋島橋配水管添架竣工
(1974) 昭和49. 1. 21	大日池水源取水協定書締結
3. 30	第6期拡張認可（大町ダム参画 小田切・七二会・信更拡張）
3. 31	象山配水池竣工（722.5m <sup>3</sup> ）
4. 1	飯綱浄水場給水開始
(1975) 昭和50. 3. 29	大日池水源竣工（500m <sup>3</sup> /日）
4. 1	水道料金改定平均50%引上げ

年 月 日	事 項
6. 21	湯の瀬ダム費用分担及び管理に関する協定締結
(1976) 昭和51. 3. 28	川合新田水源増量竣工
4. 1	水道料金改定平均27.2%引上げ
5. 25	蚊里田浄水場高区配水池竣工
(1977) 昭和52. 7. 1	綿内地区配水系統を川合新田水系に切替える。
(1978) 昭和53. 5. 15	往生地浄水場配水池竣工 (4,160m³)
7. 25	裾花ダム湖にカビ臭発生
9 (~10)	小田切地区及び七二会一部地域に給水開始
(1979) 昭和54. 10. 6	綿内水源廃止、川田高区 低区配水池廃止
(1980) 昭和55. 10. 1	水道料金改定平均38%引上げ
(1981) 昭和56. 3. 2	湯ノ瀬～里島間隧道竣工
8. 27	松代西条地区水利使用覚書締結 (500m³／日)
(1982) 昭和57. 3. 13	長野大通り共同溝築造に伴う配水管布設竣工
3. 15	湯ノ瀬取水施設竣工
3. 20	松代西条浄水場竣工
4. 1	水道料金改定平均20.25%引上げ
11. 26	豊栄地区水利使用覚書締結 (1,200m³／日)
(1983) 昭和58. 4. 1	信更地区、七二会残地区給水開始
7. 12	第6期第1次変更認可 (大町ダムに伴う伏流水取水の新設、松代西条等の増量)
(1984) 昭和59. 2. 10	豊栄浄水場竣工
3. 30	松代テレメーター設置
	東寺尾配水池竣工 (1,500m³)
4. 27	長野運動公園緊急貯水槽竣工 (1,000m³)
7. 18	管理者 岡村 修 就任 (S 61. 3. 26退任)
9. 20	寺尾水源拡張竣工
10. 1	「使用水量のお知らせ」と「口座振替済のお知らせ」を併記し、検針員が配布する制度とする。
12. 13	西山地区拡張竣工
(1985) 昭和60. 4. 1	機構改革により水道局を水道部、下水道部の2部制とする。
	浅川総合開発事業 浅川ダム建設工事に関する基本協定締結
	(工事費12,500,000千円 長野県 $\frac{972}{1000}$ 長野市 $\frac{28}{1000}$ )
7. 13	梅雨及び台風6号により西部地区に災害発生
7. 26	地附山地滑りによる大災害 (湯谷配水池流出)
10. 16	大町ダム完成 (総事業費47,884,745千円)
(1986) 昭和61. 3. 27	管理者 峰村富太 就任 (H 4. 3. 26退任)
(1987) 昭和62. 2. 1	西裾花台団地、地蔵平団地各簡易水道を廃止し上水道化する。
3. 30	川合新田水源ポンプ増設 (8,000m³／日、4,000m³／日各1台)
4. 1	機構改革により水道建設課は、水道建設課と浄水管理課に、松代営業所、若穂営業所は松代若穂管理事務所となる。

年 月 日	事 項
12. 28 (1988) 昭和63.	水道料金の郵便局自動払込み準備
1. 30	城山公園緊急貯水槽完成 (330m³)
2. 20	地附山地滑りにより流出した湯谷配水池を新設 (700m³)
3. 1	水道料金の調定事務処理オンライン化稼働
3. 10	若穂、松代連絡管布設 ( $\phi 400\text{mm}$ )
3. 31	犀川浄水場水道資料館完成 $\phi 900\text{mm}$ 配水管裾花川伏越完成
4. 1	水道料金改定平均11.5%引上げ
4. 20	水道料金貯金口座（自動払込）の取扱を開始（9月納付分より実施）
(1989) 平成 元 3. 20	公益事業サービスコーナー開設に伴い、同コーナーにて転出入者の水道給水申込及び水道使用休止届事務受け付ける（毎年3／20～4／10）。
4. 1	消費税導入に伴う水道料金改正（基本料金及び超過料金の合計額に100分の103を乗じた額）
12. 31	道島浄水場廃止
(1990) 平成 2. 3. 20	清野浄水場竣工
7. 11	第6期第2次変更認可（犀川水源種別変更、取水地点変更）
12. 25	夏目ヶ原浄水場拡張工事竣工
(1991) 平成 3. 4. 21	日曜日、祝日の工事店待機制度開始
(1992) 平成 4. 3. 27	管理者 内田将夫 就任 (H10. 3. 31退任)
(1993) 平成 5. 3. 31	第7期拡張変更認可（浅川ダム参画、浅川拡張、犀川浄水場拡張）
4. 1	3階建て建築物直結給水開始
7. 27	駅東口～長野運動公園間配水幹線 ( $\phi 700\text{mm}$ ) 供用開始
9. 7	第1回ひとり暮らし老人宅の水道、下水道設備点検サービス実施
(1994) 平成 6. 3. 2	上野配水池から市東北部に給水を開始
3. 23	山内配水池増設
4. 1	松代、若穂地区の給水装置工事申請の受付事務を松代若穂管理事務所から業務課へ統合 修繕工事費に係る工事店に対する標準価格の指導を廃止（上、下水道） 豊野町、戸隠村及び鬼無里村の水質検査を受託
8. 1	高温少雨による渇水のため、節水PRを実施（チラシ全戸配布、ポスター、懸垂幕、屋外文字放送、節水コマの取付ほか）
8. 9	高温少雨による渇水（裾花ダム貯水率20%を割る）のため渇水対策本部を設置（9月14日まで）
12. 1	修繕等受付窓口を給水課へ一本化する。
(1995) 平成 7. 1. 24	兵庫県南部地震による被災地神戸へ水道施設復旧班を派遣（2月28日まで延べ36人）
3. 20	湯谷ポンプ場移設完了
4. 1	通水80周年を迎える。 機構改革により松代若穂管理事務所が廃止され、総務課、料金課、設備指導課、水道整備課、浄水課、サービス課の6課となる。 水道局財務会計オンラインシステム稼働

年　月　日	事　項
	5. 1 水道料金改定平均8.62%引上げ（一般家常用及び業務用の用途区分及び基本水量を廃止し、口径別料金に改める）
	7. 11 梅雨前線豪雨による堀水源水没事故
	7. 19 通水80周年記念式典挙行・通水80周年記念誌「暮らしの水の物語」発行 7. 28
	7. 28 通水80周年記念「毛利 衛さん講演会」開催
(1996) 平成 8. 3. 15 上・下水道ガイドブック発行	
	4. 1 宅内修繕専門業者による24時間宅内修繕工事受付体制の導入
(1997) 平成 9. 1. 20 犀川系取水を表流水から伏流水に変更	
	3. 1 パンフレット「長野市の水道」発行
	4. 1 消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の105を乗じて得た額）
	6. 1 水道週間行事として「水道水源地見学とそば打ち体験バスツアー」実施
	6. 6 水道週間行事として「水道使用者の意見を聞く会」実施
	8. 29 80周年記念公園「夏目ヶ原親水公園」竣工
(1998) 平成10. 4. 1 管理者 西澤清一 就任 (H14. 3. 31退任)	
	川合配水池竣工 (5,000m³)
	水道料金据置
(2000) 平成12. 3. 31 蚊里田低区配水池竣工 (4,000m³)	
	4. 1 水道部と下水道部が統合され上下水道部となる。 機構改革により、設備指導課と下水道計画課が統合され下水道業務課となる。
	7. 5 市役所前Y字管破裂事故
(2001) 平成13. 3. 30 犀川浄水場低区配水池竣工 (20,000m³)	
	犀川浄水場更新事業完了
	4. 1 水道料金据え置き
10. 31 (~11. 1) 日本水道協会全国総会が長野市で開催される。	
(2002) 平成14. 4. 1 管理者 甘利富雄 就任 (H18. 3. 31退任)	
	機構改革により水道整備課とサービス課を統合し、配水管理課と同課サービスセンターを設置
	11. 5 水道防災給水拠点整備事業によりサービスセンター事務所を旧日本たばこ産業㈱長野支店事務所へ移転
(2003) 平成15. 4. 1 水道局財務会計オンラインシステム更新	
	5. 30 早坂水源廃止
	10. - 上下水道料金のコンビニ収納及び郵便局窓口収納を開始 (10月調定分から)
(2004) 平成16. 3. 31 機構改革により上下水道部を廃止	
	9. 27 上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までを第一環境㈱に委託
	10. 1 機構改革により料金課を経営管理課と改称する。
	12. 27 第7期拡張事業認可変更届 (豊野町水道の全部譲り受け)
(2005) 平成17. 1. 1 長野市と豊野町、戸隠村、鬼無里村及び大岡村が合併。豊野町水道を長野市水道に編入する。 戸隠村、鬼無里村、大岡村の簡易水道事業は市長部局（環境部環境管理課）で所管する。	

年 月 日	事 項
8. 14 (2006) 平成18. 4. 1	野尻水源からの取水を廃止する。(蚊里田浄水場の浄水処理停止) 長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例を改正し、水道事業及び下水道事業に管理者を置かないこととする。(管理者の権限は市長が執行する) 機構改革により配水管理課サービスセンターをサービスセンターに、下水道業務課を業務課に改称する。
19. 1. 15 2. 14 3. 1 3. 29 4. 1 7. 20 7. 23 (2007) 平成19. 1. 15	犀川浄水場の運転管理に関わる業務を(株)ジャパンウォーターに委託 水道水ペットボトル「戸隠の水」を製造 パンフレット「長野市の水道」発行 夏目ヶ原送水ポンプ更新 (48,096m³/日、24,048m³/日 各1台) 条例を改正し、長野市水道料金等審議会を「長野市上下水道事業経営審議会」へ改称する。 7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」に際し、「日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、応援職員を柏崎市に派遣する。(漏水調査 7/20~7/30 延べ22名、復旧作業 7/23~7/31 延べ18名) 同地震に際し、「災害等緊急時における出動協力に関する協定」に基づき、長野市水道工事協同組合加盟事業者を柏崎市に派遣する。(復旧作業 7/23~7/31 延べ90名)
平成20. 3. 19 4. 1 8. 29 10. 16 (~17) 12. 9 (2008) 平成20. 3. 19	東寺尾配水池から清野浄水場への緊急時対応送水ルートが完成する。 長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の改正により、水道事業及び下水道事業に上下水道事業管理者を設置するとともに、組織の名称を「長野市上下水道局」へ改称する。管理者 中村治雄 就任 (H24. 3. 31退任) 浅野配水池竣工 日本水道協会中部地方支部合同防災訓練が犀川浄水場で開催される。 (富山県支部、新潟県支部、長野県支部合同) 小瀬配水池（高区・低区）を廃止し、浅野配水池に切替える。
21. 2. 3. 31 4. 1 7. 10 (2009) 平成21. 2.	長野市水道ビジョン (H21~H30) を策定公表する。 第7期第一次変更認可 (高岡浄水場膜ろ過設置) 戸隠簡易水道、鬼無里簡易水道、大岡簡易水道事業を上下水道局へ一元化する。 日本水道協会中部地方支部総会が長野市で開催される。
平成22. 1. 1 3. 17 3. 31 4. 1 6. 1 (2010) 平成22. 1. 1	長野市と信州新町、中条村が合併。信州新町簡易水道、中条簡易水道を上下水道局へ編入する。 高岡浄水場膜ろ過設備竣工 犀川浄水場 混合井・侵食性遊離炭酸除去設備竣工 夏目ヶ原浄水場の運転管理に関わる業務を(株)ジャパンウォーターに委託 機構改革により浄水課松代若穂出張所を浄水課南部出張所に改称する。 水道料金改定平均7.71%引上げ
3. 13 3. 14 3. 18 4. 1 (2011) 平成23. 3. 13	東日本大震災による被災地へ応急給水班を派遣 (4月13日まで延べ18人) 川合新田水源ポンプ設備竣工 上野配水池次亜塩注入設備竣工 パンフレット「長野市の水道」「水の大冒険」発行

年　月　日	事　項
	4. 14 第7期第2次変更認可（堀水源と西沖水源に紫外線処理設備設置、及び西条浄水場と笹平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更）
	10. 長野市上下水道局イメージキャラクター「みずなちゃん」制定
	12. 21 川合新田水源配水池竣工（4,200m³）
(2012) 平成24.	4. 1 管理者 高見澤裕史 就任（R 2. 3. 31退任）
	4. 1 職員による宿日直業務を廃止し、シルバー人材センターに委託
	5. 31 西沖水源紫外線処理設備竣工。西沖浄水場に名称変更。
	10. 1 犀川低区配水開始
	12. 1 上下水道局公式ホームページ開設
(2013) 平成25.	3. 31 岩野水源からの取水を休止する。（清野浄水場の浄水処理停止）
	4. 1 機構改革により経営管理課が廃止され、業務課を営業課に、配水管理課を水道整備課に、サービスセンターを水道維持課に名称変更する。
	6. 1 水道料金改定平均7.86%引上げ
(2014) 平成26.	2. 3 戸隠浄水場供用開始
	3. 31 川田水源を廃止する。
	4. 1 消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の108を乗じて得た額）
	9. 長野市水道ビジョン（改訂版）を策定し、公表する。
	10. 1 上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までをシーデーシー情報システム(株)に委託
	11. 22 神城断層地震により、上水道施設30箇所、簡易水道施設31箇所が被災した。
	11. 29 神城断層地震により被災した白馬村へ応急復旧班を派遣（12月5日まで延べ45人）
	12. 24 公益社団法人日本水道協会より「水道水質検査優良試験所規範（略称：水道GLP）」の認定を取得した。（JWWA-GLP115）
(2015) 平成27.	3. 31 「長野市水道百年史」刊行
	4. 1 通水開始100周年を迎える。 各種100周年記念事業を実施する。 100周年記念水道水ペットボトル「長野の命水」を製造（犀川浄水場戸水使用）
	4. 1 「ながらの水だより」創刊
	7. 31 西条浄水場膜ろ過設備竣工
	10. 28 長野市水道100周年記念式典
(2016) 平成28.	4. 26 平成28年熊本地震により被災した熊本市へ応急復旧班を派遣（5月6日まで延べ55人）
(2017) 平成29.	3. 長野市水道事業経営戦略策定
	3. 10 笹平浄水場膜ろ過設備竣工
	3. 16 笹平浄水場を山内浄水場に名称変更
	3. 28 第7期第3次変更認可（長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）の事業統合及び犀川浄水場の粉末活性炭注入設備の追加）

年　月　日	事　項
4. 1	長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）を長野市水道事業に統合し一元化する。
6. 1	水道料金改定平均5.49%引上げ
11. 18	往生地浄水場が土木学会選奨土木遺産に認定される。
(2018) 平成30. 1. 29	寒波に伴う凍結被害に係る応援活動のため新潟市へ応急給水班を派遣（2月1日まで延べ54人）
2. 22	第7期拡張第3次変更届（簡易給水施設等を給水区域に編入）
3. 5	穂刈浄水場紫外線処理設備竣工
(2019) 平成31. 2. 13	西条配水池竣工（140m <sup>3</sup> ）
3. 28	犀川浄水場取水施設竣工
令和元. 10. 1	消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の110を乗じて得た額）
10. 13	東日本台風により豊野地区の西沖浄水場が浸水、若穂地区の笛平水源から山内浄水場間で導水管の流出など施設が被災した。
10.	東日本台風により浸水した地区（長沼・豊野・古里・柳原地区）の被災建物に係る水道料金の減免

## (2) 沿革

### 創設

長野市の水道は、明治44年に布設を計画し、大正2年工事実施認可を得て市の北西戸隠村に貯水池を築造してこれを往生地浄水場に導水し、計画給水人口60,000人、一日最大給水量5,800m<sup>3</sup>/日で大正4年4月より給水を始めた。

### 第1期拡張

その後市勢の発展に伴い一人一日当たりの使用量も増大し、大正12年7月より夏季には減断水を生ずる年が続いたため、昭和3年に拡張の認可を得て、犀川の伏流水を水源に6,800m<sup>3</sup>/日の増を計画し、給水人口75,000人、一日最大給水量12,600m<sup>3</sup>/日（既設戸隠水系5,800m<sup>3</sup>/日、新設水系6,800m<sup>3</sup>/日）で昭和4年3月に第1期拡張工事を完成した。

### 第2期拡張

昭和16年ごろから疎開工場等の設置により急激に使用量が増加し、水量不足を生じてきた。たまたま昭和18年長野県において鳥居川・野尻湖河水統制事業があり、本市もこの計画に参加したが、着工後2年で終戦を迎えたため、計画の練り直しが行われた。昭和27年1月9,600m<sup>3</sup>/日の取水（ただし6月1日～9月10日は取水しない。）ということで関係者間の話し合いがつき、改めて工事を進め昭和29年11月に竣工した。その間、岡田にさく井して3,000m<sup>3</sup>/日の確保をした。

### 第3期拡張

昭和29年近郊10ヶ村の合併があり、これを契機として拡張の必要を生じ、昭和32年12月、給水人口167,000人、一日最大給水量50,500m<sup>3</sup>/日（既設戸隠水系12,000m<sup>3</sup>/日、犀川水系12,000m<sup>3</sup>/日、岡田水系3,000m<sup>3</sup>/日、七瀬水系3,500m<sup>3</sup>/日、新設犀川水系20,000m<sup>3</sup>/日）で第3期拡張を計画し、昭和33年4月より昭和39年3月まで6ヶ年計画で、犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場の拡張を行い、七瀬にさく井し水源を確保した。

### 第3期拡張変更

第3期拡張認可の数年後、長野市と隣接する更級郡更北村大字青木島及び川中島町大字四ツ屋（現在の犀川浄水場附近）地区より、給水の要望があるので、当該町村長の同意を得て区域拡張計画をした。また併せて、往生地、杏花台、地附山、大峰山地区の拡張も計画し昭和37年8月22日認可を得て、昭和37年9月より着手し、昭和39年3月完了した。

なお、岡田水源は水質悪化のため、昭和35年より取水を

停止していたがこの認可申請に合わせて廃止した。

### 第4期拡張

第3期拡張終了後、商工業の発展に伴い人口が増加し、また生活水準の向上のため使用量が伸び、現有施設では給水が危ぶまれる状態となつたので、給水人口186,000人、一日最大給水量93,000m<sup>3</sup>/日（既設戸隠水系10,000m<sup>3</sup>/日、犀川水系30,000m<sup>3</sup>/日、七瀬水系3,000m<sup>3</sup>/日、新設犀川水系30,000m<sup>3</sup>/日、裾花川水系20,000m<sup>3</sup>/日）で昭和38年12月に認可を得て翌39年4月より昭和47年4月まで8ヶ年計画で着手した。さらに補給水源として川合新田にさく井し13,000m<sup>3</sup>/日の確保をした。

### 第4期拡張変更

その後周辺部の市街化による給水量の増加は、著しいものがあり、昭和45年度給水実績では一日最大量90,000m<sup>3</sup>/日を示し、第4期拡張計画の修正を必要とする状態となった。さらに旧来簡易水道であった西部山間部の芋井地区及び浅川地区の一部地域の給水区域への編入と、川合水系（第2水源）に20,000m<sup>3</sup>/日の増加を図ることを計画し、昭和46年3月認可を得た。

給水人口は197,000人、一日最大給水量は126,000m<sup>3</sup>/日（既設戸隠水系10,000m<sup>3</sup>/日、犀川水系30,000m<sup>3</sup>/日、七瀬水系3,000m<sup>3</sup>/日、新設犀川水系30,000m<sup>3</sup>/日、裾花川水系20,000m<sup>3</sup>/日、川合水系33,000m<sup>3</sup>/日）である。

### 第5期拡張

裾花川上流総合開発に伴う奥裾花ダム建設計画に参画して32,250m<sup>3</sup>/日を取水し、昭和41年度に合併した松代地区及び若穂地区内の上水道施設及び簡易水道施設の統廃合を図りながら、全戸上水道化を進めるため昭和47年3月31日第5期拡張事業認可を得た。

なお、七瀬水源は配水系統の合理化により、この認可申請に合わせて廃止した。

### 第6期拡張

信濃川水系高瀬川総合開発に伴う大町ダム建設計画に参画して、上水道用水として100,000m<sup>3</sup>/日を取水し、山間部簡易水道施設地区の小田切、七二会及び信更の大部分、浅川の一部の各地区を全市上水道の一環として統廃合を図りながら、給水区域の拡張と急増する水需要に対処するための施設の充実と管網整備を目的とし、昭和49年3月30日第6期拡張事業認可を得た。

### 第6期拡張第1次変更

過去順調な伸びを示していた水需要が経済不況や節水意識の高揚等により、昭和53年以降低下傾向を示してきたので、高度経済成長期に計画した第6期拡張事業の見直しを行い、大町ダムの100,000m<sup>3</sup>/日は当面必要な30,000m<sup>3</sup>/日を伏流水で取水することにした。また、松代地区の西条、豊栄、寺尾の各水源の増量を図るとともに、浅川の坂中、西平、台ヶ窪、小田切の地蔵平、裾花台団地、七二会の中組の各簡易水道と戸隠村の一部を上水道区域に編入し、計画給水人口278,500人、計画一日最大給水量143,300m<sup>3</sup>/日で昭和58年7月12日認可を得た。

### 第6期拡張第2次変更

第6期拡張第1次変更で予定していた事業のうち、大町ダムの100,000m<sup>3</sup>/日の一部30,000m<sup>3</sup>/日の伏流水取水については、ダムの完成の遅れと建設省との協議に時間がかかり実施が遅れていた。

平成元年4月に、農業用水からの取水が社会問題化したことにより、この早期解決のため建設省との協議の上、この伏流水取水を断念し当面必要な30,800m<sup>3</sup>/日の表流水を既設小田切ダム及び農業用水路を使用して取水すべく認可の変更を申請し、平成2年7月11日認可を得た。

### 第7期拡張

1998年に長野市で開催される冬季オリンピックに伴う大幅な水需要の増加に対処するため、大町ダム参画により確保した100,000m<sup>3</sup>/日のうち、残る69,200m<sup>3</sup>/日を取水するとともに、浅川総合開発に伴う浅川ダム建設計画に参画して5,400m<sup>3</sup>/日を取水し、中曾根、本郷の両簡易水道を給水区域に編入し、施設の拡張と管網整備を図るために、計画給水人口296,100人、計画一日最大給水量207,500m<sup>3</sup>/日で平成5年3月31日認可を得た。

### 第7期拡張変更（届出）

平成17年1月1日に行われた長野市と一町三村（豊野町、戸隠村、鬼無里村、大岡村）との合併に伴う豊野町水道事業の全部譲受けにより、長野市水道事業（第7期拡張）の見直しを行い、計画給水人口307,300人、一日最大給水量214,315m<sup>3</sup>/日のうち当面の計画として、計画給水人口277,000人、一日最大給水量129,500m<sup>3</sup>/日で、平成16年12月27日に事業変更を届け出たのち受理された。

### 第7期拡張第1次変更

企業のコスト削減、人口の減少、節水意識の定着などにより水使用量の減少が続くことから、水需要計画の下方修正をするとともに、クリプトスポリジウムにより原水が汚染されるおそれのある高岡水源への浄水施設（膜ろ過）の設置と、一部給水区域の拡張を含めた事業計画の変更を行い、計画給水人口270,300人、一日最大給水量118,900m<sup>3</sup>/日として平成21年3月31日認可を得た。

### 第7期拡張第2次変更

クリプトスポリジウムによる汚染のおそれがある堀水源と西沖水源に浄水施設（紫外線処理）を設置し、並びに西条浄水場と笛平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更し、計画給水人口273,000人、一日最大給水量114,100m<sup>3</sup>/日で平成23年4月14日認可を得た。

### 第7期拡張第3次変更

5地区の簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）の事業統合及び給水区域の一部拡張、浄水方法の変更として犀川浄水場における原水臭気（かび臭）の除去を目的に、粉末活性炭注入設備の追加を変更要件とし、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000m<sup>3</sup>/日で平成29年3月28日認可を得た。

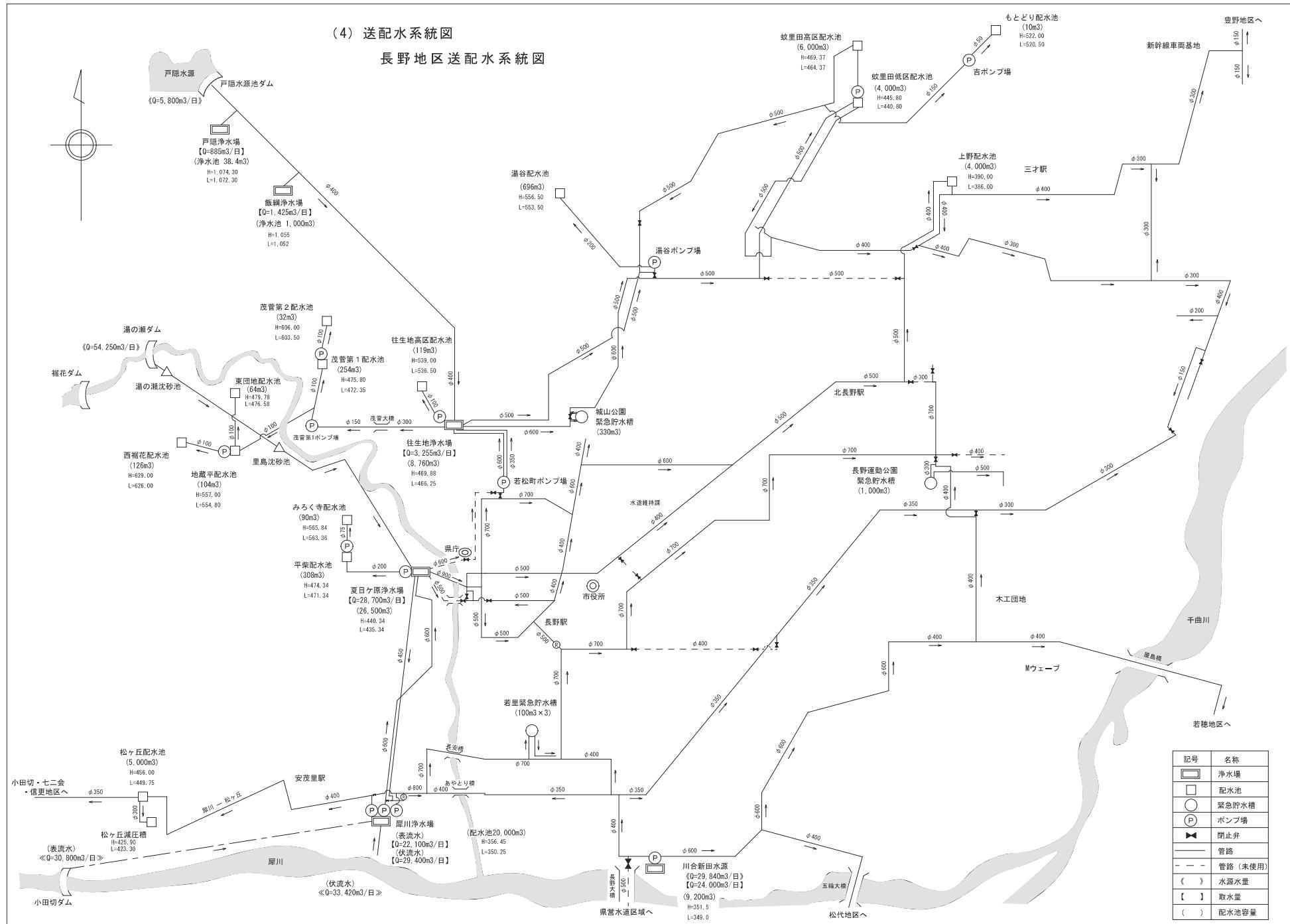
### 第7期拡張第3次変更（届出）

従来給水区域に含めていなかった民間経営の簡易給水施設（中曾根レイクニュータウン）等を給水区域に編入するものであり、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000m<sup>3</sup>/日で平成30年2月22日に事業変更を届け出たのち受理された。

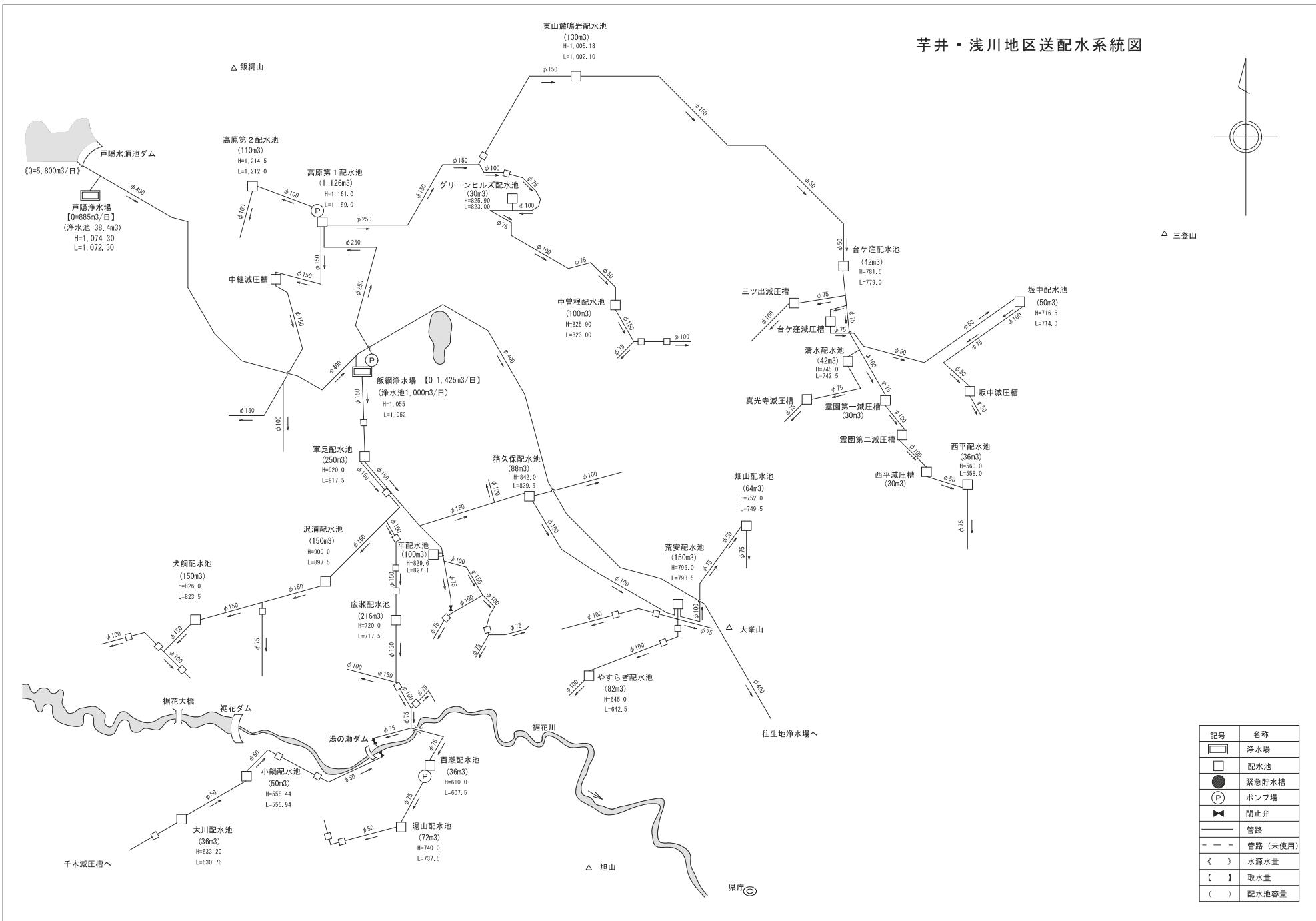
(3) 拡張事業の経過

事業委託創設		第1期張拡	第2期張拡	第3期張拡	第4期張拡	第5期張拡	第6期張拡	第6期張拡	第6期張拡
		m³/日	m³/日	m³/日	m³/日	m³/日	m³/日	m³/日	m³/日
戸屋	隅川	5,800	5,800	12,000	12,000	12,000	10,000	10,000	10,000
水野	尻湖	6,800	12,000	32,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
岡系	田			(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)
別七	瀬			3,000	3,000	0	0	0	0
配川	花合川			3,500	3,000	3,000	3,000	3,000	0
水能	福浅松若豊戸鬼大能								0
力	大信中								0
総配水能力		m³/日 5,800	m³/日 12,600	m³/日 27,000	m³/日 50,500	m³/日 47,000	m³/日 93,000	m³/日 126,000	m³/日 166,000
1人1日最大給水量		ℓ 97	ℓ 168	ℓ 285	ℓ 300	ℓ 313	ℓ 500	ℓ 640	ℓ 852
工事期間(起工～竣工)	大正2年1月～大正4年3月	昭和2年4月～昭和4年3月	昭和20年11月～昭和29年11月	昭和33年4月～昭和39年3月	昭和37年9月～昭和39年3月	昭和39年4月～昭和77年3月	昭和46年4月～昭和51年3月	昭和47年4月～昭和59年3月	昭和49年4月～昭和59年3月
給水人口	人 60,000	人 75,000	人 95,000	人 167,000	人 150,000	人 186,000	人 197,000	人 250,000	人 304,000
事業費(千円)	認可	835	620	6,350	360,000	406,678	1,430,000	4,183,000	6,400,000
変更認可	実施(精算)	847	559	395,346	284,631	122,047	2,478,000	2,568,665	11,235,000
①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種別の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の遙微な変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他									
長野市全域化 七瀬水源新設 岡山水源新設 犀川水源新設		95,000人 27,000m³/日	75,000人 12,600m³/日	167,000人 50,500m³/日	150,000人 47,000m³/日	186,000人 93,000m³/日	197,000人 126,000m³/日	250,000人 166,000m³/日	304,000人 259,000m³/日
西条：緩急遮過 豊根：急速遮過									
犀川(定期的変更) 犀川(定期的変更)									
奥裾花ダム参画									

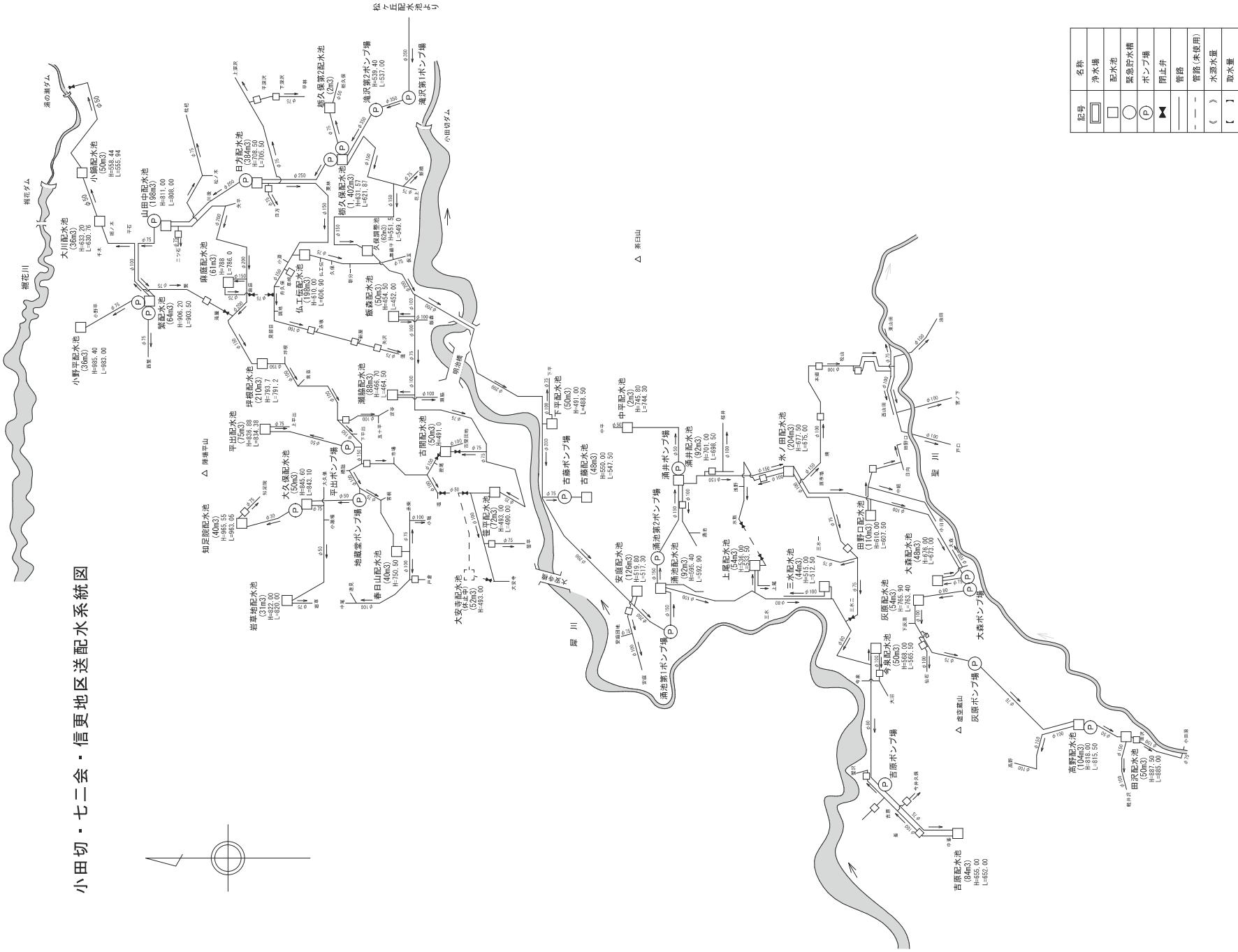
事業変遷		第7期 拡張計画	第7期 拡張更 期 変更	第7期 拡張 1次 変更	第7期 拡張 2次 変更	第7期 拡張 3次 変更	第7期 拡張 3次 変更	第7期 拡張 3次 変更	備考
戸 扉	隱川	m <sup>3</sup> /日 6,000 122,590	m <sup>3</sup> /日 6,000 122,590	m <sup>3</sup> /日 5,800 124,310	m <sup>3</sup> /日 5,800 124,310	m <sup>3</sup> /日 5,800 60,887	m <sup>3</sup> /日 5,800 60,887	m <sup>3</sup> /日 5,800 60,887	
水 野	尻 田 瀬	(9,600)	(9,600)	0	0	0	0	0	通年取水が出来ないため 平成18年廃止
系 別	七	0	0	0	0	0	0	0	水質悪化のため 昭和35年廃止
配 水 能 力	川 花 浅 松 若 豊 戸 鬼 大 信 中	合 川 川 代 穂 野 隠 里 閑 無 州 新 州 信 中	15,000 50,000 4,900 6,800 2,560 6,815	15,000 50,000 4,900 6,800 2,560 6,815	24,000 47,000 0 8,605 4,024 7,420	24,000 50,000 0 8,918 4,289 6,800	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800
総配水能力			m <sup>3</sup> /日 207,900	m <sup>3</sup> /日 214,635	m <sup>3</sup> /日 221,159	m <sup>3</sup> /日 224,117	m <sup>3</sup> /日 164,961	m <sup>3</sup> /日 164,961	
1人1日最大給水量		ℓ/701	ℓ/468	ℓ/440	ℓ/418	ℓ/403	ℓ/403	ℓ/403	
工事期間 (起工~竣工)		平成5年4月~ 平成24年3月	平成17年1月~ 平成24年3月	平成21年4月~ 平成25年3月	平成23年4月~ 平成27年3月	平成29年4月~ 平成31年3月	平成30年4月~ 平成35年3月	平成30年4月~ 平成35年3月	豊野町との合併に伴う水道事業会社譲受け後の人口 ( )届出値
給水人口	認可	296,100	307,300 (277,000)	270,300	273,000	273,000	273,000	273,000	人
事業費 (千円)	実施 (精算)	38,800,000	(10,760,000)	8,974,572	14,858,925	446,800	446,800	0	( )届出値
変更 内容	①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種別の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の経営変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他	296,100人 207,500m <sup>3</sup> /日 豊野地区編入 307,300人 214,315m <sup>3</sup> /日 隣接町・姫川・朝日 隣接町・姫川・朝日 隣接町・姫川・朝日 隣接町・姫川・朝日 隣接町・姫川・朝日 豊野町と水道事業会社譲受け 豊野町と水道事業会社譲受け	270,300人 118,900m <sup>3</sup> /日 膜ろ過装置(高岡) 素外設置(高岡) 膜ろ過装置(西条・笛吹) 素外設置(西条・笛吹)	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日	戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入 戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入 戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入 戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入 戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入 戸隠・鬼無里・大隅・ 信朴新町・中条編入	一部(中曾根・門 沢)編入 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日 273,000人 110,000m <sup>3</sup> /日			



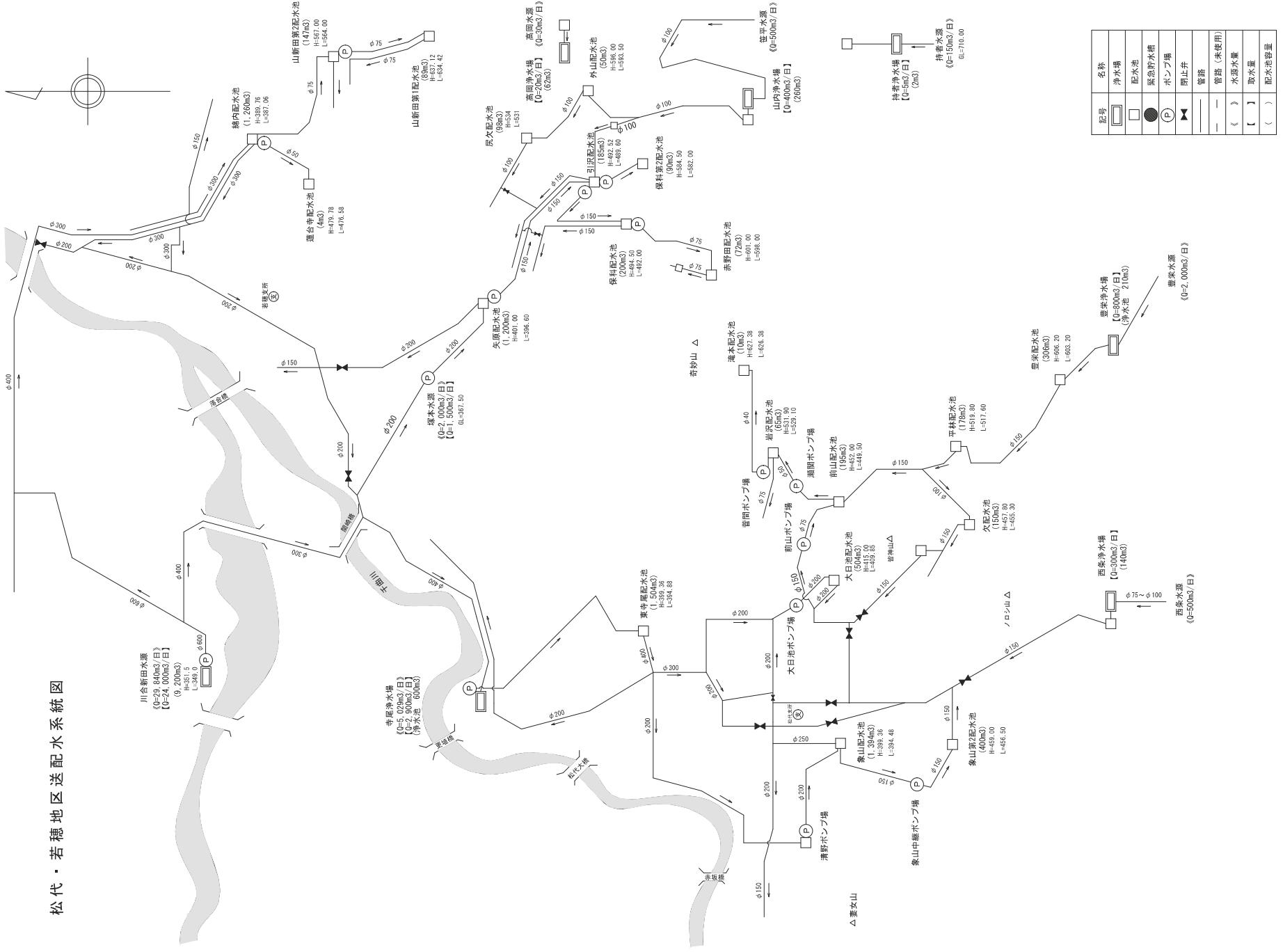
芋井・浅川地区送配水系統図



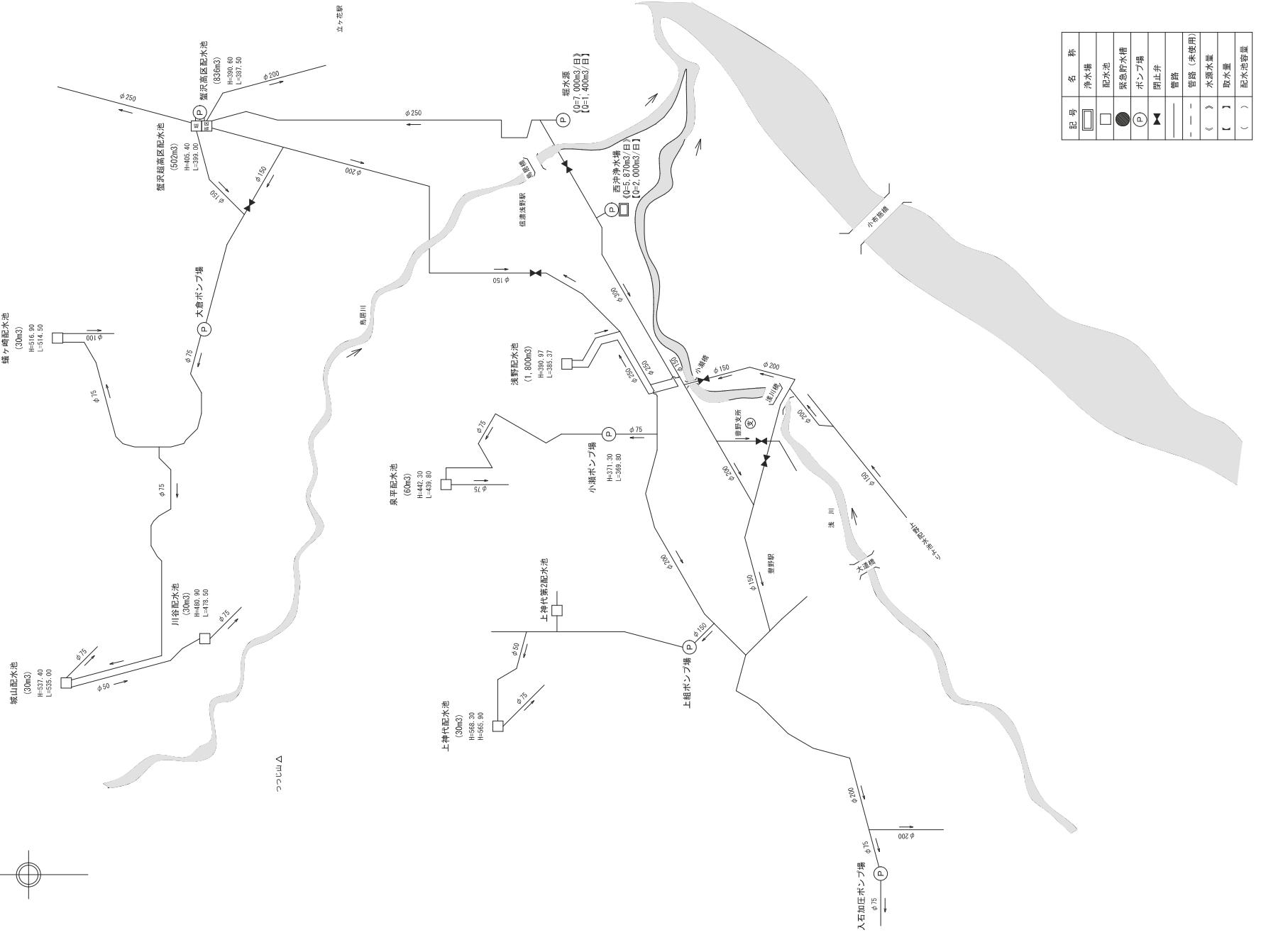
小田切・七二会・信更地区送配水系統図



松代・若穂地区送配水系統図



豊野地区送配水系統図



戸隠地区送配水系統図



越水第3水源  
〔Q=18m³/日〕  
越水第2配水池  
〔Q=440m³/日〕  
スキー場配水地  
〔Q=408m³/日〕  
H=133.65  
L=131.15  
H=1482.00  
L=1479.60

宝光社第1水源  
〔Q=214m³/日〕

戸隠水源池  
戸隠水源池ダム  
〔Q=80m³/日〕  
戸隠地区分  
〔Q=85m³/日〕

立道配水池  
〔60m³〕  
H=1076.20  
L=1073.70

諸次配水池  
〔45m³〕  
H=1018.50  
L=1015.90

上野川配水池  
〔38m³〕  
H=1101.20  
L=1097.20

戸隠浄水場  
〔Q=885m³/日〕  
〔淨水池〕  
H=1074.30  
L=1072.30

上野第1水源  
〔Q=60m³/日〕

上野第3水源  
〔Q=90m³/日〕

水量布水池  
〔22m³〕  
H=994.00  
L=994.30

中耕配水池  
〔28m³〕  
H=962.40  
L=960.20

鏡子口配水池  
〔28m³〕  
H=996.60  
L=994.00

上野原地区水池  
〔77m³〕  
H=864.30  
L=861.30

戸隠支所

諸沢山川河正門

下総川河

下総川河

鏡ヶ峰

三井

上総川河

久保田橋

上総川河

品川ポンプ場

大平配水池  
〔18m³〕  
H=103.36  
L=101.26

母袋配水池  
〔25m³〕  
H=915.80  
L=912.20

字和原配水池  
〔40m³〕  
H=930.50  
L=928.10

奈尾尾配水池  
〔30m³〕  
H=871.20  
L=868.70

平坂3配水池  
〔20m³〕  
H=736.35  
L=734.35

鏡ヶ峰

上野原地区水池  
〔77m³〕  
H=864.30  
L=861.30

猿丸配水池  
〔21m³〕  
H=817.00  
L=814.70

川下配水池  
〔21m³〕  
H=629.50  
L=626.50

河原駒

参宮橋

中野配水池  
〔5m³〕  
H=720.30  
L=728.70

志理配水池  
〔4m³〕  
H=708.20  
L=705.60

桜峰配水池  
〔5m³〕  
H=708.67  
L=706.80

平坂1配水池  
〔16m³〕  
H=868.80  
L=861.50

母袋ポンプ場

五十嵐配水池  
〔31m³〕  
H=883.20  
L=880.60

中野配水池  
〔5m³〕  
H=733.70  
L=732.00

宮ノ削配水池  
〔31m³〕  
H=796.20  
L=793.70

志理ポンプ場

田頭配水池  
〔62m³〕  
H=821.00  
L=821.00

山入配水池  
〔Q=5m³/日〕

追通配水池  
〔52m³〕  
H=720.00  
L=717.40

中野配水池  
〔5m³〕  
H=720.20  
L=728.70

新宮駒

西部配水池  
〔26m³〕  
H=704.70  
L=700.21

宮浦水池  
〔Q=76m³/日〕  
〔淨水池〕  
H=844.20  
L=841.70

上組配水池  
〔32m³〕  
H=738.70  
L=735.60

富浦配水池  
〔40m³〕  
H=839.60  
L=836.60

下組山第2水源  
〔Q=30m³/日〕  
〔Q=2m³/日〕  
H=864.20  
L=861.70

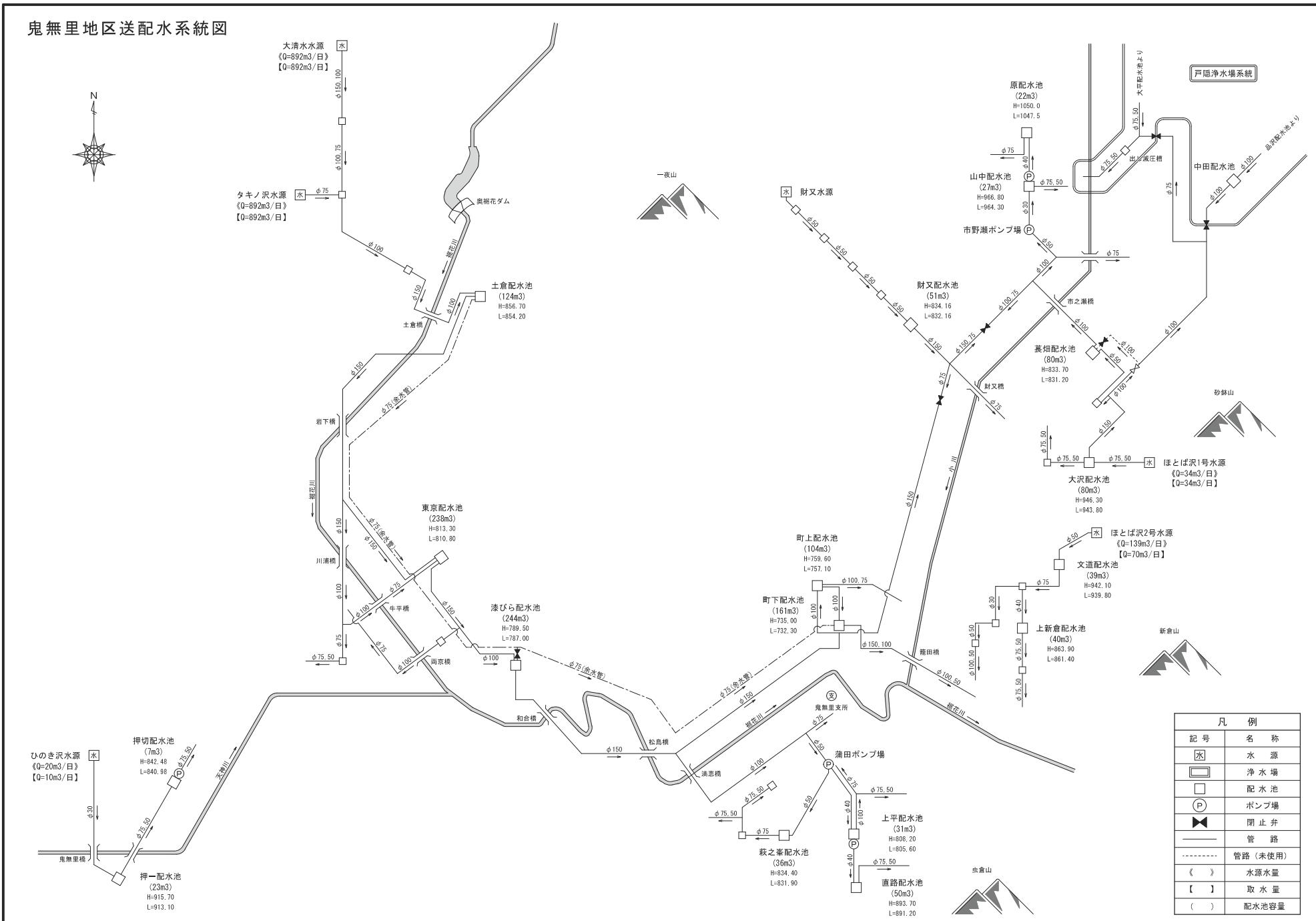
坪山配水池  
〔31m³〕  
H=886.60  
L=884.00

下組山第1水源  
〔Q=228m³/日〕  
〔Q=19m³/日〕

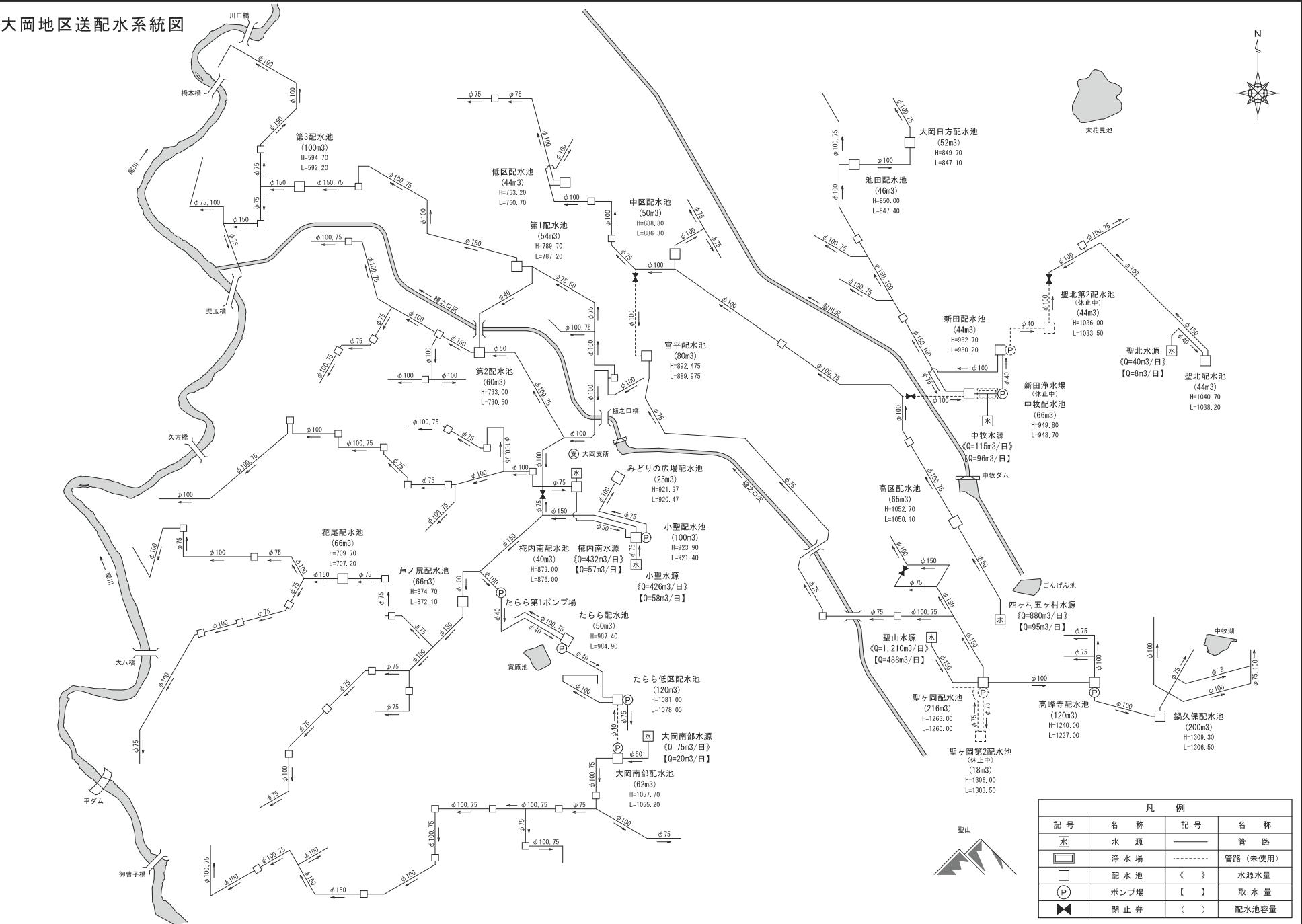
( ) 配水池容量

記号	名 称
■	水 源
□	淨 水 場
(P)	配 水 地
▲	ボンブ場
◆	開 止 弁
—	管 路
-----	管路(未使用)
{ }	水 源 量
[ ]	取 水 量
( )	配水池容積

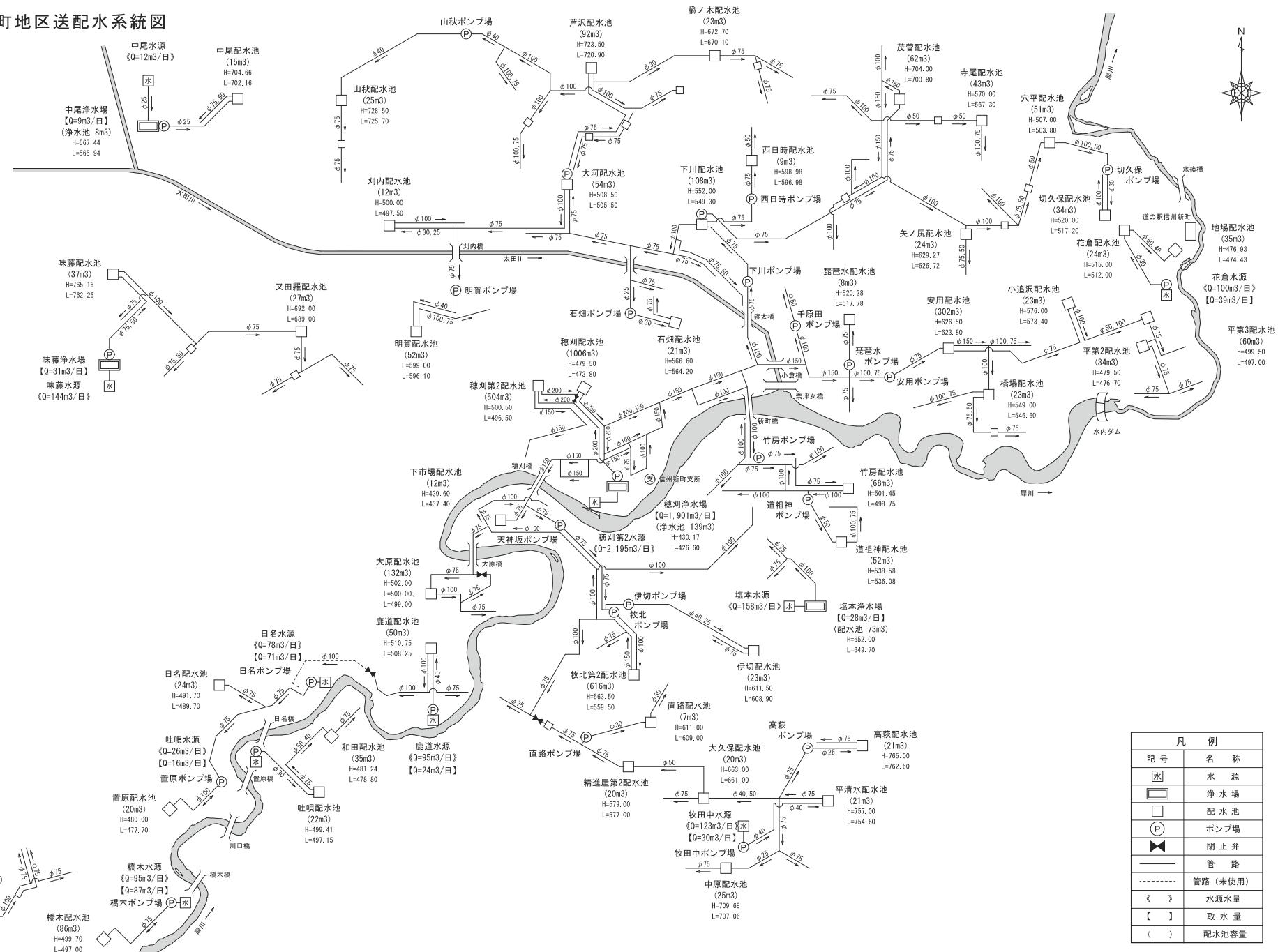
鬼無里地区送配水系統図



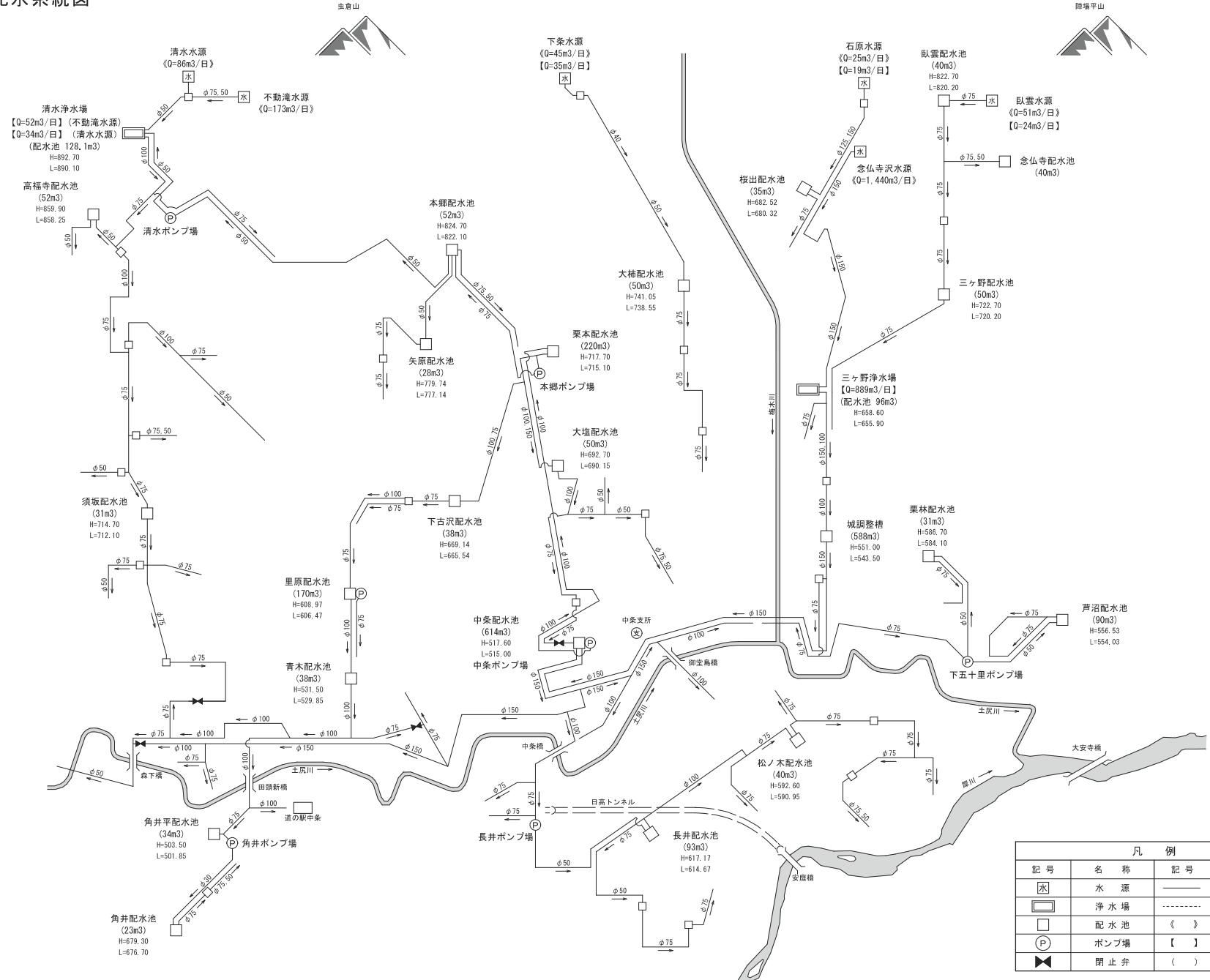
大岡地区送配水系統図

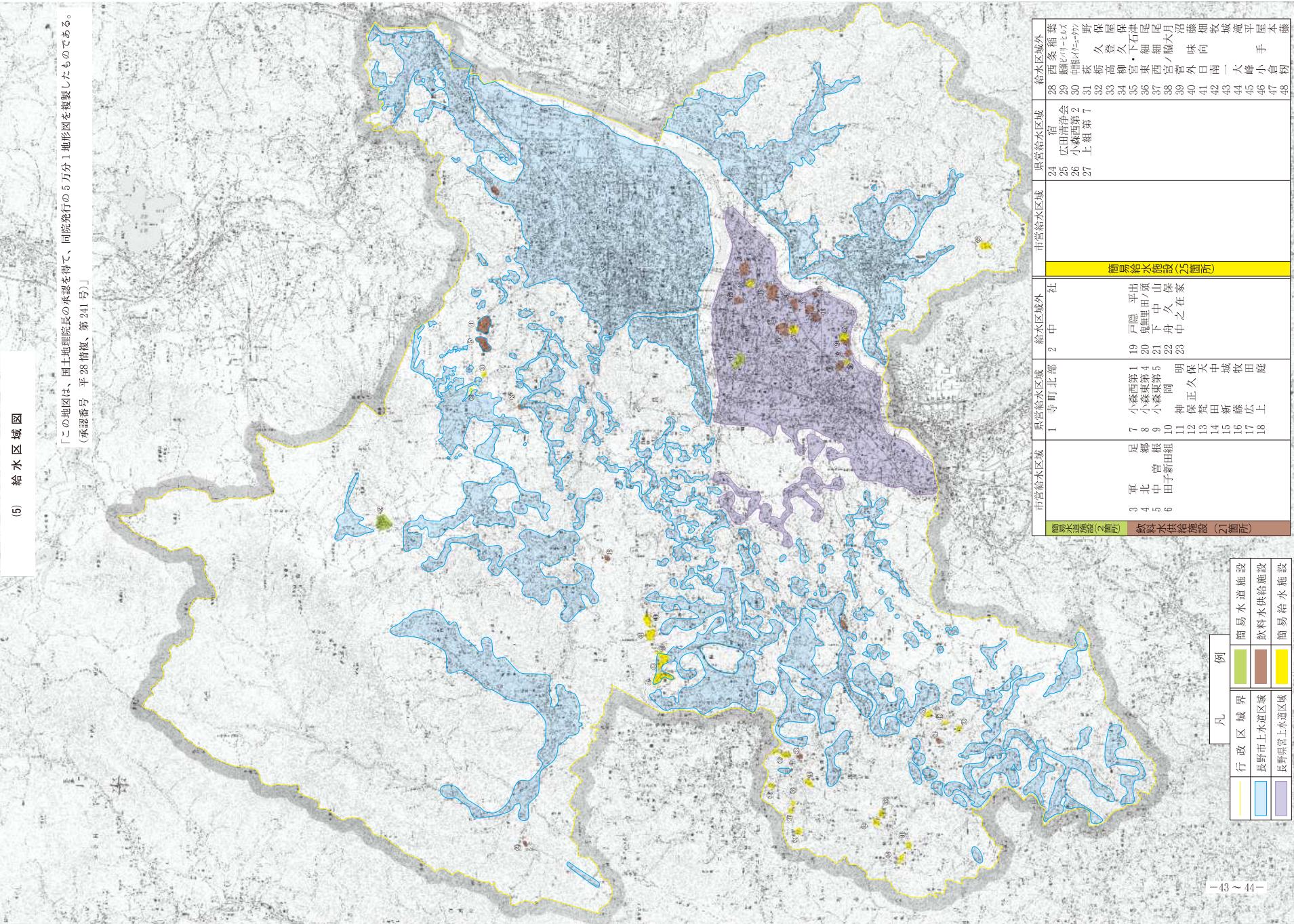


信州新町地区送配水系統図

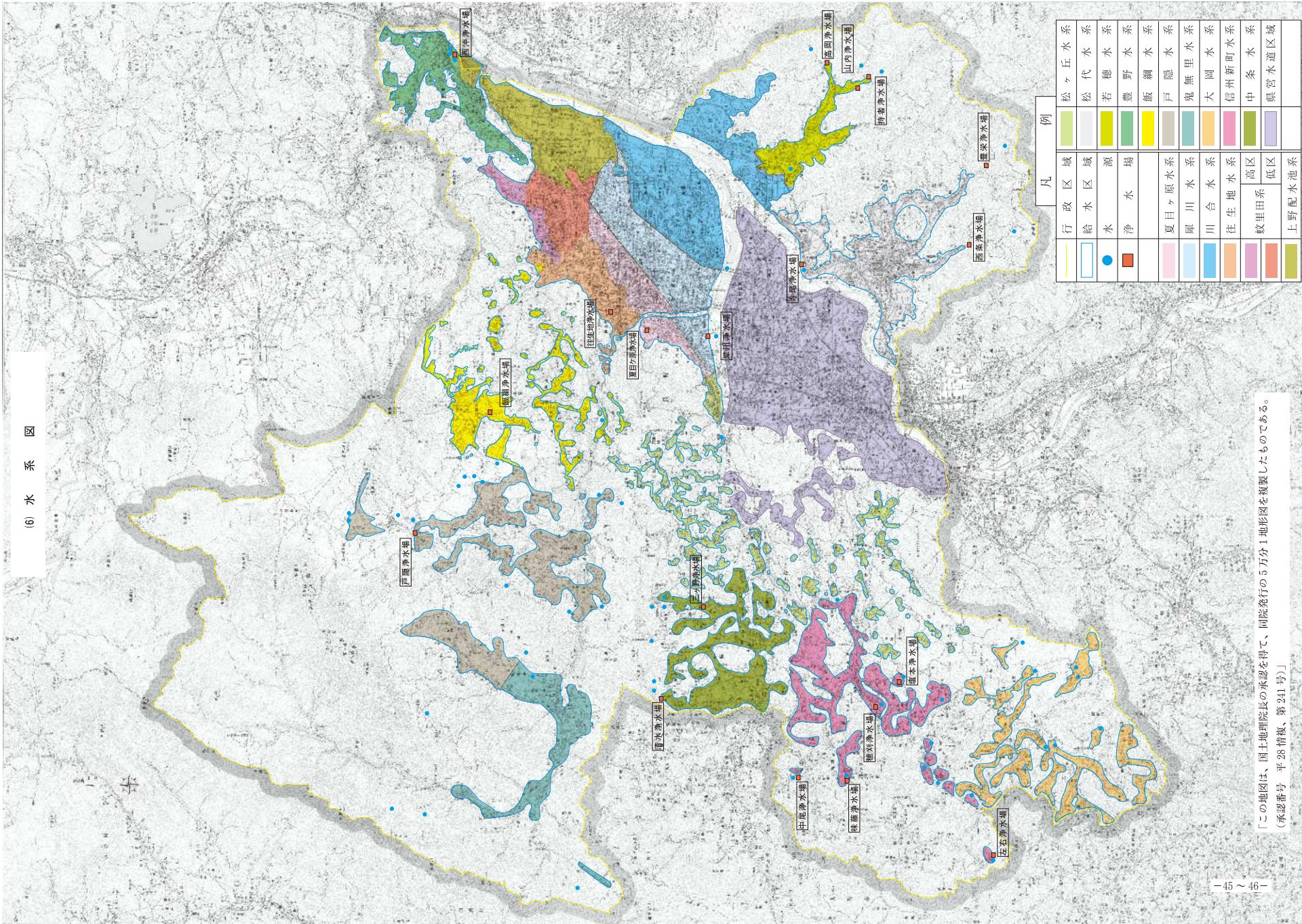


中条地区送配水系統図





(6) 水系図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平28情復、第241号)」

### 3 水道の維持管理統計

#### (1) 給水普及状況

(R 2. 3. 31 現在)

区分 区分	市 営 水 道		旧市営上水道	旧市営簡易水道	県 営 水 道 (※)	市・県営水道計
	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)
行政区域内	—	—	—	—	—	373,971
給水区域内 A	119,204	269,818	259,840	9,978	102,990	372,808
給 水 B	119,010	269,358	259,501	9,857	101,976	371,334
普 及 率 B/A(%)	99.84	99.83	99.87	98.79	99.02	99.60

※ 県営水道分は、長野県企業局水道事業課が算出した数値。

#### (2) 各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）

(R 2. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
<b>長野地区（西山地区を含む）</b>			<b>松 代 地 区</b>		
夏目ヶ原水系	26,650	60,496	清野水系（象山第1系）	1,332	3,025
川合新田水系	21,272	48,292	清野水系（象山第2系）	662	1,503
犀川水系	16,322	37,054	寺尾水系（東寺尾配水池）	3,567	8,097
松ヶ丘水系	3,255	7,390	西条水系	114	260
往生地水系	10,073	22,868	豊栄水系	645	1,465
蚊里田水系（高区）	3,297	7,484	大日池水系	733	1,664
蚊里田水系（低区）	7,308	16,590	計	7,053	16,014
湯谷水系	835	1,897	<b>若 穂 地 区</b>		
上野水系	8,050	18,275	川合新田水系	2,882	6,542
飯綱芋井水系	491	1,115	矢原水系	1,758	3,990
飯綱高原水系	619	1,405	引沢配水池水系	333	757
計	98,172	222,866	笛平水系	243	551
<b>豊 野 地 区</b>			保科水系	344	780
浅野水系	2,495	5,663	高岡水系	5	12
蟹沢水系	1,024	2,324	持者水系	1	2
計	3,519	7,987	計	5,566	12,634
			合 計	114,310	259,501

## (3) 各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水道事業）

(R 2. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
戸 隠 地 区			信 州 新 町 地 区		
戸隠・谷沢混合水系	490	1,085	穂刈水系	1,320	2,817
越水水系	129	286	花倉水系	22	47
宝光社水系	130	288	鹿道水系	23	49
上野水系	332	736	日名水系	61	131
水景苑水系	11	25	橋木水系	35	75
山入水系	2	5	吐唄水系	28	59
宮浦水系	49	109	牧田中水系	16	34
銚子口水系	76	169	味藤水系	47	100
下祖山水系（第1）	6	12	塙本水系	23	49
下祖山水系（第2）	25	54	左右水系	16	35
計	1,250	2,769	中尾水系	3	5
鬼 無 里 地 区			計	1,594	3,401
大清水・タキノ沢混合水系	510	1,031	中 条 地 区		
ほとば沢水系（1号）	61	123	念佛寺沢水系	646	1,356
ほとば沢水系（2号）	32	65	不動滝・清水混合水系	89	187
ひのき沢水系	2	4	臥雲水系	7	14
計	605	1,223	石原水系	7	15
大 岡 地 区			下条水系	17	35
四ヶ村五ヶ村水系	39	69	計	766	1,607
中牧水系	58	102			
聖北水系	5	9	合 計	4,700	9,857
小聖・榎内南混合水系	67	118			
大岡南部水系	11	20			
聖山水系	305	539			
計	485	857			

(4) 取水量及び配水量

① 取水量

						取水能力 193,209m <sup>3</sup> /日 (单位: m <sup>3</sup> )				
月	川合新田	犀川	夏目ヶ原	戸隠	戸隠淨水場 (旧簡水地区)	長野地区計 (旧簡水除<)	松代 (川合除<)	若穂 (川合除<)	豊野 (旧簡水除<)	合計 (旧簡水除<)
4	665,820	860,520	754,579	151,999	26,395	2,406,523	61,205	34,701	84,896	2,587,325
5	689,370	903,700	782,041	151,341	26,523	2,499,929	65,034	36,550	85,924	2,687,437
6	667,410	965,979	687,941	143,469	25,533	2,439,266	63,824	35,965	83,226	2,622,281
7	699,160	1,088,240	653,264	168,340	26,464	2,582,540	66,862	37,554	87,488	2,774,444
8	698,730	1,078,614	705,634	172,479	26,611	2,628,846	68,135	38,944	89,369	2,825,294
9	672,840	986,178	697,266	164,619	25,922	2,494,981	62,273	36,159	82,607	2,676,020
10	684,660	906,764	755,817	170,886	26,734	2,491,393	79,588	34,489	86,236	2,691,706
11	665,750	868,469	710,222	166,026	25,060	2,385,407	63,489	33,206	84,238	2,566,400
12	688,230	962,872	726,177	156,742	25,930	2,508,091	66,564	34,512	87,581	2,696,748
1	682,420	867,661	779,015	159,112	26,335	2,461,873	67,568	34,921	78,842	2,643,204
2	641,330	979,238	600,148	155,617	24,987	2,351,346	63,146	32,980	77,799	2,525,271
3	685,990	939,816	703,662	166,930	26,937	2,469,461	65,189	35,357	80,341	2,650,348
合計†	8,141,710	11,408,051	8,555,766	1,927,560	313,431	29,719,656	792,877	425,338	1,008,607	31,946,478
月平均	678,476	950,671	712,981	160,630	26,119	2,476,638	66,073	35,445	84,051	2,662,207
日平均	22,245	31,170	23,376	5,267	856	81,201	2,166	1,162	2,756	87,285
前年度	8,084,870	11,220,479	8,975,136	1,813,332	313,299	29,780,518	1,193,607	444,932	1,034,508	32,433,565
対前年比	1.007	1.017	0.953	1.063	1.000	0.998	0.664	0.956	0.975	0.984
月	戸隠	鬼無里	大畠	信州新潟	中条	合計 (旧簡水地区)	合計 (全地区)			
4	65,660	30,369	12,391	60,141	21,685	190,246	2,777,571			
5	66,691	31,385	13,967	60,737	23,716	196,516	2,883,953			
6	61,252	30,969	12,749	57,895	22,774	185,639	2,807,920			
7	65,694	32,333	12,059	61,220	24,610	195,916	2,907,360			
8	70,750	34,405	13,924	63,770	26,630	209,479	3,034,773			
9	62,664	33,638	12,202	56,313	23,005	187,822	2,863,842			
10	63,685	34,497	14,521	60,349	22,041	195,093	2,886,799			
11	61,181	31,936	12,590	60,837	21,310	187,854	2,754,254			
12	63,540	32,470	11,589	60,712	23,226	191,537	2,888,285			
1	66,752	33,518	11,902	59,524	23,779	195,475	2,838,679			
2	61,053	30,991	12,723	56,038	22,902	183,707	2,708,978			
3	63,615	31,321	12,805	62,146	23,935	193,822	2,844,170			
合計†	772,537	387,832	153,422	719,702	279,613	2,313,106	34,259,584			
月平均	64,378	32,319	12,785	59,975	23,301	192,759	2,854,965			
日平均	2,111	1,060	419	1,966	764	6,320	93,605			
前年度	812,201	390,401	154,317	706,484	269,826	2,333,229	34,786,794			
対前年比	0.951	0.933	0.994	1.019	1.036	0.975	0.985			



## 1) 1日最大配水量及び平均配水量の推移

項目	年 度	25			26			27			28			29			30		
		数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 值	対 前年比	数 值	対 前年比	数 值	対 前年比	数 值	対 前年比	数 值	対 前年比	数 值	対 前年比		
配水能力(A) $\text{m}^3/\text{日}$	165,585	98.0	155,814	94.1	155,504	99.8	155,504	100.0	165,039	106.1	165,039	100.0	165,039	100.0	165,039	100.0	165,039	100.0	
一日最大配水量(B) $\text{m}^3/\text{日}$	99,077	97.2	97,208	98.1	97,137	99.9	94,024	96.8	102,202	108.7	102,544	100.3	99,244	96.8	99,244	96.8	99,244	96.8	
一日平均配水量(C) $\text{m}^3/\text{日}$	89,508	98.2	88,071	98.4	86,960	98.7	86,726	99.7	92,067	106.2	91,995	99.9	90,703	98.6	90,703	98.6	90,703	98.6	
最大稼働率(B)% (A)%	59.8%		62.4%		62.5%		60.5%		61.9%		62.1%		60.1%		60.1%		60.1%		
施設利用率(C)% (A)%	54.1%		56.5%		55.9%		55.8%		55.8%		55.7%		55.0%		55.0%		55.0%		
負荷率(B)% (C)%	90.3%		90.6%		89.5%		92.2%		90.1%		89.7%		91.4%		91.4%		91.4%		

## 2) 月別1日最大・最小配水量

月	日	付	最 大 配 水 量	最 大 配 水 量	最 高 気 温	最 高 気 温	日	付	最 小 配 水 量	最 小 配 水 量	最 高 気 温	
4	4	日	94,461	$\text{mm}^3$	14.2	℃	30	日	84,046	$\text{mm}^3$	18.1	℃
5	27	日	95,797	$\text{mm}^3$	34.2	℃	1	日	86,444	$\text{mm}^3$	17.8	℃
6	26	日	96,722	$\text{mm}^3$	31.3	℃	15	日	86,484	$\text{mm}^3$	21.0	℃
7	30	日	98,202	$\text{mm}^3$	34.7	℃	14	日	83,117	$\text{mm}^3$	26.3	℃
8	6	日	99,244	$\text{mm}^3$	35.7	℃	30	日	90,923	$\text{mm}^3$	25.4	℃
9	10	日	96,147	$\text{mm}^3$	32.9	℃	22	日	85,722	$\text{mm}^3$	24.5	℃
10	9	日	93,722	$\text{mm}^3$	19.6	℃	13	日	82,927	$\text{mm}^3$	18.8	℃
11	13	日	91,320	$\text{mm}^3$	19.5	℃	3	日	83,087	$\text{mm}^3$	15.7	℃
12	10	日	92,784	$\text{mm}^3$	12.4	℃	22	日	86,439	$\text{mm}^3$	6.3	℃
1	22	日	92,837	$\text{mm}^3$	8.5	℃	12	日	82,780	$\text{mm}^3$	7.1	℃
2	13	日	95,085	$\text{mm}^3$	17.3	℃	23	日	85,287	$\text{mm}^3$	6.7	℃
3	25	日	91,808	$\text{mm}^3$	9.9	℃	29	日	83,194	$\text{mm}^3$	2.8	℃

## 3) 配水量・有効水量・無効水量の内訳

(単位：人・m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	給水人口	配水量	有効水量						無効水量 率
			有効水量	率	料金水量	率	事業用水量	率	
27	265,292	31,827,506	28,256,803	88.8	28,256,803	100	—	—	827,600
28	263,963	31,654,998	28,274,379	89.3	28,274,379	100	—	—	821,902
29	273,134	33,604,295	29,271,015	87.1	29,267,320	100	3,695	0	1,020,004
30	271,103	33,578,225	29,198,147	87.0	29,187,549	100	10,598	0	1,018,865
元	269,358	33,197,329	28,426,381	85.6	28,426,381	100	—	—	1,219,035
								3.7	29,645,416
									89.3
									3,551,913
									10.7

※平成29年度から、有効水量には他会計から収入のあった事業用水量を含む。

## 4) 無効水量の内訳

(単位：m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	無効水量	無効水量の内訳						免水量
		メーター不感水量	局事業用水量	消防用等水量	災害減免水量	漏水	内訳	
27	827,600	100.0	570,264	68.9	248,780	30.1	1,543	0.2
28	821,902	100.0	568,294	69.1	248,073	30.2	851	0.1
29	1,020,004	100.0	588,162	57.7	430,614	42.2	1,225	0.1
30	1,018,865	100.0	587,701	57.7	429,473	42.1	1,689	0.2
元	1,219,035	100.0	574,301	47.1	409,329	33.6	4,030	0.3
							231,375	19.0

※調定減額水量は、無効水量で集計

## 5) 無効水量の内訳

(単位：m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	無効水量	無効水量の内訳			漏水量
		調定期間	減額水量	漏水	
27	2,743,103	100.0	256,401	9.3	2,486,702
28	2,558,717	100.0	140,312	5.5	2,418,405
29	3,313,276	100.0	140,778	4.2	3,172,498
30	3,361,213	100.0	197,520	5.9	3,163,693
元	3,551,913	100.0	288,643	8.1	3,263,270
					91.9



## (5) 量水器

### ① 年度別量水器取付・取替工事

(単位：件)

項目 年度	設置数	取替数	取替数の内容									
			直営					委託				
			計画取替	不進行 破損	計	位置変更	ボックス取替	計画取替	不進行 破損	計	位置変更	ボックス取替
26	133,527	20,908	156	76	232	0	6	20,651	25	20,676	24	294
27	134,344	19,877	22	167	189	0	4	19,482	206	19,688	47	282
28	135,353	13,803	14	58	72	0	0	13,601	130	13,731	50	297
29	136,207	14,512	7	192	199	0	6	14,283	30	14,313	42	252
30	136,999	18,422	8	156	164	2	7	18,199	59	18,258	40	169
元	137,832	25,707	1	127	128	0	0	25,527	52	25,579	40	212

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

### ② 口径別設置個数

(単位：個)

口径 年度	13	20	25	30	40	50	75	100	150	200	350	計
26	83,332 (62.41)	44,056 (32.99)	4,353 (3.26)	62 (0.05)	1,028 (0.77)	525 (0.39)	132 (0.10)	33 (0.03)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	133,527 (100%)
27	83,327 (62.03)	44,848 (33.38)	4,368 (3.25)	66 (0.05)	1,038 (0.77)	527 (0.39)	132 (0.10)	32 (0.03)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	134,344 (100%)
28	83,445 (61.65)	45,712 (33.77)	4,373 (3.23)	73 (0.06)	1,048 (0.78)	531 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	135,353 (100%)
29	83,545 (61.34)	46,464 (34.11)	4,374 (3.21)	81 (0.06)	1,045 (0.77)	527 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	136,207 (100%)
30	83,485 (60.94)	47,299 (34.53)	4,373 (3.19)	99 (0.07)	1,044 (0.76)	528 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	136,999 (100%)
元	83,471 (60.56)	48,113 (34.91)	4,394 (3.19)	103 (0.07)	1,048 (0.76)	532 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	137,832 (100%)

## (6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況

(単位：件)

項目 年度	給水装置工事	公道修繕					計	
		直営		委託				
		送・配水管	給水管	送・配水管	給水管			
26	1,363	16	383	143	697		1,239	
27	1,444	10	393	87	643		1,135	
28	1,537	2	232	70	667		971	
29	1,338	6	294	74	610		984	
30	1,436	2	267	57	448		774	
元	1,463	14	324	105	546		989	

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(7) 給水栓における苦情（処理）件数

項目 年度	出水不良	赤水濁度	異臭味	固体物	その他	計
26	61	84	10	25	25	205
27	43	58	1	17	11	130
28	54	38	4	18	11	125
29	72	50	2	7	55	186
30	52	29	3	13	51	148
元	53	25	0	8	58	144

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(8) 漏水調査及び内訳

① 音聴調査

区分 項目 年度	直 営 分				委 託 分			
	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件 数	推定漏水量 $m^3/h$	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件 数	推定漏水量 $m^3/h$
26	54.2	2,222	234	132.774	488.3	30,461	75	32.978
27	98.3	5,864	267	182.840	348.9	22,154	48	10.090
28	105.9	6,216	249	131.754	421.6	28,386	60	11.082
29	71.3	3,888	160	129.086	540.3	49,217	73	18.713
30	130.0	4,505	291	190.620	250.5	13,503	36	11.511
元	117.4	5,268	392	221.376	394.7	28,787	96	25.873

② 漏水調査・修繕状況

③ 「地下」漏水防止状況

区 分 直 営 分 (漏調+維持 [直営・緊急])										委 託 分 (音聽調査)											
項目	月	調査延長km	調 給・配水管			弁・栓・量水器			小 計			調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h	計測定所箇所
			調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水量m <sup>3</sup> /h	推定水量m <sup>3</sup> /h										
4	3,766	10	4	1,53	197	10	4,34	207	14	5,87	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	5,805	10	10	9,76	188	10	0,6	198	20	10,36	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	7,176	12	19	33,2	285	13	3,86	297	32	37,06	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	8,153	21	15	13,58	420	11	1	441	26	14,58	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	9,688	28	32	30,43	345	20	8,19	373	52	38,62	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9	7,718	13	20	9,95	595	7	0,21	538	27	10,16	44	8	2	1,001	3286	4	0,107	3294	6		
10	8,115	29	33	23,615	468	11	0,33	497	44	23,945	180,809	164	9	3,898	11919	17	0,578	12083	26		
11	13,545	39	24	5,455	286	11	2,37	305	35	7,825	135,639	52	22	6,866	6474	9	0,778	6526	31		
12	12,173	49	27	23,84	599	6	0,5	648	33	24,34	21,2	29	2	0,018	5263	3	0,054	5292	5		
1	5,053	49	27	15,34	159	12	0,366	208	39	15,706	13	27	10	6,442	1512	3	0,031	1539	13		
2	9,284	41	16	8,82	566	18	3,08	607	34	11,9	0	2	14	5,6	51	0	0	53	14		
3	26,884	37	19	13,78	912	17	7,23	949	36	21,01	0	0	1	0,5	0	0	0	1	1		
計	117,36	338	246	188,3	4930	146	32,076	5268	392	221,376	394,708	292	60	24,325	28505	36	1,548	28787	96		
																			0		
																			計		

\*年間漏水防止水量 約 591,806 m<sup>3</sup>  
 うち委託分 約 113,634 m<sup>3</sup>  
 うち直営分 約 478,172 m<sup>3</sup>

委託分 (年間漏水防止水量=防止水量×24時間×183日)  
 直営分 (年間漏水防止水量=防止水量×24時間×90日) で計算

(9) 薬品使用量

① パック年間使用量

(単位: kg・mg/ℓ・円)

年度	長野地区			松代・若穂地区			中条地区			合計		
	夏目ヶ原		犀川									
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	280,071	32.74	6,563,746	164,861	35.47	3,863,675	8,272	—	732,568	14,320	—	603,157
29	323,547	38.76	7,792,299	166,867	35.31	4,018,822	3,396	—	300,749	9,950	—	171,072
30	283,508	31.59	7,440,384	189,130	42.02	4,963,522	3,093	—	280,596	2,700	—	209,952
元	282,925	33.07	8,110,600	196,723	31.04	5,639,444	3,230	—	302,770	2,400	—	197,600
												485,277
												14,250,414

② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量

(単位: kg・mg/ℓ・円)

年度	長野地区								
	川合新田			犀川			夏目ヶ原		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	35,448	0.43	3,062,690	124,413	2.68	10,749,309	122,737	1.43	6,097,575
29	33,706	0.42	2,912,172	127,180	2.69	5,768,885	112,152	1.34	5,087,201
30	34,854	0.43	3,011,420	129,502	2.88	5,874,188	125,111	1.39	5,675,021
元	31,480	0.39	2,813,691	131,249	2.07	6,723,897	120,208	1.40	6,158,235
年度	長野地区								
	往生地			飯綱			上野配水池		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	17,182	1.35	1,577,317	5,431	1.63	498,572	906	0.08	224,640
29	24,607	2.45	2,391,800	4,710	1.36	587,574	757	0.09	207,306
30	24,485	2.27	2,379,913	4,280	1.26	585,900	1718	0.18	371,088
元	26,993	2.25	2,795,136	4,300	1.20	609,289	1,700	0.14	389,130
年度	松代地区			若穂地区			豊野地区		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	8,560	0.96	1,538,238	5,487	1.03	1,054,544	5,962	0.59	759,797
29	8,815	1.28	1,562,891	6,251	0.94	1,188,182	5,935	0.58	769,189
30	10,743	0.90	1,861,886	6,855	0.89	1,298,256	5,860	0.57	759,508
元	5,106	0.73	949,438	5,888	0.53	1,170,525	5,774	0.57	789,882
年度	戸隠地区			鬼無里地区			大岡地区		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	4,100	—	950,400	2,840	—	540,216	1,400	—	362,880
29	4,360	—	1,010,880	2,620	—	546,588	1,200	—	311,040
30	3,940	—	1,142,640	1,730	—	443,880	1,800	—	466,560
元	3,800	—	949,640	2,220	—	452,011	1,100	—	306,700
年度	信州新町地区			中条地区			合計		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
28	8,200	—	1,944,000	3,500	—	756,000	339,226	—	28,625,562
29	7,300	—	1,697,760	3,700	—	851,040	343,293	—	24,892,508
30	6,600	—	1,689,120	4,200	—	967,680	361,678	—	26,527,060
元	6,700	—	1,661,040	3,000	—	728,540	349,519	—	26,497,154

③ 水道用消石灰年間使用量

(単位 : kg・mg/ℓ・円)

年度	犀川		
	使用量	注入率	金額
28	37,556	5.31	1,419,617
29	37,541	5.13	1,459,590
30	55,855	8.31	2,171,658
元	23,573	4.65	950,695

④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量

(単位 : kg・mg/ℓ・円)

年度	犀川		
	使用量	注入率	金額
28	468	0.02	8,851
29	527	0.02	10,871
30	1,401	0.06	33,886
元	755	0.02	18,441

⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量

(単位 : kg・円)

年度	夏目ヶ原		
	使用量	注入率	金額
28	177	—	11,839
29	358	—	27,027
30	0	0	0
元	1,182	0.14	90,194

⑥ 水道用活性炭年間使用量

(単位 : kg・円)

年度	夏目ヶ原		
	使用量	注入率	金額
28	0	—	0
29	1,178	—	207,328
30	5,719	—	1,204,421
元	0	—	0



## 4 水道施設

### (1) 導水管(路)布設延長(全地区)

管種 口径 (mm)	ヒューム管 (HP)			鋼 (SGP・SUS)			鋳 (DIP)			ポリエチレン管 (HPPE PP・WEE)			ビニール管 (VVP)			石綿管 (ACP)			不明管			導水管延長 73,749m			(R 2. 3. 31現在 単位:m)			
	1,000	500	200 以下	800	500	300	270	200 以下	1,000	800	700	500	400	350	300	250	200 以下	150	125	100 以下	100	150	125	100 以下	100	150	150 以下	計
(2) 旧上水道事業地区	95	1,077	2,304	9	1,326	6,580	3	374	151	96	8,037	1,574	2,383	678	5,065		880										3,888	34,520
(3) 旧簡易水道事業地区	95	1,077	2,304	9	1,326	6,580	3	374	151	96	8,037	1,574	2,383	678	5,065		880										0	
計	95	1,077	2,337	9	0	1,326	6,580	2,487	374	151	96	0	8,037	1,574	2,383	678	5,447	5,633	327	16,499	11	1,288	1,046	10,259	1,210	57	39,229	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	95	1,077	2,337	9	0	1,326	6,580	2,487	374	151	96	0	8,037	1,574	2,383	678	5,447	5,633	327	17,379	11	1,288	1,046	10,259	1,210	57	39,229	

(上段：既設延長、中上段：今年度布設延長、中下段：今年度除却延長、下段：現在延長)

## (2) 導水管（路）布設延長（旧上水道事業地区）

導水管延長 34,520m  
導水管路延長 30,632m（導水管延長－隧道延長）（R 2. 3. 31現在 単位：m）

管種	ヒューム管 (H P)			鋼管 (S G P • S U S)			鉄錆管 (C I P • D I P)			ポリエチレン管 (P P) (W P)			ビニール管 (H P E) (レノ管)			隧道 計							
	口径 (mm)	1,000	500	200 以下	800	500	300	270 以下	1,000	800	700	500	400	350	300	250	200 以下	50	75	75	50	75	隧道 計
戸懶		1,077				1,326	6,580										7,112	1					16,172
		1,077				1,326	6,580										7,112	1					16,172
越水			1,080																286	832			2,198
			1,080																286	832			2,198
裾花		95		9				374	151													3,888	4,517
		95		9				374	151													3,888	4,517
屋川																							0
																							0
川合																							2,703
																							2,703
飯綱																							0
																							0
松代																							0
																							0
若狭			1,224																1,957	3,749	▲58	58	5,709
			1,224																1,957	3,749	▲58	58	5,709
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139	880			2,243
		95	1,077	2,304	9	0	1,326	6,580	3	374	151	96	0	8,037	1,574	2,383	678	5,065	880	0	0	0	3,888
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		95	1,077	2,304	9	0	1,326	6,580	3	374	151	96	0	8,037	1,574	2,383	678	5,065	880	▲58	58	3,888	34,520
		3,476																	880	▲58	58	3,888	34,520
																			880	▲58	58	3,888	34,520

(上段：既設延長、中下段：今年度布設延長、中下段：今年度除却延長、下段：現在延長)

## (3) 導水管(路) 布設延長(旧簡易水道事業地区)

		導水管路延長 39,229m (R 2. 3. 31現在 単位: m)																								
管種 口径 (mm)	ヒューム管 (S G P・S U S)	钢管				鉄鍛管 (D I P・C I P)				ポリエチレン管 (H P P E・P P・W E E T)				ビニール管 (V P)				石綿管 (A C P)				不明管				計 未満
		150	75	200	150	125	100	75	50	150	100	75	50	50 未満	200	150	125	100	75	50	50 未満	100	75	50	150	50 未満
戸懸	10 23 69 218	57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309	1,519	1,650	11	467	301	1,644	1,736	414	1,057	12	861	283	0	12,561
鬼無里	10 23 69 218	57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309	1,519	1,650	11	467	301	1,664	1,736	414	1,057	12	861	283	0	12,561
大岡	—	9	54	398	379	133	70	9	36	46	—	166	170	1,820	2,004	785	591	1,976	2,116	193	—	54	—	17	35	11,061
信州新町	—	9	54	398	379	133	70	9	36	46	—	166	170	1,820	2,004	785	591	1,976	2,116	193	—	54	—	17	35	11,061
中条	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	10 23 69 227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,633	3,637	242	1,363	1,002	2,397	751	—	154	807	—	—	—	—	—	10,356
	0 0 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0 0 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 23 69 227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,633	3,637	242	1,363	1,002	2,397	751	—	154	807	—	—	—	—	—	10,356
	33	2,484	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	382	22,459	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	2,459	12,604	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	57	39,229	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

(上段：新設延長、中上段：今年度布設延長、中下段：今年度除却延長、下段：現在延長)

(4) 送・配水管布設延長 (全地区)

管路延長 合計 2,392,125m 配水管路延長 合計 2,197,405m  
送水管路延長 合計 194,720m (R 2. 3. 31現在 単位:m)

管種 管径 [mm]	鋳鉄管 (DIP, CIP)	鋼 管 (SGP)	ビニール管 (VP)	ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEEET)				石 綿 管 (ACP)	不 明 管	合 計	
				今 年 度 計 延長① 延長② 延長③ ④	今 年 度 計 延長① 延長② 延長③ ④	今 年 度 計 延長① 延長② 延長③ ④	今 年 度 計 延長① 延長② 延長③ ④				
900	446	446	124	124	124	124	124	124	124	124	570
800	1,042	1,042	0	0	0	0	0	0	0	0	1,042
700	8,568	8,568	1,776	1,776	1,776	1,776	1,776	1,776	1,776	1,776	10,344
600	9,581	▲ 113	9,468	3,636	3,636	3,636	3,636	3,636	3,636	3,636	13,217
500	25,455	4	25,455	2,140	2,140	2,140	2,140	2,140	2,140	2,140	27,595
450	3,020	0	3,020	0	0	0	0	0	0	0	3,020
400	25,821	1,574	27,395	5,614	5,614	5,614	5,614	5,614	5,614	5,614	31,435
350	5,678	0	5,678	4,288	4,288	4,288	4,288	4,288	4,288	4,288	9,966
300	28,739	2,252	271	29,010	2,231	2,231	2,231	2,231	2,231	2,231	30,970
250	17,337	13	▲ 603	17,334	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	23,128
200	130,173	2,341	▲ 1,754	128,419	14,693	14,693	14,693	14,693	14,693	14,693	145,639
150	296,336	4,356	950	297,296	15,589	21	21	15,610	25,355	106	114
125	20	▲ 20	20	259	0	0	0	259	55	55	224
100	441,612	3,246	2,015	443,627	21,480	0	0	21,480	98,719	148	148
80	0	0	0	34,789	0	0	0	34,789	0	0	0
75	477,585	1,863	1,002	478,587	13,963	31	▲ 31	13,932	161,878	352	352
50	6,697	0	6,697	21,871	35	20	15	21,886	64,852	1,418	1,418
50未満	▲ 87	0	▲ 87	2,085	0	0	0	2,085	8,117	19,365	19,365
合計	1,478,603	13,892	3,322	1,481,95	149,729	56	5	149,734	358,885	1,949	1,949
	10,570	0	0	51	0	0	0	0	243	243	243

## (5) 送・配水管布設延長(旧上水道事業地区)

管路延長 合計 1,839,090m 配水管路延長 合計 1,732,153m  
送水管路延長 合計 106,937m (R 2. 3. 31現在 単位:m)

管種 管径 [mm]	既設 ①	鋳鉄管 (DIP, CIP)		鋼 管 (SGP)		ビニール管 (VP)		ポリエチレン管 (PP)		石綿管 (ACP)		合 計				
		既設延長 布設延長② 実質延長 ④	今 年 度 計 ①+④)	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	今 年 度 計 ①+④)	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	既設延長 布設延長② 実質延長 ④	既設延長 布設延長③ 実質延長 ④	既設延長 布設延長③ 実質延長 ④	既設延長 布設延長③ 実質延長 ④	既設延長 布設延長③ 実質延長 ④	既設延長 布設延長③ 実質延長 ④	
900	446	.....	46	14	124	.....	.....	.....	.....	.....	.....	570	.....	.....	570	
800	1,042	.....	1,042	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	1,042	.....	.....	1,042		
700	8,568	.....	8,586	1,776	1,776	.....	.....	.....	.....	.....	10,344	.....	.....	10,344		
600	9,581	113  ▲ 113	9,468	3,636	3,636	.....	.....	.....	.....	.....	13,217	113  ▲ 113	13,104	13,104		
500	25,555	4  4	25,455	2,140	2,140	.....	.....	.....	.....	.....	27,555	4  4	27,595	27,595		
450	3,020	.....	3,020	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	3,020	.....	.....	3,020		
400	25,921	1,574	1,574	27,355	5,614	5,614	.....	.....	.....	.....	31,455	1,574	1,574	33,009		
350	5,678	.....	5,678	4,288	4,288	.....	.....	.....	.....	.....	9,966	.....	.....	9,966		
300	28,739	2,252  1,981	271	29,010	2,231	2,231	.....	.....	.....	.....	30,970	2,252  1,981	271	31,241		
250	17,937	13  616	17,334	5,191	5,191	.....	.....	.....	.....	.....	23,128	13  616	22,825	22,825		
200	129,388	587  2341	1,754	127,634	13,692	13,692	.....	.....	.....	.....	143,103	587  2,341	141,349	141,349		
150	286,759	4,356  3,406	950	281,709	14,257	21	14,278	30	30	1,710	75	1,785	266,736	4,452	297,802	
125	.....	20	▲ 20	20	43	43	.....	.....	30	1,710	75	1,785	3,406	3,406	3,406	
100	416,398	3,200  1,217	1,383	418,421	18,319	18,319	8,669  148	▲ 148	8,521	7,059	80	7,139	.....	450,465	3,280  1,365	452,400
80	.....	.....	.....	34,789	.....	34,789	.....	.....	.....	.....	.....	.....	34,789	.....	34,789	
75	455,076	1,863  861	1,002	456,078	▲ 131	▲ 31	▲ 162	36,932  35	▲ 325	36,907	10,200	31	10,201	502,077	1,894  1,217	502,754
50	2,576	.....	2,576	17,747	35  20	15	17,762	40,033	1,418	38,615	196,268  199	2,426	198,694	256,694	2,660  1,637	257,647
合計	1,410,524  10,559	13,849  3,290	1,413,814	123,716	56  51	5	123,721	86,664  1,891	▲ 1891	83,773	215,330  199	2,612	217,872  ▲ 90	1,885,074  12,700	16,716  4,016	1,889,090

## (6) 送・配水管布設延長(旧簡易水道事業地区)

管路延長 合計 553,035m  
送水管路延長 合計 87,783m  
(R 2. 3. 31現在 単位:m)

管種 管径 [mm]	鉄管 (DIP・CIP)	鋼 (SGP・SUS) 管	ビニール管 (VP)				ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEEET)				石綿管 (ACP)				不明 管				合 計												
			今 年 度	基 礎 延長 ①	施 設 延長 ②	施 設 延長 ③	今 年 度	基 礎 延長 ①	施 設 延長 ②	施 設 延長 ③	今 年 度	基 礎 延長 ①	施 設 延長 ②	施 設 延長 ③	今 年 度	基 礎 延長 ①	施 設 延長 ②	施 設 延長 ③	今 年 度	基 礎 延長 ①+④)	施 設 延長 ①+④)	基 礎 延長 ①+④)	施 設 延長 ①+④)	基 礎 延長 ①+④)	施 設 延長 ①+④)	基 礎 延長 ①+④)					
200	785	785	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750			
150	15,577	15,577	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	1,332	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31	▲31		
125			216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55		
100	25,174	25,174	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050	90,050		
75	22,509	22,509	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	14,094	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	
50	4,121	4,121	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819	24,819		
合計	68,079	68,079	43	43	32	32	68,111	68,111	26,013	26,013	26,013	26,013	26,013	26,013	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58	▲58

## (7) 各地区的水道施設

## ① 長野地区

( ) 内は施設の管理担当課  
浄:浄水課 維:水道維持課  
北部:水道維持課北部出張所

南部:浄水課南部出張所  
西部:水道維持課西部出張所

戸 隠 水 源 (北部)			導 水 管	延長	2,198m
貯 水 池	総貯水量	225,100 m <sup>3</sup>	鉄 管	φ 250mm	286m
	有効容量	217,900 m <sup>3</sup>	"	φ 200mm	792m
	取水塔	1基	"	φ 150mm	40m
	最大水深	11.7m	ヒューム管	φ 200mm	1,080m
往生地浄水場 (浄)					
導水内訳	導水管 延長	16,172m	着水井		
	ヒューム管	φ 500mm	容 量		21 m <sup>3</sup>
	鋼 管	φ 300mm	池 数		1 池
	"	φ 270mm	緩速ろ過池		
	鋳鉄管	φ 400mm	1 池 当面積		860 m <sup>2</sup>
	"	φ 300mm	池 数		3 池
マイクロストレーナー					
処理水量	10,000 m <sup>3</sup> /日		総ろ過面積		2,580 m <sup>2</sup>
	(回転数5.1~1.27rpm) ドラム (週速 32~8.0m/分)		配水池		
寸法	φ 2,000×2,400mm		容 量		1,100 m <sup>3</sup>
	マイクロ綱 510メッシュ		池 数		550 m <sup>3</sup> × 2 池
パイロット綱	4.5メッシュ		容 量		3,500 m <sup>3</sup>
	電動機出力 2.2kW		池 数		1,750 m <sup>3</sup> × 2 池
回転数	1,800rpm		総容 量		4,160 m <sup>3</sup>
	減速機		送水ポンプ		2,080 m <sup>3</sup> × 2 池
方程式	サイクル		型 式		8,760 m <sup>3</sup>
	減速比 1/43		口 径		水中モーターポンプ
变速機	バイエル		揚 程		100mm
	变速比 4 (0.2~0.8)		揚水 量		100m
洗浄用ポンプ			電動機出力		720 m <sup>3</sup> /日
型式	水中モーターポンプ		台 数		15kW
	口径 50mm		次亜塩素注入設備		2 台
揚程	21m		型 式		
	揚水 量 460 m <sup>3</sup> /日		注 入 量		7~270 ml/分
電動機出力	2.2kW		台 数		2 台
	貯水槽 1.5 m <sup>3</sup> × 2 槽		貯水槽		
間欠式空気揚水筒					
型式	標準単筒型		ベルトコンベア		
	口径 φ500 L=5.0m		電動機出力		1 kW
コンプレッサー	吐出空気量 840 ℓ/分 出力 7.5kW		全長		7 m
			台 数		7 台
越水水源池	総貯水量	2,700 m <sup>3</sup>			

非常用自家発電設備			
原動機		里島～夏目	
型式	4サイクル水冷頭上弁式	馬蹄型	1.7m×1.7m
出力	150ps/1,800rpm	延長	1,240m
種別	ディーゼルエンジン	勾配	1/1,240
台数	1台	取水沈砂池設備	
発電機		排砂設備	
型式	閉鎖通風防滴形	圧力水ポンプ	横軸多段過巻式
容量	120 kVA		125A×2.0m³/分×70m×37kW
電圧	220V		1台
周波数	60Hz	混気ジェットポンプ	(上段用) 50A 1基
回転数	1,800 rpm	"	(下段用) 80A 1基
裾花水源(淨)		集砂ノズル及び付属配管	S U S φ150~50m/m 1式
		排砂レベル計	サウジングM 1基
夏目ヶ原浄水場(淨)			
取水沈砂池		取水ポンプ井	
湯の瀬		容	115m³
型式	上下逆流式	池	115m³×1池
容量	230m³	着水井	
能力	54,250m³/日	容	224m³
池数	230m³×1池	池	224m³×1池
沈砂池		混合池	
湯の瀬		容	88m³
型式	横流沈殿式	池	22m³×4池
容量	1,372m³	フロック形成池	
池数	686m³×2池	容	1,424m³
里島		池	356m³×4池
型式	横流沈殿式	薬品沈殿池	
容量	1,072m³	型	横流沈殿式
池数	536m³×2池	容	10,296m³
導水管	延長	処理能力	54,250m³/日
湯の瀬	629m	池	2,574m³×4池
鉄管	φ1,000mm	急速ろ過池	
"	φ800mm	型	重力式急速ろ過池
鋼管	φ800mm	1池当面積	33.3m²
ヒューム管	φ1,000mm	池	12池
導水路(隧道)		総ろ過面積	400m²
湯の瀬～里島		1日当ろ過量	54,250m³
型式	馬蹄型	集水装置	有孔ブロック型
延長	1.8m×1.8m	操作方式	電動弁式
勾配	2,648m	洗浄方式	固定表洗及び逆洗併用水洗浄
	1/600		

配水池			電動機出力	22kW
容池数		2,300m <sup>3</sup>	台数	2台
容池数		1,150m <sup>3</sup> × 2池	沈殿池設備	
容池数		7,200m <sup>3</sup>	急速攪拌機	
容池数		3,600m <sup>3</sup> × 2池	電動機出力	2.2kW
容池数		6,000m <sup>3</sup>	台数	4台
容池数		6,000m <sup>3</sup> × 1池	緩速攪拌機	
容池数		6,000m <sup>3</sup>	電動機出力	3.7~0.4kW
容池数		6,000m <sup>3</sup> × 1池	台数	16台
容池数		5,000m <sup>3</sup>	排泥搔寄機	
総容量		2,500m <sup>3</sup> × 2池	型式	水没式
		26,500m <sup>3</sup>	電動機出力	0.75kW
洗浄水槽			台数	8台
容池数		320m <sup>3</sup>	薬品注入設備	
		160m <sup>3</sup> × 2池	パック貯槽	
容池数		2,040m <sup>3</sup>	容量	40m <sup>3</sup>
		1,740m <sup>3</sup> × 1池	槽数	20m <sup>3</sup> × 2槽
		300m <sup>3</sup> × 1池	パック注入機	
泥管			容量	3.41ℓ／分
鉄管	φ350	2,642m	電動機出力	3.7kW
			台数	3台
活性炭・ソーダ灰注入機			活性炭・ソーダ灰注入機	
			容量	120・300kg／時間
取水ポンプ			電動機出力	1.5kW
型式	立軸斜流ポンプ		台数	2台
口径		400mm	注入ポンプ	
揚程		16.5m	容量	200ℓ／分
揚水量		30,000m <sup>3</sup> ／日	電動機出力	3.7kW
電動機出力		85kW	次亜塩素注入設備	
台数		3台	貯蔵槽	10m <sup>3</sup> 2基
送水ポンプ			前次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.097~2.083ℓ／分
型式	水中モーターポンプ		電動機	0.4kw 2台
口径		250mm	中・後次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.048~0.655ℓ／分
揚程		40m	電動機	0.4kW 1台
揚水量		10,800m <sup>3</sup> ／日	一軸偏心ポンプ 0.029~0.328ℓ／分	
電動機出力		75kW	電動機	0.4kw 1台
台数		2台	非常用自家発電設備	
			原動機	
送水ポンプ			型式	単純開放サイクル 1軸式
(平柴配水池)			出力	950PS
型式	水中モーターポンプ		種別	ガスタービン
口径		125mm	回転数	タービン主軸31,500rpm
揚程		44m	出力軸	1,800rpm
揚水量		2,200m <sup>3</sup> ／日	台数	1台

発電機 型式	同期発電機	鉄管 φ350mm	1,432m
容量	750kVA	鉄管 φ400mm	925m
電圧	6,600V		
周波数	60Hz		
回転数	1,800rpm		
<b>犀川浄水場(浄)</b>			
取水設備		大町ダム系	
<b>犀川系</b>			
水源種別	伏流水	水源種別	表流水
井戸本数	350mm 40m (1号) 450mm 60m (2~5号) 600mm 90m (6・7号) 500mm 91m 予備(9号) 500mm 150m 予備(10号)	取水井 容池数	25m <sup>3</sup> 25m <sup>3</sup> ×1池
取水泵ポンプ	水中モーターポンプ(1号) 150mm 30m 3,000m <sup>3</sup> /日	導水管 鉄管 沈砂池 バースクリーン 間隙	(浄水場内) φ700mm 14m
型式	水中モーターポンプ(2~5号)	活性炭接触池	400m <sup>3</sup> 400m <sup>3</sup> ×1池
口径	200mm 35m 3,000m <sup>3</sup> /日	取水泵 型式	400m <sup>3</sup> 301m <sup>3</sup> ×1池
揚程	30m 37kW	立軸斜流ポンプ	
揚水量	45kW	口径	300mm
電動機出力	1台	揚程	10m
台数	水中モーターポンプ(6・7号)	揚水量	13.9m <sup>3</sup> /分
型式	250mm 40m 9,210m <sup>3</sup> /日	電動機出力	37kW
口径	4台	台数	回転数制御
揚程	水中モーターポンプ(6・7号)	水処理設備	2台
揚水量	250mm 40m 75kW	着分水井 容池数	165m <sup>3</sup> 165m <sup>3</sup> ×1池
電動機出力	2台	急速混和池 容池数	34.2m <sup>3</sup> 34.2m <sup>3</sup> ×1池
台数	水中モーターポンプ (9・10号) 予備	急速攪拌機 電動機	3.7kW 1台
型式	250mm 35m 10,080m <sup>3</sup> /日	フロック形成池 容段池数	721.4m <sup>3</sup> 3段
口径	80kW	緩速攪拌機 電動機	360.7m <sup>3</sup> ×2池 3.7~0.75kW 6台
揚程	2台		
揚水量			
電動機出力			
台数			
導水管			
鉄管	φ300mm		
	253m		

薬品沈殿池		揚水量	7,642m <sup>3</sup> /日
型式	横流沈殿式	電動機出力	170kw
容量	4,480m <sup>3</sup>	台数	2台
池数	2,240m <sup>3</sup> ×2池		
処理能力	34,650m <sup>3</sup>	薬品注入設備	
汚泥搔き機	型式 駆動方式 電動機	水中牽引式 2連1駆動 2.2kW 2台	パック注入設備 貯蔵槽 注入ポンプ 自動容量制御ポンプ 電動機
急速ろ過池			35m <sup>3</sup> 1基 0.1~2.1ℓ/分 0.4kW 2台
型式	重力式急速ろ過池(自己洗浄型)	苛性ソーダ注入設備	
1池当面積	35.28m <sup>2</sup>	貯蔵槽	20m <sup>3</sup> 1基
池数	8池	注入ポンプ	自動容量制御ポンプ 0.066~1.47ℓ/分
総ろ過面積	282.24m <sup>2</sup>	電動機	0.2kW 2台
1日当ろ過量	34,650m <sup>3</sup>		
集配水装置	低損失水頭形有孔ブロック	次亜塩素注入設備	
操作方式	サイフォン式	貯蔵槽	12m <sup>3</sup> 2基
洗浄方式	水逆洗+表面洗浄(回転式)	前次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.05~1.8ℓ/分
表洗ポンプ	3.6m <sup>3</sup> /分 35m 37kw 2台	電動機	0.4kW 2台
配水池		中・後次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.03~1.6ℓ/分
容量	20,000m <sup>3</sup>	電動機	0.4kW 2台
池数	10,000m <sup>3</sup> ×2池		
ポンプ井	1,110m <sup>3</sup>		
送・配水設備		侵食性遊離炭酸除去設備	
送・配水ポンプ (低区配水)		消石灰貯槽	鋼板製 19.4m <sup>3</sup> 1槽
型式	横軸両吸込渦巻ポンプ	溶解槽	鋼板製 51.6m <sup>3</sup> 1槽
口径	φ300mm×φ250mm	未溶物槽	R C 造 9.6m <sup>3</sup> 1槽
揚程	60m	溶液槽	鋼板製 42m <sup>3</sup> 1槽
電動機出力	200kw	沈降槽	F R P 製 55m <sup>3</sup> 1槽
台数	回転数制御 2台	処理水量	33,420m <sup>3</sup> /日(最大)
	固定速 2台	消石灰注入量	19.3mg/ℓ
(夏目ヶ原送水)		消石灰溶解濃度	1,600mg/ℓ(平均)
型式	両吸込渦巻ポンプ	運転方式	1槽運転方式
口径	340mm	操作方式	自動連続注入方式
揚程	115m	消石灰投入方式	吸引バグフィルター方式
揚水量	24,048m <sup>3</sup> /日	消石灰注入方式	溶液注入ポンプ方式
電動機出力	450kw		
台数	3台	伏流水次亜塩注入設備	
起動方式	1, 2号機 液体抵抗器 3号機 金属抵抗器	次亜塩貯蔵槽	P E 製 2 m <sup>3</sup> 2槽
(松ヶ丘系送水)		注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.015~0.423ℓ/分×0.2MPa
型式	横軸両吸込渦巻ポンプ	電動機	0.4kW 2台
口径	250×150mm	注入方式	インゼクター方式
揚程	125m		
		排水処理設備	
		排水池	520m <sup>3</sup> 1池
		排水返送ポンプ	1.62m <sup>3</sup> /分 11kW 2台
		排水移送ポンプ	0.3m <sup>3</sup> /分 0.75kW 2台

排泥池		440m <sup>3</sup>	1池	電動機出力		18.5kW
攪拌機	2枚羽根1段	3.7kW	2基	台数		1台
排泥ポンプ	0.6m <sup>3</sup> /分	3.7kW	3台	型式	水中モーターポンプ(2号)	
濃縮槽		760m <sup>3</sup>	2池	口径	150mm	
排泥引抜ポンプ	0.6m <sup>3</sup> /分	3.7kW	4台	揚程	15m	
汚泥搔寄機		0.75kW	2台	揚水量	4,320m <sup>3</sup> /日	
一次濃縮槽		577m <sup>3</sup>	2池	電動機出力		18.5kW
汚泥搔寄機		0.4kW	2台	台数		1台
非常用自家発電設備				型式	水中モーターポンプ(3号)	
1号自家発				口径	150mm	
原動機型式	単純開放サイクル1軸式			揚程	15.8m	
出力		1,860PS		揚水量	5,960m <sup>3</sup> /日	
種別	ガスタービン			電動機出力		18.5kW
回転数	タービン主軸	22,000rpm		台数		1台
	出力軸	1,800rpm		型式	水中モーターポンプ(4号)	
発電機型式	三相同期発電機			口径	150mm	
容量		1,500kVA		揚程	20m	
電圧		6,600V		揚水量	4,810m <sup>3</sup> /日	
周波数		60Hz		電動機出力		18.5kW
回転数		1,800rpm		台数		1台
2号自家発				型式	水中モーターポンプ(5号)	
原動機型式	単純開放サイクル1軸式			口径	250mm	
出力		1,050PS		揚程	40m	
種別	ガスタービン			揚水量	9,210m <sup>3</sup> /日	
回転数	タービン主軸	39,913rpm		電動機出力		75kW
	出力軸	1,800rpm		台数		1台
発電機型式	三相同期発電機			型式	水中モーターポンプ(6号)	
容量		875kVA		口径	250mm	
電圧		6,600V		揚程	40m	
周波数		60Hz		揚水量	9,200m <sup>3</sup> /日	
回転数		1,800rpm		電動機出力		75kW
川合新田水源(淨)				台数		1台
水源種別	深井戸			導水管		
井戸本数	350mm 50m(4号)	1本		鉄管	ø350mm	141m
	350mm 40m(1~3号)	3本		鉄管	ø300mm	101m
	500mm 150m(5・6号)	2本		鉄管	ø250mm	95m
取水泵型式	水中モーターポンプ(1号)			配水池		
口径		150mm		容量	5,000m <sup>3</sup>	
揚程		20m		池数	2,500m <sup>3</sup> ×2池	
揚水量		4,810m <sup>3</sup> /日		容量	4,200m <sup>3</sup>	
				池数	2,100m <sup>3</sup> ×2池	
				総容	9,200m <sup>3</sup>	

送・配水ポンプ	横軸両吸込み渦巻きポンプ	導水管	延長	296m
型式	250×200mm	鉄管	φ250mm	
口径	59.1m	着水井	有効 23m <sup>3</sup>	1池
揚程		緩速ろ過池		
送水量	11,573m <sup>3</sup> /日	1池当面積		500m <sup>2</sup>
電動機出力	132kW	池数		3池
台数	4台	総ろ過面積		1,500m <sup>2</sup>
次亜塩素注入設備		浄水池		
注入ポンプ	液中ピストンポンプ	容量		1,000m <sup>3</sup>
型式	15.3ℓ/時間(MAX)	池数		250m <sup>3</sup> ×4池
注入量	φ6-φ11 ホース接続	送水ポンプ		
口径	40W(可変速)	型式	水中モーターポンプ	
電動機出力	2台	口径		100mm
台数		揚程		130m
次亜塩素貯留槽		揚水量		1,500m <sup>3</sup> /日
型式	円筒立形定置式	電動機出力		45kW
容量	2m <sup>3</sup> (有効)	台数		3台
材質	外面FRP、内面PVC	計装備	遠方監視装置一式	
槽数	3m <sup>3</sup> ×2槽			
非常用自家発電設備		滅菌設備		
原動機型式	単純開放サイクル1軸式	型式	次亜塩素酸ソーダ注入装置	
出力	1,520PS(1,118kW)	容量	3.8ℓ/時間(MAX)	
種別	ガスタービン	台数		2台
回転数	タービン主軸 22,000rpm 出力軸 1,800rpm	貯蔵槽	2,000ℓ×1槽	
発電機型式	三相同期発電機	ベルトコンベア		
容量	1,000kVA	電動機出力		1kW
電圧	6,600V	全長		7m
周波数	60Hz	台数		6台
回転数	1,800rpm			
飯綱浄水場(北部)				
取水ポンプ	水中モーターポンプ	洗砂機	可搬式高速洗砂機	
型式		型式		
口径	80mm	台数		1台
揚程	60m	ポンプ揚水量		90m <sup>3</sup> /時間
揚水量	1,000m <sup>3</sup> /日	電動機出力	攪拌機	3.7kW
電力機出力	11kW		節分機	2.2kW
台数	1台		給水ポンプ(洗砂機用)	7.5kW
			給水ポンプ(汚砂ホッパー用)	3.7kW
導水管		洗砂能力		4m <sup>3</sup> /時間
鉄管	φ150			
分水井	12m <sup>3</sup>	送水管	延長	2,466m
			鋼管	φ250mm

長野運動公園緊急貯水槽 (維)			水道維持課 (柳町) (維)		
構	造	P C 内径 8.0m 外径8.5m 全長21.0m (有効20m) 有効容量1,000m <sup>3</sup>	設	備	自家用発電機 (電灯) 50kVA (動力) 15kVA
<b>若里緊急貯水槽 (維)</b>					
設	備	流出管緊急遮断弁 自家用発電機6.5kVA	構	造	D I P 内径 φ2,600mm 全長 19.28m × 3本 有効容量300m <sup>3</sup> (内消防用水120m <sup>3</sup> )
<b>城山公園緊急貯水槽 (浄)</b>					
構	造	D C I P φ2,000mm 全長108.36m 有効容量330m <sup>3</sup> (内緊急時貯水量210m <sup>3</sup> )	設	備	サイフォンブレイク型遮断方式

② 松代地区

清野ポンプ場(南部) (旧清野浄水場)		容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	0.38ml～76ml/分 2台 取水ポンプと連動
淨水池		288m <sup>3</sup> 144m <sup>3</sup> ×2池	
淨水池 容 量 池 数			
送水ポンプ 型 式	多段ポンプ		
口 径		100mm	
揚水 量		1,600m <sup>3</sup> /日	
揚程		77m	
電動機出力 台 数		30kW 3台	
寺尾浄水場(南部)		淨水池 容 量 池 数	600m <sup>3</sup> 300m <sup>3</sup> ×2池 (14.7×6.0×4.0m)
井戸			
寺尾第一水源	(旧寺尾第三水源)		
井 型		R C φ4,000mm	非常用自家発電設備
深 度		10m	原動機
基 数		1基	型式 水冷式4サイクル
寺尾第二水源			出力 544kW
井 型		R C φ3,000mm	種別 ディーゼルエンジン
深 度		10m	燃料 A重油(LSA)
基 数		1基	台数 1台
取水ポンプ 型 式	水中モーターポンプ(寺尾第一水源)		発電機
口 径		100mm	型式 横軸回転界磁形同期発電機
揚 程		20m	容量 350kVA
揚水 量		2,000m <sup>3</sup> /日	電圧 6,600V
電動機出力 台 数		11kW 2台	周波数 60Hz
型 式	水中モーターポンプ(寺尾第二水源)		回転数 1,800min <sup>-1</sup>
豊栄水源(南部)		導水管 鉄管 " "	
口 径		φ75mm	151m
揚 程		φ100mm	292m
揚水 量			
電動機出力 台 数			
豊栄浄水場(南部)		着水井 容 池 数	
エアレーション装置	φ1,600×5,000	2基	17.7m <sup>3</sup>
処理能力		4,500m <sup>3</sup> /日	1池
送風機		2.2kW×3台	
次亜塩素注入設備 型 式	次亜液中ピストンポンプ	薬品沈殿池 型 容	横流沈殿式 357.0m <sup>3</sup>

処理能力 池	2,000m <sup>3</sup> /日 178.5m <sup>3</sup> × 2池 (3.0×17.5×3.4m)	西 条 水 源 (南部)	
		導水管 鉄管 〃	φ 75mm 1,235m φ 100mm 1,323m
沈殿池内装		西 条 清水場 (南部)	
急速攪拌機	1台	旧薬品沈殿池	
電動機出力	0.75kW	着水井	2.9m <sup>3</sup>
緩速攪伴機	2台	量水井	2.6m <sup>3</sup>
電動機出力	0.75kW	旧混合池	16.25m <sup>3</sup>
急速ろ過池	重力式急速ろ過池	旧沈殿池	124m <sup>3</sup> 2池 (15m×2.5m×3.25m)
型式		膜ろ過設備	
1池当面積	5.0m <sup>2</sup>	自動ストレーナ	
池数	3池	型式	自動搔き取り式
総ろ過面積	15.0m <sup>2</sup>	スクリーン	200μm
1日当ろ過量	2,250m <sup>3</sup>	台数	1台
集水装置	有孔ブロック型	原水槽	
操作方法	全自動式(オートフィルター)	型式	角型(SUS304)
洗浄方式	表洗逆洗併用(逆洗補給水方式)	容量	1,400ℓ × 1槽
薬品注入設備		原水ポンプ	
パック注入設備		型式	陸上型渦巻ポンプ
型式	液中ピストンポンプ	口径	40×32mm
注入量	0.48ml～48ml/分	吐出量	0.16m <sup>3</sup> /分
台数	2台(内1台予備)	揚程	25m
貯留槽	PVC製1,000ℓ 2槽	電動機出力	1.5kW
台数		台数	2台(1台/系列)
次亜塩素注入設備		膜ろ過装置	
型式	液中ピストンポンプ	膜モジュール	外圧式中空糸限外ろ過膜(UF膜)
注入量(前次亜)	0.04ml～7.8ml/分	膜材質	ポリフッ化ビニリデン(PVDF)
(中次亜)	0.24ml～24ml/分	膜面積	75m <sup>2</sup> /モジュール
台数(前次亜)	2台(内1台予備)	数量	2本/系列
(中次亜)	2台(内1台予備)	逆洗ポンプ	陸上型渦巻ポンプ
貯留槽	PVC製800ℓ 2槽	型式	40×32mm
淨水池		口径	
容量	200m <sup>3</sup>	吐出量	0.12m <sup>3</sup> /分
池数	100m <sup>3</sup> × 2池 (6.5×6.5×2.7m)	揚程	25m
排水平池		電動機出力	1.5kW
容量	50m <sup>3</sup>	台数	2台
池数	1池 (4.5×4.5×2.5m)	逆洗水槽	
		型式	角型(SUS304)

容 量		600 ℥ × 1 槽	次亜塩素注入設備 次亜貯蔵槽	
空 気 壓 縮 機	型 式	無給油圧力密閉器式	型 式	角型槽 (PVC)
吐 出 量		49 ℥ / 分	容 量	100 ℥ × 2 槽
圧 力		最大 0.80 MPa	後次亜注入ポンプ	
電 動 機 出 力		0.54 kW	型 式	浸漬式バルブレスポンプ
台 数		2 台	注 入 量	最大 6 ml / 分
除 湿 機	型 式	冷却式	台 数	2 台
処 理 量		370 ℥ / 分	逆洗次亜注入ポンプ	
電 動 機 出 力		0.2 kW	型 式	浸漬式バルブレスポンプ
台 数		1 台	注 入 量	最大 12 ml / 分
空 気 槽	型 式	圧力密閉槽	台 数	2 台 (1 台 / 系列)
容 量		最大 0.97 MPa	配 水 池	
		430 ℥ × 1 槽	容 量	140 m³
			池 数	70 m³ × 2 池

③ 若穂地区

高岡浄水場(南部)			台数	2台
			貯留槽	PVC製 50ℓ 1槽
集水埋渠	有孔HP $\phi 100\text{ mm}$ 30m			
集水井		1.0m³ × 1池		
導水管				
ポリエチレン管	$\phi 75\text{ mm}$	24m	深井戸	
ポリエチレン管	$\phi 50\text{ mm}$	880m	井戸径	400mm
接合井		0.07m³ × 2池	深度	110m
			基數	1基
高岡配水池			取水泵	
容量		62m³	ポンプ型式	水中モーターポンプ
池数		62m³ × 1池	口径	100mm
			揚程	80m
マイクロフィルタ	HDF 501-1H		揚水量	1,670m³/日
台数		1基	電動機出力	26kW
原水量		最大 2.7m³/時間	台数	1台
フィルタ開口		20μm 自動洗浄		
電動機出力	3相 200V 60Hz	0.2kW + 0.55kW	送水泵	多段渦巻ポンプ
着水井(原水槽)		1.4m³ × 1槽	型式	
			口径	125mm
原水ポンプ			揚程	55m
型式	水中モーターポンプ		揚水量	2,534m³/日
口径		32mm	電動機出力	30kW
吐出量		86m³/日	台数	2台
電動機出力		2.2kW	ポンプ室	溶接構造型
台数		2台	ポンプ井	
膜ろ過装置			構造	溶接構造型
膜モジュール	内圧式中空糸限外ろ過膜(UF膜)		容量	5.0×5.0×4.0m 87.5m³
膜材質	酢酸セルロース(CA)		池数	87.5m³ × 1池
膜面積		16m²	取水泵ポンピット	
数量		2本		5.0m²
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ		水位調整弁	
型式			型式	MFF-200型
口径		32mm	外部開度調整機構付	
吐出量		0.09m³/分	口径	150mm
電動機出力		0.75m³/分		
台数		2台		
山内浄水場(南部)				
逆洗水槽	PVC製 500ℓ	1槽	膜ろ過設備	
次亜塩素注入設備			自動ストレーナ	
型式	液中ピストンポンプ		型式	自動掻き取り式
注入量		0.08ml~7.8ml/分	スクリーン	200μm
			台数	1台

原水槽	型式 容量	角型 (SUS304) 有効2.8m <sup>3</sup> ×1槽	空氣槽	型式 容量	鋼板製円筒型 430L×1槽
原水ポンプ	型式 口径 吐出量 揚程 出力 台数	陸上型多段渦巻ポンプ 65×40mm 0.28m <sup>3</sup> /分 28m 2.2kW 1台 (1台/系列)	次亜塩素注入設備 次亜貯蔵槽	型式 容量	角型槽 (PVC) 100L×2槽
膜ろ過装置	膜モジュール 膜材質 膜面積 数	外圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜) ポリフッ化ビニリデン (PVDF) 75m <sup>2</sup> /モジュール 4本/系列	後次亜注入ポンプ 型式 吐出量 台数	液中バルブレスポンプ 最大12mL/分 2台 (内1台予備)	
逆洗ポンプ	型式 口径 吐出量 揚程 出力 台数	渦巻ポンプ 65×32mm 0.22m <sup>3</sup> /分 28m 2.2kW 2台 (内1台予備)	逆洗次亜注入ポンプ 型式 吐出量 台数	液中バルブレスポンプ 最大25mL/分 2台 (1台/系列)	
逆洗水槽	型式 容量	円筒密閉型 (PE) 有効0.8m <sup>3</sup> ×1槽	持者浄水場 (南部)		
空気圧縮機	型式 吐出量 圧力 出力 台数	圧力開閉式 49L/分 最大0.80MPa 0.54kW 2台 (内1台予備)	集水井 集水埋渠 導水管 着水井 緩速ろ過池 净水渠 配水池	HP φ1,000mm×2.4m 有孔HP φ200×4m φ50mm 1.93m <sup>3</sup> ×1池 1.44m <sup>3</sup> ×1池 1.93m <sup>3</sup> ×1池 2.7m <sup>3</sup> ×1池	60m
除湿機	型式 除湿能力 出力 台数	据付式除湿乾燥機 8.7L/時間 3kW 1台	次亜塩素注入設備 型式 注入量 台数 貯留槽 配水管	液中ピストンポンプ 0.035ml~3.5ml/分 1台 PVC製 100ℓ 硬質塩化ビニル管 φ75mm ポリプロピレン管 φ75mm	1槽 110m 150m

④ 豊野地区

堀 水 源 (淨)		取・送水ポンプ	
井 戸	戸 型	R C $\phi 4,700\text{mm}$	型 式 水中タービンポンプ
井 度	深 度	13.5m	口 径 125mm
基 数	基 数	1基	揚 程 85m
集 水 管	集 水 管	$\phi 89\text{SUS}$ 製 L=10.5m×40本	揚 水 量 2,505m <sup>3</sup> /日
取・送水ポンプ		電動機出力 45kW	電動機出力 45kW
型 式	水中タービンポンプ	台 数 2台	台 数 2台
口 径		紫外線処理装置	
揚 程		処理水量 最大 3,400m <sup>3</sup> /日	
揚 水 量		使 用 圧 力 最 大 0.98Mpa	
電動機出力		紫 外 線 照 射 量 常時 10mJ/cm <sup>2</sup> 以上	
台 数		使 用 ラ ン プ QGL65-22A (65W) 6本	
次亜塩素注入設備		次亜塩素注入設備	
型 式	次亜バルブレスポンプ	型 式 次亜バルブレスポンプ	
容 量		容 量 2.5~25ml/分	
台 数		台 数 3台	
注 入 方 式	3.8~38ml/分	注 入 方 式 井戸揚水ポンプと連動	
貯 留 槽	3台	貯 留 槽 F R P 製 1.5m <sup>3</sup> ×2槽	
西沖浄水場 (淨)			
井 戸	戸 型	R C $\phi 6,000\text{mm}$	非常用自家発電設備
井 度	深 度	13.5m	発電機 同期発電機
基 数	基 数	1基	容 量 120kVA
集 水 管	集 水 管	$\phi 80\text{SUS}$ 製 L=10.5m×50本	種 別 ディーゼルエンジン
			回 転 数 1800rpm

⑤ 戸隠地区

戸隠浄水場(北部)		吐出量 圧力 台数	49L/分 最大0.80MPa 0.54kW 2台(内1台予備)
膜ろ過設備			
自動ストレーナ型式	自動搔き取り式		
スクリーン台数		200 $\mu\text{m}$ 1台	
原水槽			
型式	角型(SUS304)		
容量		有効8.0 $\text{m}^3 \times 1$ 槽	
原水ポンプ			
型式	陸上型多段渦巻ポンプ		
口径		65×40mm	
吐出量		0.28 $\text{m}^3/\text{分}$	
揚程		28m	
出力		2.2kW	
台数		1台(1台/系列)	
膜ろ過装置			
膜モジュール	内圧式中空糸限外ろ過膜(UF膜) ×7本(1系列)		
膜材質	酢酸セルロース(CA)		
膜面積		50 $\text{m}^2/\text{モジュール}$	
膜モジュール	内圧式中空糸限外ろ過膜(UF膜) ×7本(1系列)		
膜材質	親水化ポリエーテルスルホン(PES)		
膜面積		62 $\text{m}^2/\text{モジュール}$ 2系列/14本	
数			
逆洗ポンプ			
型式	渦巻ポンプ		
口径		65×32mm	
吐出量		0.22 $\text{m}^3/\text{分}$	
揚程		28m	
出力		2.2kW	
台数		2台(内1台予備)	
逆洗水槽			
型式	円筒密閉型(PE)		
容量		有効0.8 $\text{m}^3 \times 1$ 槽	
空気圧縮機			
型式	圧力開閉式		
越水第3水源(北部)			
深井戸			
井戸径			200mm
深度			100m
基數			1基
取水ポンプ			
型式	水中モーターポンプ		
口径			100mm
揚程			125m
揚水量			1,670 $\text{m}^3/\text{日}$
電動機出力			26kW
台数			1台
ポンプ室		R C造(0.6×1.1)	1.6 $\text{m}^2$

ポンプ井構	RC造	上野第1水源(北部)		
容量池数	1.5×1.1×1.3m 2.1m³ 2.1m³×1池	取水構	水井造	φ2400mm×3.5m
取水ポンプピット	5.0m²	建構	屋造	RC造(1.2×1.2) 1.4m²
水位調整弁型	MFF-200型 外部開度調整機構付	上野第3水源(北部)		
口径	150mm	浅井戸	戸径	400mm
越水第4水源(北部)				
深井戸井戸径	250mm	深基	深度数	27m 1基
深度基數	156m 1基	取水ピット構	造	RC造(2.0×1.5×1.5)
取水ポンプ型式	水中モーターポンプ	上野第4水源(北部)		
口径	100mm	浅井戸	戸径	350mm
揚程	125m	深基	深度数	35m 1基
揚水量	1,670m³/日	取水ピット構	造	RC造(2.0×2.0×2.0)
電動機出力台	26kW 1台	水景苑水源(北部)		
ポンプ室	RC造(3.0×3.0) 9.0m²	深井戸	戸径	150mm
ポンプ井構	RC造	深基	深度数	1基
容量池数	2.0×1.5×1.3m 3.9m³ 3.9m³×1池	建構	屋造	RC造
取水ポンプピット	5.0m²	山入水源(北部)		
水位調整弁型	MFF-200型 外部開度調整機構付	取水堰構	堤造	RC造
口径	150mm	宮浦水源(北部)		
宝光社第1水源(北部)				
取水施設構	RC造 1.0×2.0×1.5m 有孔ヒューム管 φ300mm	深井戸	戸径	300mm
		深基	深度数	67m 1基

谷沢水源(北部)		下祖山第1水源(北部)	
取水施設構	造有孔ヒューム管	$\phi 150\text{mm}$	取水堰堤構
集水井構	造R C造	(0.8×0.8×1.4m) $0.9\text{m}^3 \times 1$ 槽	R C造 (0.2×0.5×H2.0×L4.0) 1基
銚子口水源(北部)		下祖山第2水源(北部)	
集水埋渠構	造有孔ヒューム管	$\phi 150\text{mm}$	取水堰堤構
集水井構	造R C造	(1.5×1.0×0.6m) $0.9\text{m}^3 \times 1$ 槽	R C造 (0.2×0.5×H2.0×L3.0) 1基

⑥ 鬼無里地区

大 清 水 水 源 (北部)		ほとば沢2号水源 (北部)	
取水堰構	堤造 R C造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1基	集水構	埋渠造 有孔ヒューム管 φ150mm
集水構	井造 R C造 (0.5×0.5×0.6m) 0.15m³×1槽	集水構	井造 R C造
ひのき沢水源 (北部)			
取水堰構	タキノ沢水源 (北部)		埋渠造 有孔ビニール管 φ150mm
集水構	井造 有孔ヒューム管 φ75mm	集水構	井造 R C造 (0.3×0.3×0.4m)
ほとば沢1号水源 (北部)		財又水源 (北部)	
集水構	埋渠造 有孔ヒューム管 φ150mm	取水構	堰堤造 R C造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1基

⑦ 大岡地区

四ヶ村・五ヶ村水源 (西部)		集水構造	R C 造 (1.0×1.0×1.5m) 0.7m³×1槽
取水構造	堰堤造 R C 造 (0.2×0.8×H3.0×L8.0) 1基		
集水構造	R C 造 (2.0×平均1.6×1.5m) 4.6m³×1槽		
導水管	W E E T 管 φ50mm		1,054.87m
中牧水源 (西部)		大岡南部水源 (西部)	
深井戸	井戸径 200mm	深井戸戸数	150mm
深基	深度 46m	深度	70m
取水泵型式	水中モーターポンプ	基数	1基
口径	50mm	取水泵型式	R C 造 (2.0×1.5×1.5)
揚程	28m	口径	40mm
揚水量	115.2m³/日	揚程	76m
電動機出力	2.2kW	揚水量	115.2m³/日
台数	1台	電動機出力	3.7kW
聖北水源 (西部)		樺内南水源 (西部)	
取水構造	堰堤造 R C 造 (0.15×0.8×H2.4×L19.0) 1基	深井戸戸数	200mm
集水構造	ビニル管 (VU φ600mm×1.8m) 0.5m³×1槽	深度	71m
導水管	P P 管 φ40mm	基数	1基
小聖水源 (西部)		取水泵型式	水中モーターポンプ
取水構造	堰堤造 R C 造 (0.2×0.5×H2.0×L7.0) 1基	口径	40mm
		揚程	69m
		揚水量	187.2m³/日
		電動機出力	3.7kW
		台数	1台
ポンプ室		ポンプ室造	R C 造 (2.0×2.0) 4.0m²
ポンプ構造		ポンプ井造	R C 造
容池		容量	(4.0×5.0×2.0) 40m³
		池数	1井

送水ポンプ 型式	水中タービンポンプ	取水ポンプ 型式	水中モーターポンプ
口径	40mm	口径	80mm
揚程	64m	揚程	130m
揚水量	381.6m <sup>3</sup> /日	揚水量	720m <sup>3</sup> /日
電動機出力 台数	3.7kW 2台	電動機出力 台数	18.5kW 1台
聖山水源(西部)			
深井戸 井戸径	300mm	次亜塩素注入設備 型式	次亜液中ピストンポンプ
深度 基數	50m 1基	容量 台数	25ml/分 2台
		注入方式 貯留槽	定量注入 角型槽(PVC) 100L×1槽

(8) 信州新町地区

穂刈第2水源(西部)		導水管	
取水設備		鉄管	$\phi 75\text{mm}$ 160m
取水ポンプ	1号	鉄管	$\phi 150\text{mm}$ 4m
形式	横軸渦巻きポンプ	SUS管	$\phi 80\text{mm}$ 81m
口径		VPP管	$\phi 125\text{mm}$ 357m
揚程	$\phi 125$	穂刈水源 (予備水源)	
揚水量	17m		
電動機出力	2,304 $\text{m}^3/\text{日}$		
台数	7.5kW		
1台			
取水ポンプ	3号-1	井戸	
形式	横軸渦巻きポンプ	水源種別	地下水
口径		井戸型	R C $\phi 5,000\text{mm}$
揚程	$\phi 125$	深度	6.8m
揚水量	17m	基數	1基
電動機出力	2,304 $\text{m}^3/\text{日}$	取水ポンプ	水中モーターポンプ
台数	7.5kW	型式	
		口径	80mm
	1台	揚程	12m
		揚水量	907 $\text{m}^3/\text{日}$
		電動機出力	5.5kW
		台数	2台
穂刈浄水場(西部)		穂刈浄水場(西部)	
水源種別	伏流水	集水井	R C造
井戸形状	$\phi 80 \times H 7.5\text{m}$	容量	$3.5 \times 7.0 \times 2.1\text{m}$ 51.5 $\text{m}^3$
井戸本数		池数	1池
取水ポンプ	5号-1~2 6号-1~2	急速ろ過設備	
形式	水中モーターポンプ	形式	圧力式密閉型 $\phi 2,800 \times 3,000\text{H}$
口径		処理能力	500 $\text{m}^3/\text{日}$
揚程	$\phi 125$	台数	2基
揚水量	23m	ろ過ポンプ	
電動機出力	2,304 $\text{m}^3/\text{日}$	型式	水中モーターポンプ
台数	7.5kW	口径	125mm
		揚程	24m
	4台	揚水量	2,419 $\text{m}^3/\text{日}$
		電動機出力	11kW
		台数	2台
緊急用引戸	(穂刈浄水場内)	逆洗ポンプ	
形式	横軸渦巻きポンプ	型式	水中モーターポンプ
口径		口径	200mm
揚程	$\phi 100$	揚程	14m
揚水量	17m	揚水量	6,192 $\text{m}^3/\text{日}$
電動機出力	2,160 $\text{m}^3/\text{日}$	電動機出力	22kW
台数	3.7kW		
	1台		

台 数		2 台	次亜塩素注入設備	
管 理 棟	R C 造 5400×9400 軽量	50.6 m <sup>2</sup> 21 m <sup>2</sup>	型 式	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分
紫 外 線 処 理 棟	R C 造 5400×9400	50.76	容 量	2 台
紫 外 線 処 理 設 備	R C 造 5400×9400 内照式流水型	50 m <sup>2</sup>	台 数	定量注入
形 式			注 入 方 式	
處 理 能 力		1,901 m <sup>3</sup> /日	貯 留 槽	角型槽 (PVC) 100 L × 1 槽
台 数		2 基	ボンブ室構	
淨 水 池	R C 造		ボンブ井構	R C 造 (2.4×1.8) 4.3 m <sup>2</sup>
容 量	6.6×7.0×3.0m	138.6 m <sup>3</sup>	容 量	1.2×1.5×2.4m 4.3 m <sup>3</sup>
池 数		1 池	池 数	4.3 m <sup>3</sup> × 1 池
送 水 ポンプ			送 水 ポンプ	
型 式	次亜液中ピストンポンプ		型 式	水中モーターポンプ
容 量	4 ml ~ 20 ml/分		口 径	40 mm
台 数		2 台	揚 程	116 m
注 入 方 式	取水ポンプと連動		揚 水 量	130 m <sup>3</sup> /日
貯 留 槽	0.49×0.49×0.946	220 ℥ × 1 槽	電 動 機 出 力	5.5 kW
残 留 塩 素 計	無試薬回転電極式		台 数	1 台
鹿 道 水 源 (西部)				
送 水 ポンプ	穂刈第2配水池		取 水 口	
型 式	水中モーターポンプ		取水用有効パイプ	S G P 管 φ 75 mm H=2.5 m
口 径		φ 80 mm		1 箇所
揚 程		93 m	取 水 管	S G P 管 φ 75 mm L=13.5 m V P 管 φ 50 mm L=15.5 m
送 水 量		1,497 m <sup>3</sup> /日	ボンブ室構	
電 動 機 出 力		30 kW	造	R C 造 (2.8×2.1) 5.9 m <sup>2</sup>
台 数		3 台		
發 電 機 建 屋	鉄骨	12.75 m <sup>2</sup>	取 水 ポンプ	
非常用自家発設備	可搬式発電機		型 式	横軸渦巻きポンプ
原 動 機 形 式	水冷 4 サイクル直接噴射式		口 径	40 mm
排 気 量	過給機付	9.839 ℥	揚 程	11.8 m
定 格 出 力		230 kW	揚 水 量	317 m <sup>3</sup> /日
發 電 機 形 式	突極回転界磁型同期発電機		電 動 機 出 力	0.75 kW
定 格 出 力		220 kVA	台 数	1 台
出 力 電 圧	三相 4 線 60Hz	220V	ボンブ槽構	
花 倉 水 源 (西部)				
集 水 ピッ ト			構 造	F R P 造
構 造	R C 造	A=47.5 m <sup>2</sup>	容 量	1.0×1.0×2.0 2.0 m <sup>3</sup>
容 量	口径 1.2m 深 7.3m	8.3 m <sup>3</sup>	池 数	2.0 m <sup>3</sup> × 1 槽

送水ポンプ	立形多段ポンプ	橋木水源(西部)
型式		
口径	32mm	取水口
揚程	110m	取水用有効パイプ
揚水量	144m³/日	S GP管 φ75mm H=5.0m 1箇所
電動機出力	4kW	取水管
台数	1台	S GP管 φ75mm L=15.0m VP管 φ50mm L=100.0m
日名水源(西部)		
取水口		取水ポンプ
集水井	コンクリート製マンホール φ800mm 1基	型式
集水管	S GP管 φ75mm L=16.0m	横軸渦巻きポンプ
取水ポンプ		口径
型式	横軸渦巻きポンプ	40mm
口径	50mm	揚程
揚程	19.5m	揚水量
揚水量	360m³/日	230m³/日
電動機出力	1.5kW	電動機出力
台数	1台	1台
次亜塩素注入設備		次亜塩素注入設備
型式	次亜液中ピストンポンプ	型式
容量	6ml/分	次亜液中ピストンポンプ
台数	2台	容
注入方式	定量注入	量
貯留槽	角型槽(PVC) 100L×1槽	台
残留塩素計	無試薬回転電極式	注入方式
ポンプ室		貯留槽
構造	R C造 (3.0×2.1) 6.3m²	角型槽 (PVC) 100L×1槽
ポンプ井		残留塩素計
構造	R C造	無試薬回転電極式
容量	3.0×2.1×2.0m 12.6m³	ポンプ室
池数	12.6m³×1池	構造
送水ポンプ		ポンプ室
型式	水中モーターポンプ	R C造 (3.9×3.3) 12.9m²
口径	40mm	構
揚程	72m	ポンプ井
揚水量	360m³/日	構造
電動機出力	5.5kW	ポンプ井
台数	1台	容量
吐噴水源(西部)		
取水口		取水口
		取水用有効パイプ
		S GP管 φ75mm H=3.5m 1箇所
		取水管
		S GP管 φ75mm L=11.0m VP管 φ40mm L=20.0m

取水ポンプ型式	横軸渦巻きポンプ	池数	2.1m <sup>3</sup> ×1池
口径	40mm	取水ポンプ室構	R C造 (2.0×1.1) 2.2m <sup>2</sup>
揚程	10.5m		
揚水量	288m <sup>3</sup> /日		
電動機出力	0.75kW	取水ポンプ	水中モーターポンプ
台数	1台		
ポンプ槽構造	F R P造	口径	40mm
容量	1.0×1.0×1.0m	揚程	15.0m
池数	1.0m <sup>3</sup>	揚水量	144m <sup>3</sup> /日
	1.0m <sup>3</sup> ×1池	電動機出力	0.75kW
		台数	2台
次亜塩素注入設備		導水管	
型式	次亜液中ピストンポンプ	S G P管	ø50mm 11m
容量	25ml/分		
台数	2台		
注入方式	定量注入		
貯留槽	角型槽 (P V C) 100L×1槽	膜ろ過装置	
残留塩素計	無試薬回転電極式	膜モジュール	外圧式中空糸過膜 (M F膜)
ポンプ室構造	軽量ブロック造 (2.3×2.3) 5.3m <sup>3</sup>	膜材質	ポリフッ化ビニリデン (P V D F)
		膜面積	23m <sup>2</sup> /モジュール
		枚数	2本
逆洗ポンプ		逆洗ポンプ	渦巻きポンプ
形		出力	0.75kW
立形多段渦巻きポンプ		口径	32mm
口径	25mm	台数	1台
揚程	73m	逆洗タンク	ポリエチレン製角型タンク 100L×1台
揚水量	71m <sup>3</sup> /日		
電動機出力	2.2kW		
台数	1台		
牧田中水源 (西部)			
取水口		型式	次亜液中ピストンポンプ
集水樹	ステンレスタンク 1.0×1.0×1.0m 1基	容量	25ml/分
集水管		台数	2台
V P有孔管	ø75mm L=30.0m	注入方式	定量注入
導水管		貯留槽	角型槽 (P V C) 100L×1槽
V P管	ø50mm 47.79m	残留塩素計	無試薬回転電極式
ポンプ室構造		ポンプ室構造	R C造 (3.1×3.1) 9.6m <sup>2</sup>
ポンプ井構造			
容積		R C造	
池数		3.0×3.0×0.5m	4.5m <sup>3</sup>
			4.5m <sup>3</sup> ×1池
味藤水源 (西部)			
取水ポンプ井構造	R C造		
容積	2.0×1.1×0.95m		
	2.1m <sup>3</sup>		

送水ポンプ 型式	多段渦巻ポンプ	注入方式	定量注入
口径	40mm	貯留槽	角型槽(PVC) 100L×1槽
揚程	210m	残留塩素計	無試薬回転電極式
揚水量			144m <sup>3</sup> /日
電動機出力 台数	11.0kW 2台	左 右 水 源 (西部)	
塩本水源(西部)			
取水口 集水柵	R C造 (0.5×0.3×0.5m) 0.08m <sup>3</sup> ×1槽	取水口 集水柵	R C造 (1.4×1.4) 有孔管 φ100mm L=50.0m
導水管 V P管	φ50mm 21m	導水管 P P管	φ50mm 53.68m
塩本浄水場(西部)			
着水井 構造	R C造 (1.5×3.0×1.0m) 4.5m <sup>3</sup> ×1槽	計装室 構造	R C造 (2.0×2.2) 4.4m <sup>2</sup>
膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数 量	外圧式中空糸過膜(MF膜) ポリフッ化ビニリデン(PVDF) 23m <sup>2</sup> /モジュール 1本	膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数 量	外圧式中空糸過膜(MF膜) ポリフッ化ビニリデン(PVDF) 23m <sup>2</sup> /モジュール 1本
逆洗ポンプ 形 出 力 口 径 台 数 逆洗タンク	渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 60L×1台	逆洗ポンプ 形 出 力 口 径 台 数 逆洗タンク	渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 60L×1台
滅菌機室 構造	プレハブ造 (2.0×1.2) 2.4m <sup>2</sup>	滅菌機室 構造	プレハブ造 (2.0×1.2) 2.4m <sup>2</sup>
次亜塩素注入設備 型式 容 量 台 数	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台	次亜塩素注入設備 型式 容 量 台 数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台 定量注入 角型槽(PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式
中尾水源(西部)			
取水口 集水柵	R C造 (1.0×1.0×1.0m) 1.0m <sup>3</sup> ×1槽	取水口 集水柵	R C造 (1.0×1.0×1.0m) 1.0m <sup>3</sup> ×1槽
集水管	P P φ 25mm 117m	集水管	P P φ 25mm 117m

導水管 P P 管	$\phi 25\text{mm}$	117.36m	次亜塩素注入設備 型式	次亜液中ピストンポンプ
中尾浄水場(西部)				
ろ過設備 形式	小型急速ろ過機		容量 台数	6 ml/分 2台
処理能力 台数		30 m <sup>3</sup> /日 2基	次亜貯留槽 残留塩素計	50 ℥ × 1槽 無試薬回転電極式
逆洗ポンプ 型式	水中モーターポンプ		呼排水ポンプ 型式	自吸式ポンプ
口径 揚程		40mm 10m	口径 揚程	$\phi 30\text{mm}$ 8.5m
揚水量 電動機出力		388 m <sup>3</sup> /日 0.75kW	送水量 電動機出力	316 m <sup>3</sup> /日 1.1kW
台数		1台	台数	1台
浄水池 容量 池数	R C 造 $2.6 \times 2.1 \times 1.5\text{m}$	8.2 m <sup>3</sup> 1池	送水ポンプ 型式	立形多段渦巻きポンプ
			口径 揚程	$\phi 25\text{mm}$ 145m
			送水量 電動機出力	14.4 m <sup>3</sup> /日 2.2kW
			台数	1台

⑨ 中条地区

念 仏 寺 沢 水 源			
取 水 設 備		口 径	φ 80
水 源 種 別	表流水	揚 程	30m
取 水 堤 堤	R C 造	揚 水 量	1,526 m <sup>3</sup> / 日
堰 堤 規 模	1 基	電 動 機 出 力	11kW
上幅 0.5m : 下幅 1.7m		台 数	3 台
高さ 4.5m : 長さ 8.0m		膜 ろ過 装 置	
ス ク リ ー ン		膜 モ ジ ュ ー ル	中空糸型限外ろ過膜 (U F 膜)
沈 砂 池	R C 造	膜 材 質	P A N (ポリアクリロニトリル)
容 量	内法 1.7 × 8.0 × 1.0	膜 面 積	41 m <sup>2</sup> / モジュール
	13.6 m <sup>3</sup>	数 量	14 本 / 系列
導 水 管		系 列 数	3 系列
H P P E 管	φ 150	活 性 炭 供 給 槽	R C 造 4.25 × 4.5 × 2.9 45.9 m <sup>3</sup>
	2,265m	活 性 炭 供 給 ポ ン プ	
三ヶ野浄水場 (西部)		形 式	水中型渦巻きポンプ
淨 水 棟		口 径	φ 65
構 造	R C 造 (18.0 × 24.0m)	揚 程	15m
	地上 1 階、地下 1 階	揚 水 量	907 m <sup>3</sup> / 日
原 水 槽	429.0 m <sup>2</sup>	電 動 機 出 力	3.7kW
原水供給ポンプ	R C 造 4.25 × 4.5 × 2.9	台 数	3 台
形 式	45.9 m <sup>3</sup>	活 性 炭 吸 着 塔	鋼板製・密閉圧力式ろ過機
口 径	水中型渦巻きポンプ	容 量	D φ 2200 × 2500
揚 程	φ 65	処 理 能 力	S = 3.8 m <sup>2</sup> 158 ~ 237 m <sup>3</sup> / 日
揚 水 量	15m	台 数	2 台
電 動 機 出 力	907 m <sup>3</sup> / 日	洗浄水槽(浄水池)	R C 造 4.5 × 7.5 × 2.9 81.0 m <sup>3</sup>
台 数	3.7kW	逆 洗 ポ ン プ	(膜ろ過・活性炭共通)
高 速 繊 維 ろ過 塔	3 台	形 式	水中型渦巻きポンプ
容 量	鋼板製・密閉圧力式ろ過機	口 径	φ 100
處 理 能 力	D φ 1300 × 2500	揚 程	20m
台 数	S = 1.33 m <sup>2</sup> 451 ~ 671 m <sup>3</sup> / 日	揚 水 量	3,283 m <sup>3</sup> / 日
凝集剤 (P A C) 注入設備	2 台	電 動 機 出 力	15kW
型 式	ダイアフラムポンプ	台 数	2 台
容 量	50 ml / 分	次亜塩素注入設備	
台 数	2 台	型 式	液中ピストンポンプ
貯 留 槽	100 ℥ × 1 槽	容 量	19 ml / 分
循 環 水 槽	R C 造 7.55 × 3.0 × 2.9 54.4 m <sup>3</sup>	台 数	2 台
空 気 洗浄 プロアーラ過塔洗浄ポンプ	三葉ループプロアーラ過塔洗浄ポンプ	貯 留 槽	100 ℥ × 1 槽
形 式	水中型渦巻きポンプ	非常用自家発設備	
口 径	φ 80	原 動 機 形 式	水冷 4 サイクル直接噴射式
揚 程	17m	排 気 量	過給機付 7.545 ℥
揚 水 量	1,152 m <sup>3</sup> / 日	定 格 出 力	150 kW
電 動 機 出 力	5.5kW	發 電 機 形 式	円筒横軸回転界磁型同期発電機
台 数	2 台	定 格 出 力	220kVA
循 環 ポ ン プ		出 力 電 圧	三相 3 線 60Hz 220V
形 式	水中型渦巻きポンプ		

不動滝水源(西部)			台数	1台
取水口			膜ろ過装置	
取水堰堤	R C造 (0.15×0.2×H1.7×L10.0)	1堤	膜モジュール	外圧式中空糸ろ過膜(MF膜)
取水埋渠	ステンレス鋼管 (SUS80A)	L=6.2m	膜材質	ポリフッ化ビニリデン(PVDF)
集水柵	R C造 (0.8×0.8×1.0m)	0.6m³×1槽	膜面積	23m²／モジュール
導水管	～清水水源		膜数量	2本／系列
H P P E管	φ50mm	528.18m	滅菌機室構	R C造(1.2×1.2×2.0)×2室 2.9m²
H P P E管	φ75mm	76.19m		
清水水源(西部)			次亜塩素注入設備	
取水口			型式	次亜液中ピストンポンプ
取水堰堤	R C造 (0.15×0.2×H1.7×L3.0)	1堤	容量	25ml／分
取水埋渠	有孔ビニル管 (V P φ75mm)	L=3.0m	台数	2台
集水柵	塩ビ製 (φ600mm×1.0m)	0.2m³×1井	注入方式	定量注入
導水管	～清水浄水場		貯留槽	角型槽(PVC) 100L×1槽
H P P E管	φ50mm	330.68m	残留塩素計	無試薬回転電極式 1基
着水井構造成	R C造		配水池	
容汎数	0.8×2.2×1.0m 1.8m³	1.8m³×1井	容量	R C造(4.0×4.0×3.0m) 80.0m³
原水ポンプ型式	SUS製自吸タービンポンプ		池数	40.0m³×2池
口径	40mm		容量	R C造(4.3×4.3×3.0m) 48.1m³
揚程	19.5m		池数	48.1m³×1池
揚水量	316.8m³／日			
電動機出力	1.5kW			
台数	1台			
逆洗ポンプ型式	SUS製水中渦巻ポンプ			
口径	40mm			
揚程	72m			
揚水量	129.6m³／日			
電動機出力	3.7kW			
清水浄水場(西部)			臥雲水源(西部)	
着水井構造成	R C造		取水口	
容汎数	0.8×2.2×1.0m 1.8m³	1.8m³×1井	取水埋渠	有孔ヒューム管 (HP φ150mm) L=12.0m
原水ポンプ型式	SUS製自吸タービンポンプ		集水柵	H P造 (φ1800mm×H2430mm) 6.2m³×1井
口径	40mm		導水管	
揚程	19.5m		H P P E管	φ75mm 159.5m
揚水量	316.8m³／日			
電動機出力	1.5kW			
台数	1台			
石原水源(西部)			取水口	
取水堰堤	R C造 (0.15×0.25×H1.7×L9.8)	1堤	取水埋渠	
取水埋渠	有孔ヒューム管 (HP φ200mm) L=3.0m		集水柵	
集水柵	R C造 (0.8×0.8×1.2m) 0.5m³×1槽			

導水管 V P 管	～接合井  Φ 125mm	112.16m	取水埋渠 集水池	有孔ヒューム管 (H P Φ 150mm)	L=2.0m
				R C 造 (0.6×0.6×0.6m)	
接合井	R C 造 (0.8×0.8×1.2m)	0.5m³×1槽	導水管 P P 管	Φ 40mm	2,020m
				R C 造 (0.8×0.8×1.2m)	
導水管 V P 管 H P P E 管	～桜出配水池  Φ 125mm Φ 75mm	677.75m 88.7m	接合井	0.5m³×1槽	
下条水源（西部）					
取水口 取水堰堤	R C 造 (0.15×0.25×H1.5×L4.0)	1 堤			

(10) 配水池一覧（浄水場を除く）

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
長野地区	往生地高区配水池	119m <sup>3</sup>	119m <sup>3</sup> × 1池	(超音波流量計) FS型 口径150mm 最大流量60m <sup>3</sup> /日 1台	淨
	蚊里田低区配水池	4,000m <sup>3</sup>	4,000m <sup>3</sup> × 1池	(減圧設備※休止中) 次亜塩素酸ソーダ注入モードポンプ 注入量 7~270mℓ/分 2台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 250mm 揚程 35m 揚水量 12,000m <sup>3</sup> /日	淨
	蚊里田高区配水池	6,000m <sup>3</sup>	3,000m <sup>3</sup> × 2池	電動機出力 75kW 回転数3,600rpm 容量6.kVA 電圧220V 発電機 回転数3,600rpm 周波数60Hz	淨
長野地区	上野配水池	4,000m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 浸漬式バルブレスポンプ (タンク一体形) PVC製 4mm (グレードホース) 電動機出力 30W (送水ポンプ) 水中モーターポンプ φ 65 揚程60m 揚水量5760m <sup>3</sup> /日	淨
	高原第1配水池	598m <sup>3</sup> +528m <sup>3</sup>	299×2池+26.4m <sup>3</sup> ×2池	電動機出力11kw 2台	北部
高原系	高原第2配水池(黒滝)	110m <sup>3</sup>	55m <sup>3</sup> × 2池		北部
高原系	クリーンヒルズ配水池	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		北部
高原系	中曾根配水池	100m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 2池		北部
高原系	東山麓鳴岩配水池	130m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池+25m <sup>3</sup> ×2池		北部
高原系	台ヶ原配水池	42m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量 1.10/時間 1台 貯蔵槽 500L/1槽	北部
高原系	清水配水池	42m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> × 2池		維
高原系	坂中配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液体ストンボンプ 容量 0.1~0.375L/時間 1台 貯蔵槽 1000L/1槽	維
高井系	西平配水池	36m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> × 2池		維
高井系	重井配水池	250m <sup>3</sup>	125m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	洛久保配水池	88m <sup>3</sup>	44m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	荒井配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	旭川配水池	64m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	やすらぎ配水池	82m <sup>3</sup>	41m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	平井配水池	100m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	広瀬配水池	216m <sup>3</sup>	108m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	沢井配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	大内配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	百瀬配水池	36m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液体ストンボンプ 容量 0.10/時間 1台 貯蔵槽 500L×1槽 (送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ φ 40 揚程140m 揚水量144m <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kw 2台	北部
高井系	湯山配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 2池		北部
高井系	小鍋配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入設備) 液体ストンボンプ 容量 0.10/時間 1台 貯蔵槽 500L×1槽 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ φ 32 揚程85m 揚水量72m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 2台	北部
高井系	大川配水池	36m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 1池	(電磁流量計) 東芝335H020WBCCRR 口径 φ 200mm 最大流量 200m <sup>3</sup> /時間 1台 (緊急遮断弁) 前処工業 871ST0465 電磁ブレーキ式 口径 φ 200mm (地震検出装置) SC-10 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 20gal	北部
長野地区	湯谷配水池	696m <sup>3</sup>	348m <sup>3</sup> × 2池		維

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
長野地区	平柴配水池	303m <sup>3</sup>	154m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) (平柴～みろく寺) 多段温巻ポンプ 口径 80mm 揚程 110m 電動機出力 22kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	もとどり配水池	10m <sup>3</sup>	5m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) (送水ポンプ) (小野平) 多段温巻ポンプ 口径 25mm 揚程 12m 電動機出力 0.4kW 1台	維
長野地区	地蔵平配水池	104m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 90m 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	東園地配水池	64m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 電動機出力 1.1kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	放管第1配水池	254m <sup>3</sup>	127m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 電動機出力 1.1kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	放管第2配水池	32m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 1池	(送水ポンプ) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 電動機出力 1.1kW 2台 (予備1台)	維
西山系小田切地区	西裾花配水池	126m <sup>3</sup>	63m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 電動機出力 1.1kW 2台 (予備1台)	維
西山系小田切地区	松ヶ丘配水池	5,000m <sup>3</sup>	2,500m <sup>3</sup> × 2池	(残留樹素計) 無試葉形遊離塩素計 測定範囲 0～3mg/l (送水ポンプ) (柄久保～日方) 多段温巻ポンプ 口径 65mm 揚程 94m 電動機出力 1.5kW 4台 (2台並列運転)	淨
西山系小田切地区	柄久保配水池	1,402m <sup>3</sup>	701m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) (柄久保～柄久保第2) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 36m 電動機出力 2.2kW 1台	維
西山系小田切地区	柄久保第2配水池	2m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入設備) (残留樹素計) 容量 0.96l/時間 2台 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 158m <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台)	維
西山系小田切地区	日方配水池	384m <sup>3</sup>	192m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) (残留樹素計) 容量 0.96l/時間 2台 多段温巻ポンプ 口径 65mm 揚程 113m 電動機出力 1.5kW 3台 (2台並列運転)	維
西山系小田切地区	仏工伝配水池	198m <sup>3</sup>	99m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段温巻ポンプ 口径 40mm 揚程 104m (電流流量計) 揚水量 2000l/s 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台)	維
西山系小田切地区	山田中配水池	198m <sup>3</sup>	99m <sup>3</sup> × 2池	東芝 LF 1 3 0 口径 φ 80mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (緊急遮断弁) 前川工業 97470831 手動復帰型トリガーブ 口径 φ 200mm (地盤検出装置) SCP-1D 检出方式 倒立重錘方式 檢出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	維
西山系小田切地区	繁配水池	64m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量 1.8l/時間 1台 (送水ポンプ) (繁～小野平) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 119m 揚水量 130m <sup>3</sup> /日 (送水ポンプ) 自給温巻ポンプ 口径 50mm 揚程 40m 揚水量 151m <sup>3</sup> /日	維
西山系小田切地区	小野平配水池	36m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> × 2池		維
西山系小田切地区	麻庭配水池	61m <sup>3</sup>	61m <sup>3</sup> × 1池		維

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
西山系小田切地区	久保調整池	62m <sup>3</sup>	62m <sup>3</sup> × 1池	(電磁流量計) 東芝 LF 13 1 (緊急遮断弁) 最大流量 150m <sup>3</sup> /時間 1台	維 修
西山系七二会地区	坪根配水池	210m <sup>3</sup>	105m <sup>3</sup> × 2池	(電磁流量計) 手動復帰型トリガーホンブ 容量 0.36ℓ/時間 1台	西部 西部
西山系七二会地区	平出配水池	75m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素注入装置) (液中ビストンポンプ) 測定範囲 0 ~ 2mg/ℓ 1台	西部 西部
西山系七二会地区	大久保配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 1池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 135m 揚水量 1,296m <sup>3</sup> /日	西部 西部
西山系七二会地区	知足院配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 電動機出力 7.5kW 2台	西部 西部
西山系七二会地区	大安寺配水池	52m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> × 1池	(休止中)	西部 西部
西山系七二会地区	古間配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系七二会地区	飯森配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系七二会地区	瀧脇配水池	83m <sup>3</sup>	44m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系七二会地区	岩草配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> × 1池		西部 西部
西山系七二会地区	春日山配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0 ~ 2mg/ℓ 1台	西部 西部
西山系七二会地区	笛平配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	下平配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	古藤配水池	48m <sup>3</sup>	24m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	安庭配水池	125m <sup>3</sup>	(H6年度増設) 50m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	涌池配水池	92m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 電動機出力 3.7kW 2台	西部 西部
西山系信更地区	涌井配水池	92m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 電動機出力 3.7kW 2台	西部 西部
西山系信更地区	水ノ田配水池	204m <sup>3</sup>	102m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	中平配水池	2m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup> × 1池		西部 西部
西山系信更地区	田野口配水池	110m <sup>3</sup>	55m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	大森配水池	48m <sup>3</sup>	24m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	灰原配水池	54m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 電動機出力 3.7kW 2台	西部 西部
西山系信更地区	高野配水池	104m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0 ~ 2mg/ℓ 1台	西部 西部
西山系信更地区	上尾配水池	54m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	三水配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	今泉配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	吉原配水池	84m <sup>3</sup>	42m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
西山系信更地区	田沢配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部 西部
松代地区	(日)象山配水池	672m <sup>3</sup>	(10.5×10.5×3.05m) 722m <sup>3</sup> × 1池	(電磁流量計) FM57KTW2-0WY1 口径 250mm 最大流量 300m <sup>3</sup> /時間 1台	南部 南部
松代地区	(新)象山第2配水池	400m <sup>3</sup>	(16.0×5.0×2.5m) (21.25×8.5×4.0m)	(電磁流量計) IF-130 (緊急遮断弁) 手動式緊急遮断ハバタキ式 BT-B電磁ブレーキ式 口径 φ 150mm SC-1D 檢出方式 倒立重錐方式 動作加速度 200gal	南部 南部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
松代地区	東寺尾配水池	1,504m <sup>3</sup>	(6.0×28×4.48m)	(緊急遮断弁) 信号式緊急遮断弁 信號输出装置 SC-1D 檢出方式 倒立重錘方式 動作加速度 200gal	南部
松代地区	豊栄配水池	306m <sup>3</sup>	(8.5×6.0×3.0m)	153m <sup>3</sup> ×2池	南部
松代地区	平林配水池	178m <sup>3</sup>	(7.0×4.0×3.2m)	89m <sup>3</sup> ×2池	南部
松代地区	欠配水池	150m <sup>3</sup>	(5.0×6.0×2.5m)	75m <sup>3</sup> ×2池	南部
松代地区	前山配水池	122m <sup>3</sup>	(7.0×7.0×2.5m)	122m <sup>3</sup> ×1池	南部
松代地区	滝本配水池	73m <sup>3</sup>	(5.3×5.3×2.5m)	73m <sup>3</sup> ×1池	南部
松代地区	大日池配水池	101m <sup>3</sup>	(2.6×4.0×1.0m)	10m <sup>3</sup> ×1池	南部
松代地区	岩沢配水池	504m <sup>3</sup>	(7.0×7.0×5.2m)	255m <sup>3</sup> ×2池	南部
松代地区	綿内配水池	65m <sup>3</sup>	(5.0×5.0×2.6m)	(第一減圧槽) 容量 6.5m <sup>3</sup> (第二減圧槽) 容量 5.5m <sup>3</sup> 1池 (1.9×1.9×1.8m) 1池 (2.0×1.6×1.7m)	南部
若穂地区	造台寺配水池	368m <sup>3</sup>	(6.5×10.5×2.7m)	(電磁流量計) MG611F 口径 150mm 最大流量 300m <sup>3</sup> /時間 (給内配水池配水流量計) (送水ポンプ) SGP φ 50mm 329.5m <sup>3</sup> /h SP φ 80mm 1.134m <sup>3</sup> /h DCIP φ 75mm 586m (ポンプ室) RCG <sup>2</sup> 9.45m <sup>2</sup> (運台寺配水池送水) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 100m 揚水量 144m <sup>3</sup> /日	南部
若穂地区	山新田第2配水池	892m <sup>3</sup>	(7.0×23.6×2.7m)	446m <sup>3</sup> ×2池 (送水管) SGP φ 50mm 568m <sup>3</sup> /h SP φ 80mm 1.134m <sup>3</sup> /h DCIP φ 75mm 128m (ポンプ室) 解石プロップ造り 15m <sup>2</sup> (電磁流量計) MG611F 口径 50mm 最大流量 20m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	山新田配水池	41m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup> × 1池		南部
若穂地区	山新田第1配水池	(1日) 72m <sup>3</sup>	(4.0×3.0×3.0m)	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 74m 揚水量 100m <sup>3</sup> /日 (送水管) CIP φ 75mm 568m <sup>3</sup> (ポンプ室) RCG <sup>2</sup> 8.91m <sup>2</sup>	南部
若穂地区	山新田配水池	(新) 75m <sup>3</sup>	(5.0×5.0×3.0m)	75m <sup>3</sup> ×1池 (電子式流量計) WS <sup>2</sup> 100 口径 100mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	山新田配水池	89m <sup>3</sup>	89m <sup>3</sup> × 1池		南部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
若穂地区	矢原配水池	800m <sup>3</sup>	400m <sup>3</sup> ×2池 (14×6.5×4.4m)	(次亜塩素注入設備) 次亜塩素中ビストンポンプ 4台 貯留槽 PVC製 800×2槽 (送水ポンプ) 口径 100mm 揚程 115m 揚水量 1,684m <sup>3</sup> /日 多段ポンプ 口径 100mm 2台 (内予備1台) 電動機出力 37kW (送水管) SP φ 150mm 610m (ボンブ室) RCG作り	南部
若穂地区	引沢配水池	400m <sup>3</sup>	400m <sup>3</sup> ×2池 (14×6.5×4.4m)	UF-911 口径 200mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (電磁流量計) (2系 上・和田系) 插入式FIM-B型 口径 200mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水管) CIP φ 150mm 1,082m (送水ポンプ) (保科配水池送水ポンプ) 多段溝巻ポンプ 口径 50×100mm 揚程 14.5m 揚水量 270m <sup>3</sup> /日 電動機出力 1.5kW 2台 (内予備1台) (電磁流量計) (保科配水池送水流量計)	南部
若穂地区	若穂配水池	(旧) 98m <sup>3</sup> (新) 87m <sup>3</sup>	98m <sup>3</sup> × 1池 87m <sup>3</sup> × 1池	LF130 口径 φ 50mm 最大流量 30m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水管) (保科第2配水池送水ポンプ) 多段溝巻ポンプ 口径 40mm 揚程 105m 揚水量 220m <sup>3</sup> /日 (電磁流量計) (保科第2配水池送水流量計) LF130 口径 φ 50mm 最大流量 20m <sup>3</sup> /時間 1台 (超音波流量計) (配水流量計) LF801 口径 φ 150mm 最大流量 150m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水管) 延長 918m	南部
若穂地区	保科第2配水池	90m <sup>3</sup>	45m <sup>3</sup> ×2池 (4.25×4.25×2.5m)	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 32mm 揚程 117m 揚水量 100m <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (内予備1台) (ボンブ室) RCG作り (送水管) SP φ 80A 578m CIP φ 75mm 509m (電磁流量計)	南部
若穂地区	保科配水池	200m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup> ×2池 (5×8×2.5m)	MG12F 口径 150mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (減圧弁) 2ヶ所	南部
若穂地区	山内配水池	(旧) 138m <sup>3</sup> (新) 122m <sup>3</sup>	72m <sup>3</sup> (3.0×4.0×3.0m)	36m <sup>3</sup> ×2池 (電磁流量計)	南部
若穂地区	外山配水池	50m <sup>3</sup>	122m <sup>3</sup> × 1池	AM100W 口径 100mm 最大流量 50m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	尾久配水池	98m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 1池 (4.0×4.0×3.1m)	49m <sup>3</sup> ×2池 (電磁流量計)	南部
豊野地区	蟹沢高区配水池	836m <sup>3</sup>	418m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径 100mm 揚程 25m 揚水量 2,24m <sup>3</sup> /分 電動機出力 15kW 2台 (濾過設備) ※休止中 (次亜塩素酸レースポンプ 容量 0.6~6m <sup>3</sup> /分 2台 注入方式 残塩計連動 貯留槽 200ℓ (内蔵) ×2 (発電機) 同期発電機 電動機出力55kVA 種別 ディーゼルエンジン 回転数3,600rpm	南部
豊野地区	蟹沢超高区配水池	502m <sup>3</sup>	502m <sup>3</sup> × 1池		淨

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
豊野地区	浅野配水池	1,800m <sup>3</sup>	900m <sup>3</sup> × 2池	(緊急遮断装置) MTB-A15-G-A 口径 φ300 動作方式 ウエイタ式 感知方式 地震過流量感知式 1台 (電磁流量計) FM22.1W1-W40A0-YA 口径 φ200 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (非常用発電機) TG-61SX 出力 6.0kVA 110/220V 1φ3W 種別 ディーゼルエンジン 回転数 3,600rpm 1台 (無試薬形遊離塩素計) CLT-110 測定範囲 0~1mg/L 2台	淨
豊野地区	蟹ヶ崎配水池	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	川谷配水池	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	上神代配水池	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	城山配水池	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	泉平配水池	60m <sup>3</sup>	30m <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	上神代第2配水池	1m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup> × 1池		維
戸隠地区	越水第1配水池	625m <sup>3</sup>	(送水ポンプ) 湯巻きポンプ 口径40mm 揚程165m 揚水量57.6m <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kw 2台 (次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5L/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000L×1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/L 1台		北部
戸隠地区	スキ一場配水池	15m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	上野高又配水池	390m <sup>3</sup>	105m <sup>3</sup> × 1池 285m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5L/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000L×1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/L 1台	北部
戸隠地区	諸沢配水池	46m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 1池	(加圧給水ユニット) 湯巻きポンプ 口径50mm 電動機出力3.7kw 2台	北部
戸隠地区	立道配水池	60m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	中耕配水池	22m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	上野低又配水池	72m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 1池 40m <sup>3</sup> × 1池	(加圧給水ユニット) 湯巻きポンプ 口径65mm 電動機出力5.5kw 3台 (次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5L/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000L×1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/L 1台 (次亜塩素注入設備)	北部
戸隠地区	水景苑配水池	70m <sup>3</sup>	35m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5L/時間 2台 貯蔵槽2000L×1槽	北部
戸隠地区	宝光社配水池	384m <sup>3</sup>	192m <sup>3</sup> × 2池		北部
戸隠地区	上梅川配水池	92m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 2池		北部
戸隠地区	宇和原配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	奈良尾配水池	30m <sup>3</sup>	30m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	母袋配水池	25m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	平第1配水池	160m <sup>3</sup>	80m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5L/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000L×1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/L 1台	北部
戸隠地区	平第2配水池	120m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup> × 2池		北部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他
戸隠地区	桜峰配水池	56m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×2池	
戸隠地区	志垣配水池	74m <sup>3</sup>	37m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
戸隠地区	上合配水池	28m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
戸隠地区	平第3配水池	120m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
戸隠地区	五十土配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/l 1台
戸隠地区	笛原配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	
戸隠地区	中尾配水池	5m <sup>3</sup>	5m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
戸隠地区	田頭配水池	62m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
戸隠地区	追通配水池	52m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> ×1池	
戸隠地区	官消配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
戸隠地区	西部配水池	26m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
戸隠地区	上組配水池	33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup> ×1池	(送水ポンプ) 潜巻きポンプ 口径40mm 揚程140m 揚水量240m <sup>3</sup> /日 1台
戸隠地区	山入配水池	12m <sup>3</sup>	12m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量1.8l/時間 2台 貯藏槽300l×1槽
戸隠地区	鍵子口配水池	28m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
戸隠地区	東原配水池	41m <sup>3</sup>	41m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
戸隠地区	猿丸配水池	21m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> ×1池	
戸隠地区	川下配水池	38m <sup>3</sup>	19m <sup>3</sup> ×2池	(E送水ポンプ) 口径40mm 揚程 m 電動機出力5.5kw 3台
戸隠地区	坪山配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
鬼無里地区	品沢配水池	46m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
鬼無里地区	大平配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5l/時間 2台 PVC製 貯藏槽1000l×1槽 (残留塩素計)
鬼無里地区	財又配水池	18m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> ×1池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台
鬼無里地区	中田配水池	65m <sup>3</sup>	65m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量3.6l/時間 1台 貯藏槽500l×1槽 (残留塩素計)
鬼無里地区	大沢配水池	80m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池	無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台

地 区	施 設 名	容 量	池 數	そ の 他
鬼無里地区	豊頃配水池	80m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池	
鬼無里地区	山中配水池	27m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> ×1池 (送水ポンプ) 電動機出力3.7kw 1台	相当 北部
鬼無里地区	原配水池	22m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×1池 (次亜塩素注入設備) (液中ビストンポンプ) (残留塩素計)	北部
鬼無里地区	文道配水池	39m <sup>3</sup>	39m <sup>3</sup> ×1池 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/l 1台	北部
鬼無里地区	上新倉配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×1池 (次亜塩素注入設備) (液中ビストンポンプ) (残留塩素計) (送水ポンプ) 水中ポンプ 口径25mm 口径32mm	北部
鬼無里地区	土倉配水池	124m <sup>3</sup>	62m <sup>3</sup> ×2池 31m <sup>3</sup> ×1池 (送水ポンプ) 口径25mm 揚程82.2m 揚水量17m <sup>3</sup> /日	北部
鬼無里地区	東京配水池	238m <sup>3</sup>	57m <sup>3</sup> ×2池 63m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ) 油巻き多段ポンプ 電動機出力5.5kw 2台	北部
鬼無里地区	添びら配水池	244m <sup>3</sup>	122m <sup>3</sup> ×2池 52m <sup>3</sup> ×2池	北部
鬼無里地区	町上配水池	104m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池	北部
鬼無里地区	町下配水池	161m <sup>3</sup>	81m <sup>3</sup> ×1池 (送水ポンプ)	北部
鬼無里地区	上平配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池 口径40mm 揚程119m 揚水量144m <sup>3</sup> /日	北部
鬼無里地区	直路配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> ×1池 (次亜塩素注入設備) 液中ビストンポンプ	北部
鬼無里地区	萩之峯配水池	36m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×1池 (次亜塩素注入設備) 液中ビストンポンプ	北部
鬼無里地区	押一配水池	23m <sup>3</sup>	23m <sup>3</sup> ×1池 (加圧給水ポンプ) 電動機出力3.7kw 2台	北部
鬼無里地区	押切配水池	7m <sup>3</sup>	7m <sup>3</sup> ×1池 (次亜塩素注入設備) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/l 1台	北部
大岡地区	高区配水池	65m <sup>3</sup>	65m <sup>3</sup> ×1池 25m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ) 電動機出力3.7kw 2台	西部
大岡地区	中区配水池	50m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×2池 (次亜塩素注入設備) (残留塩素計)	西部
大岡地区	低区配水池	44m <sup>3</sup>	23m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ)	西部
大岡地区	池田配水池	46m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup> ×2池 (次亜塩素注入設備) (残留塩素計)	西部
大岡地区	大崎日方配水池	52m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ) 電動機出力3.7kw 2台	西部
大岡地区	中牧配水池	66m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup> ×2池 (次亜塩素注入設備) (残留塩素計) 測定範囲0~2mg/l 1台	西部
大岡地区	新田配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ) 電動機出力3.7kw 2台	西部
大岡地区	聖北配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×2池 (次亜塩素注入設備) (残留塩素計) 測定範囲0~2mg/l 1台	西部
大岡地区	聖北第2配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×2池 (送水ポンプ) 電動機出力3.7kw 2台	西部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他
大岡地区	聖ヶ淵配水池	216 m <sup>3</sup>	108 m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 54m 揚水量 216.0 m <sup>3</sup> /日
大岡地区	聖ヶ淵第2配水池	18 m <sup>3</sup>	18 m <sup>3</sup> × 1池	電動機出力 3.7kW 2台
大岡地区	高峰寺配水池	120 m <sup>3</sup>	60 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 75m 揚水量 400.3 m <sup>3</sup> /日
大岡地区	鍋久保配水池	200 m <sup>3</sup>	100 m <sup>3</sup> × 2池	電動機出力 7.5kW 2台
大岡地区	第1配水池	54 m <sup>3</sup>	27 m <sup>3</sup> × 2池	
大岡地区	第2配水池	60 m <sup>3</sup>	30 m <sup>3</sup> × 2池	
大岡地区	第3配水池	100 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 2池	
大岡地区	宮平配水池	80 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/l 1台
大岡地区	小堀配水池	100 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.36l/時間 2台 貯蔵槽 1000l/1槽
大岡地区	みどりの広場配水池	25 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 155m 揚水量 201.6 m <sup>3</sup> /日
大岡地区	たらら配水池	50 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池	電動機出力 7.5kW 2台
大岡地区	たらら低区配水池	120 m <sup>3</sup>	60 m <sup>3</sup> × 2池	(加圧給水ポンプ) 給水ユニットポンプ 口径 30mm 揚程 20m 揚水量 110.88 m <sup>3</sup> /日
大岡地区	芦ノ原配水池	66 m <sup>3</sup>	33 m <sup>3</sup> × 2池	
大岡地区	花尾配水池	66 m <sup>3</sup>	33 m <sup>3</sup> × 2池	
大岡地区	大岡南部配水池	62 m <sup>3</sup>	31 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.36l/時間 2台 貯蔵槽 1000l/1槽
信州新町地区	花倉配水池	24 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/l 1台
信州新町地区	地場配水池	35 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	穂刈第2配水池	1,006 m <sup>3</sup>	1,006 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	穂刈配水池	504 m <sup>3</sup>	252 m <sup>3</sup> × 2池	
信州新町地区	下川配水池	108 m <sup>3</sup>	54 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 40mm 揚程 200m 揚水量 86.4 m <sup>3</sup> /日
信州新町地区	茂菅配水池	62 m <sup>3</sup>	62 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	穴平配水池	51 m <sup>3</sup>	51 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	切り久保配水池	34 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	矢ノ原配水池	24 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	宇尾配水池	43 m <sup>3</sup>	43 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	西日時配水池	9 m <sup>3</sup>	9 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	石畠配水池	21 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	刈内配水池	12 m <sup>3</sup>	12 m <sup>3</sup> × 1池	

地 区	施 設 名	容 量	池 數	そ の 他
信州新町地区	明賀配水池	52 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	大河配水池	54 m <sup>3</sup>	54 m <sup>3</sup> × 1池	
信州新町地区	芦沢配水池	92 m <sup>3</sup>	46 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 50mm 電動機出力 18.5kW 2台
信州新町地区	榎ノ木配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	山秋配水池	25 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	安用配水池	302 m <sup>3</sup>	151 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	橋場配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	小追沢配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	平第2配水池	34 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	平第3配水池	60 m <sup>3</sup>	30 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	竹房配水池	68 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	道祖神配水池	52 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	琵琶水配水池	8 m <sup>3</sup>	8 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	伊吹配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	牧北第2配水池	616 m <sup>3</sup>	308 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	下市場配水池	12 m <sup>3</sup>	6 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	大原配水池	132 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	平清水配水池	21 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	大久保配水池	20 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	精進屋第2配水池	20 m <sup>3</sup>	20 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	中原配水池	7 m <sup>3</sup>	2 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	高萩配水池	25 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	直路配水池	21 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	尾道配水池	50 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	日名配水池	50 m <sup>3</sup>	(残留塩素注入設備) (無試薬形遊離塩素計) 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽	西部
信州新町地区	置原配水池	24 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	上明配水池	20 m <sup>3</sup>	20 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	和田配水池	22 m <sup>3</sup>	22 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	橋木配水池	35 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	味澤配水池	86 m <sup>3</sup>	43 m <sup>3</sup> × 2池	西部
信州新町地区	又田羅配水池	37 m <sup>3</sup>	37 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	中尾配水池	27 m <sup>3</sup>	27 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	芦沼配水池	15 m <sup>3</sup>	15 m <sup>3</sup> × 1池	西部
信州新町地区	裏林配水池	90 m <sup>3</sup>	45 m <sup>3</sup> × 2池	西部
中条地区	中条配水池	31 m <sup>3</sup>	31 m <sup>3</sup> × 1池	西部
中条地区	長井配水池	93 m <sup>3</sup>	65 m <sup>3</sup> × 2池	西部
中条地区	松ノ木配水池	614 m <sup>3</sup>	242 m <sup>3</sup> × 2池	西部
中条地区	本郷配水池	40 m <sup>3</sup>	57 m <sup>3</sup> × 1池	西部
中条地区	矢原配水池	52 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> × 1池	西部
中条地区	栗本配水池	28 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池	西部
中条地区	大塩配水池	220 m <sup>3</sup>	26 m <sup>3</sup> × 2池	西部
中条地区		50 m <sup>3</sup>	28 m <sup>3</sup> × 1池	西部
中条地区			110 m <sup>3</sup> × 2池	西部
中条地区			50 m <sup>3</sup> × 1池	西部

地 区	施 設 名	容 量	池 數	そ の 他	
中条地区	下古沢配水池	38 m <sup>3</sup>	38 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	担当 西部
中条地区	里原配水池	170 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	青木配水池	38 m <sup>3</sup>	90 m <sup>3</sup> × 1池	(加圧給水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 36m 揚水量 132.0 m <sup>3</sup> /日	西部
中条地区	角井配水池	23 m <sup>3</sup>	38 m <sup>3</sup> × 1池	(電動機出力 3.7kW 2台)	西部
中条地区	高福寺配水池	34 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	須坂配水池	52 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	須坂配水池	31 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	吼配水池	40 m <sup>3</sup>	31 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入装置) (液中ピストンポンプ) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	三ヶ野配水池	50 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入装置) (液中ピストンポンプ) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	桜出配水池	35 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入装置) (液中ピストンポンプ) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	大柿配水池	50 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素注入装置) (液中ピストンポンプ) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	念佛寺配水池	40 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素注入装置) (液中ピストンポンプ) (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/l 1台	西部
中条地区	城崎整備	588 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池		西部
			588 m <sup>3</sup> × 1池		

(1) ポンプ場一覧

地区	施設名	送水ポンプ				台数 (台)	その他
		型式	口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /日)	電動機出力 (kW)	
長野地区	若松町ポンプ場	水中モーターポンプ (往生地)	250	40	12,500	90	5 (ポンプ棟) 鉄筋コンクリート造 2階 294m <sup>2</sup>
	湯谷ポンプ場	水中モーターポンプ	200	117	4,608	150	2 (次亜塩素注入設備) 液中ヒストンポンプ 0.06~1.50/時間 2台
	吉ポンプ場	水中モーターポンプ	40	110	144	5,5 (予備1) (ポンプ槽) 4m <sup>3</sup> 1槽	貯蔵槽 1000×1槽
	茂菅第1ポンプ場	水中モーターポンプ (筏管系) 多段漏巻ポンプ (地盤平圧系)	50	80	576	11	2 (ポンプ槽) 32m <sup>3</sup> 1槽
	滝沢第1ポンプ場	多段漏巻ポンプ (増圧ポンプ)	125	95	2,200	37 (2台並列運転)	2 (ポンプ槽) 32m <sup>3</sup> 1槽
	西山系小田切地区	滝沢第2ポンプ場	多段漏巻ポンプ	125	98	2,000	37 (2台並列運転)
	西山系七二会地区	平出ポンプ場	多段漏巻ポンプ	40	93	58	2 (ポンプ槽) 50m <sup>3</sup> 1槽
	古藤ポンプ場	水中モーターポンプ (ライインポンプ)	40	140	43	5,5 (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup>	貯蔵槽 1000×1槽
	滝池第1ポンプ場	多段漏巻ポンプ	32	20	115	1,5 (ポンプ槽) 35m <sup>3</sup> 2池	液中ヒストンポンプ 1.440/時間 2台
	滝池第2ポンプ場	多段漏巻ポンプ	125	134	1,728	45 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
西山系信更地区	大森ポンプ場	多段漏巻ポンプ (大森配水池系)	125	140	1,584	45 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	灰原ポンプ場	多段漏巻ポンプ (灰原配水池系)	40	31	23	2,2 (ポンプ槽) 50m <sup>3</sup>	液中ヒストンポンプ 1.440/時間 2台
	吉原ポンプ場	多段漏巻ポンプ	50	160	360	15 (ポンプ槽) 15m <sup>3</sup>	貯蔵槽 65m <sup>3</sup> 2池
	象山中継ポンプ場	多段漏巻ポンプ	150×100	74	1,209	22 (送水管) 918m 内訳 鋼鉄管623m、ポリ管295m	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	前山ポンプ場	多段タービン	50	77	300	7,5 (ポンプ槽) 15m <sup>3</sup>	液中ヒストンポンプ 1.440/時間 2台
	瀬戸内ポンプ場	多段タービン	40	135	170	7,5 (内子備1) (送水管) 150m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	菅間ポンプ場	多段タービン	40	120	86	5,5 (内子備1) (ポンプ槽) 6m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	大日池ポンプ場	水中モーターポンプ	100	61	2,400	30 (内子備1) (ポンプ槽) 150m <sup>3</sup> 1池 (7.0×7.0×2.7m)	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	大倉ポンプ場	多段漏巻ポンプ	40	200	288	15 (内子備1) (ポンプ槽) 150m <sup>3</sup> 1池	最大流量 180m <sup>3</sup> /h
	上郷ポンプ場	多段漏巻ポンプ	40	210	86	11 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
戸隠地区	小瀬ポンプ場	水中モーターポンプ	40	83	220	7,5 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	入石ポンプ場	水中モーターポンプ	40	68	245	3,7 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	諸沢ポンプ場(1号)	多段漏巻ポンプ	50	42,4	288	3,0 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
	諸沢ポンプ場(2号)	多段漏巻ポンプ	50	26	288	3,0 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
戸隠地区	上横川ポンプ場	多段漏巻ポンプ	40	144	230	11,0 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台
						2 (内子備1) (ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> 1池	測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台

地区	施設名	送水ポンプ					台数 (台)	担当
		型式	口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /日)	電動機出力 (kW)		
戸隱地区	宇和原ボンブ場	多段渦巻ポンプ	50	36	316	3.7	2(ポンプ槽)	2.25m <sup>3</sup>
戸隱地区	母袋ボンブ場	多段渦巻ポンプ	50	36.5	510	3.7	2(ポンプ槽)	2.25m <sup>3</sup>
戸隱地区	笛原ボンブ場	多段渦巻ポンプ	40	85	288	5.5	2(ポンプ槽)	2.25m <sup>3</sup>
鬼無里地区	市野瀬ボンブ場	多段渦巻ポンプ	40	119	345	7.5	2(ポンプ槽)	3.0m <sup>3</sup>
鬼無里地区	品沢ボンブ場	多段渦巻ポンプ	40	144	230	11.0	2(ポンプ槽)	10m <sup>3</sup>
鬼無里地区	蒲田ボンブ場(上平)	多段渦巻ポンプ	40	100	100	5.5	2(ポンプ槽)	6.25m <sup>3</sup>
鬼無里地区	蒲田ボンブ場(森之峯)	多段渦巻ポンプ	40	150	115	3.0	2(ポンプ槽)	4.8m <sup>3</sup>
大崎地区	たらら町第1ボンブ場	水中モーターポンプ	40	128	122.4	7.5	2(ポンプ槽)	6.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	下川ボンブ場	多段渦巻ポンプ	50	170	432.0	19	2(ポンプ槽)	9.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	安田ボンブ場	多段渦巻ポンプ	40	220	259.2	15	2(ポンプ槽)	13.2m <sup>3</sup>
信州新町地区	千原田ボンブ場	加圧給水ポンプ	32	18	138.2	0.75	1(ポンプ槽)	4.2m <sup>3</sup>
信州新町地区	竹房ボンブ場	水中モーターポンプ	40	42	381.6	3.7	1(ポンプ槽)	4.2m <sup>3</sup>
信州新町地区	尾越水ボンブ場	水中モーターポンプ	40	71	388.8	5.5	1(ポンプ槽)	2.9m <sup>3</sup>
信州新町地区	尾越水ボンブ場	多段渦巻ポンプ	25	90	50.4	1.1	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	天神坂ボンブ場	多段渦巻ポンプ	50	117	432.0	11	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	西日時ボンブ場	立型渦巻ポンプ	25	125	360.0	11	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	石姫ボンブ場	多段渦巻ポンプ	25	65	28.8	2.2	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	石姫ボンブ場	自吸遠心ポンプ	30	押2揚6	136.8	0.2	1(ポンプ槽)	13.2m <sup>3</sup>
信州新町地区	明賀ボンブ場	水中モーターポンプ	30	120	201.6	5.5	2(ポンプ槽)	6.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	切り保ボンブ場	多段渦巻ポンプ	25	70	30.2	1.1	1(ポンプ槽)	5.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	山秋ボンブ場	自吸遠心ポンプ	30	2	86.4	0.215	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	道祖神ボンブ場	多段渦巻ポンプ	25	100	61.9	2.2	1(ポンプ槽)	6.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	牧北ボンブ場	自吸遠心ポンプ	40	3	360.0	0.75	1(ポンプ槽)	6.0m <sup>3</sup>
信州新町地区	伊助ボンブ場	立型渦巻ポンプ	32	76	69.1	2.2	2(ポンプ槽)	48m <sup>3</sup> ×2池(旧配水池)
信州新町地区	高森ボンブ場	多段渦巻ポンプ	50	55	360.0	5.5	2(ポンプ槽)	18m <sup>3</sup>
信州新町地区	高森ボンブ場	多段渦巻ポンプ	32	118	43.2	2.2	2(ポンプ槽)	18m <sup>3</sup>
信州新町地区	高森ボンブ場	自吸遠心ポンプ	25	80	25.9	1.5	2(ポンプ槽)	6.5m <sup>3</sup>
信州新町地区	牧田中ボンブ場	立型渦巻ポンプ	30	120	69.1	2.2	2(ポンプ槽)	1.6m <sup>3</sup>
信州新町地区	日名ボンブ場	自吸遠心ポンプ	40	3	360.0	0.75	1(ポンプ槽)	1.6m <sup>3</sup>
信州新町地区	直路ボンブ場	水中モーターポンプ	25	75	72.0	3.7	1(ポンプ槽)	1.6m <sup>3</sup>
信州新町地区	置原ボンブ場	多段渦巻ポンプ	40	72	360.0	5.5	1(ポンプ槽)	1.6m <sup>3</sup>
中条地区	下五十里ボンブ場	多段渦巻ポンプ(吉沼涌上水池系)	30	39.4	201.6	2.2	2(ポンプ槽)	3.71m <sup>3</sup>
信州新町地区	橋木ボンブ場	水中モーターポンプ(奥林貯水池系)	40	75	288.0	5.5	1(ポンプ槽)	3.97m <sup>3</sup>
中条地区	長井ボンブ場	多段渦巻ポンプ(加压給水ポンプ)	40	175	86.4	11	1(ポンプ槽)	56m <sup>3</sup>
中条地区	津水ボンブ場	多段渦巻ポンプ(多段渦巻ポンプ)	40	190	172.8	11	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
中条地区	角井ボンブ場	立型渦巻ポンプ(立型渦巻ポンプ)	40	240	172.8	11	1(ポンプ槽)	1.0m <sup>3</sup>
中条地区	本郷ボンブ場	多段渦巻ポンプ(立型渦巻ポンプ)	40	141	158.4	8	2(ポンプ槽)	9.0m <sup>3</sup>

## (8) 消火栓数

(R 2. 3. 31現在)

地区名 種別	地 上 式	地 下 式	合 計
長野地区	1,912	1,277	3,189
松代地区	371	93	464
若穂地区	371	35	406
西山地区	245	4	249
豊野地区	288	9	297
戸隠地区	443	1	444
鬼無里地区	299	2	301
大岡地区	281	1	282
信州新町地区	347	4	351
中条地区	272	8	280
合 計	4,829	1,434	6,263

(9) ダムの概要

	裾花ダム	奥裾花ダム	大町ダム	戸隠水源池ダム
位置	長野市大字小鍋字神白沖	長野市鬼無里	長野県大町市大字平地先	長野市戸隠
総事業費	3,289,568千円	7,575,000千円	47,471,173千円	820千円
工 期	昭和40年度～昭和44年度	昭和47年度～昭和54年度	昭和49年度～昭和60年度	大正元年度～大正5年度
	ダム	ダム	ダム	ダム
型 式	アーチ式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	アースフィルダム
堤頂高	563m	873m	906m	1,119.95m
堤 高	83m	59m	107m	17.143m
堤頂長	211.16m	170m	338m	357.0m
堤頂巾	4m	4m	7m	5m
堤体積	119,864m <sup>3</sup>	152,000m <sup>3</sup>	765,000m <sup>3</sup>	195,000m <sup>3</sup>
放流設備	鋼製圧着ローラーゲート 幅5.36m×高4.351m 2門  鋼製テンダーゲート 幅9.0m×高6.8m 3門	摺動式高圧ラジアルゲート 幅3.6m×高3.6m 1門  鋼製ラジアルゲート 幅5.5m×高8.0m 2門	ラジアルゲート 幅9.5m×高11.15m 2門  高圧ラジアルゲート 幅3.4m×高2.85m 2門	クレスト自由越流 幅55.0m×高1.2m 1門
計画高水流量	1,180m <sup>3</sup> /S	410m <sup>3</sup> /S	1,500m <sup>3</sup> /S	21m <sup>3</sup> /S
計画放流量	520m <sup>3</sup> /S	190m <sup>3</sup> /S	400m <sup>3</sup> /S	—
調節流量	660m <sup>3</sup> /S	220m <sup>3</sup> /S	1,100m <sup>3</sup> /S	—
	貯 水 池	貯 水 池	貯 水 池	貯 水 池
集水面積	250km <sup>2</sup>	65km <sup>2</sup>	193km <sup>2</sup>	4.1km <sup>2</sup>
湛水面積	0.578km <sup>2</sup>	0.3km <sup>2</sup>	1.1km <sup>2</sup>	0.046km <sup>2</sup>
総貯水容量	15,000,000m <sup>3</sup>	5,400,000m <sup>3</sup>	33,900,000m <sup>3</sup>	225,100m <sup>3</sup>
有効貯水容量	10,000,000m <sup>3</sup>	3,300,000m <sup>3</sup>	28,900,000m <sup>3</sup>	217,900m <sup>3</sup>
水道用水容量	300,000m <sup>3</sup>	600,000m <sup>3</sup>	1,800,000m <sup>3</sup>	217,900m <sup>3</sup>
	費用配分	費用配分	費用配分	費用配分
治 水	88.6%	90.8%	89.9%	0 %
上水道	2.7% 22,000m <sup>3</sup> /日	8.1% 長野市上水道 32,788m <sup>3</sup> /日	5.6% 長野市上水道 100,000m <sup>3</sup> /日	100% 長野市上水道 5,800m <sup>3</sup> /日
発 電	8.7%	1.1%	4.5%	0 %

① 水源開発費（ダム負担金）とその財源

1) 堀花ダム

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金 費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
40	※1,004,123	2.7	31,000			31,000	
41	454,000						
42	627,000		29,000	1,466		27,500	34
43	998,000		23,000	1,163		21,800	37
44	206,446		5,775	303		5,400	72
計	3,289,569	2.7	88,775	2,932		85,700	143

※37年度 39,739,318

38年度 37,460,000

39年度 233,923,542 含む

1. 事業概要

- 1) 事業主体 長野県  
 2) 工事場所 長野市  
 3) ダム 多目的ダム 高さ83 m 長さ211.16 m 貯水量15,000,000 m<sup>3</sup>  
 4) 工期 昭和40年度～44年度  
 5) 総工事費 3,289,568,394 円

- 6) 建設負担金費用配分  
 (1) 長野県（河川管理者） $\frac{886}{1,000}$   
 (2) 企業局（電気事業者） $\frac{87}{1,000}$   
 (3) 長野市（水道事業者） $\frac{27}{1,000}$   
 取水量 22,000 m<sup>3</sup>／日

2) 奥堀花ダム関係

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金 費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
47	113,000	7.96708	12,786	909	2,557.2	9,300	19.8
48	330,000		13,770	1,119	2,754	9,800	97
49	411,000		46,229	3,756	9,245.8	33,200	27.2
50	661,000		48,196	4,406	7,882	35,900	8
51	1,400,000		117,048	39,016	14,046	63,900	86
52	2,114,000		172,128	57,376	20,655	94,000	97
53	1,986,000		154,424	51,474	18,531	84,400	19
54	492,000		38,925	12,975	4,671	21,200	79
計	7,575,000	7.96708	603,506	171,031	80,342	351,700	433

1. 事業概要

- 1) 事業主体 長野県  
 2) 工事場所 長野市鬼無里  
 3) ダム 多目的ダム 高さ59 m 長さ170 m 貯水量5,400,000 m<sup>3</sup>  
 4) 工期 昭和47年度～54年度  
 5) 総工事費 7,575,000 千円（計画7,600,000 千円）  
 6) 建設負担金費用配分  
 (1) 長野県（河川管理者） $\frac{908}{1,000}$   
 (2) 企業局（電気事業者） $\frac{11}{1,000}$   
 (3) 長野市（水道事業者） $\frac{81}{1,000}$   
 取水量 32,788 m<sup>3</sup>／日

## 3) 大町ダム関係

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
49	※ 744,108		5.6	44,230	7,701	8,846	27,600
50	1,286,637			85,836	16,463	12,487	56,800
51	2,383,850			149,484	49,828	17,938	81,700
52	4,136,203			188,516	62,838	22,622	103,000
53	4,501,384			265,808	88,602	31,897	145,300
54	4,829,133			270,454	90,151	32,454	147,800
55	5,854,649			321,010	107,003	38,521	175,400
56	5,680,898			320,344	106,781	38,441	143,100
57	6,083,917			343,944	114,648	41,273	154,000
58	6,049,932			340,544	96,487	43,930	171,100
59	3,644,497			223,200	74,400	26,784	99,700
60	※2,275,965			105,016	35,005	12,601	46,900
計	47,471,173		5.6	2,658,386	849,907	327,794	1,352,400
							127,800 485

※ 49年度ダム事業費は、47年度103,811 千円、48年度221,995 千円、49年度418,302 千円の合計額  
 ※ 60年度 " 60年度2,227,103 千円、61年度49,199 千円、62年度△337 千円の合計額

## 1. 事業概要

- 1) 事業主体 国土交通省
- 2) 工事場所 大町市
- 3) ダム 多目的ダム 高さ107 m  
長さ338 m 貯水量33,900,000 m<sup>3</sup>
- 4) 工期 昭和47年度～60年度
- 5) 総工事費 47,471,173 千円
- 6) 建設負担金費用配分
 

(1) 国土交通省（河川管理者）	$\frac{88.9}{100}$
(2) 東京電力㈱（電気事業者）	$\frac{4.5}{100}$
(3) 長野市・高瀬広域水道企業団（大町市、池田町、松川村）（水道事業者）	$\frac{6.6}{100}$

	取水量	水量比	全体事業費に対する割合	水道用水容量
長野市	100,000m <sup>3</sup> /日	84.7%	5.6 (0.847×6.6)	1,130,000m <sup>3</sup>
※高瀬企業団	18,000 "	15.3%	1.0 (0.153×6.6)	670,000m <sup>3</sup>
計	118,000 "	100 %	6.6	1,800,000m <sup>3</sup>

※平成22年度～26年度 高瀬企業団分を国土交通省が補填

国土交通省（河川管理者） 89.9／100

東京電力㈱（電気事業者） 4.5／100

長野市（水道事業者） 5.6／100

## 5 経営状況

### (1) 財務状況

#### ① 水道事業決算報告書

##### 1) 収益的収入及び支出

収 入

(税込み) (単位:円)

区分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額に係 る財源充当額	合 計			
第1款 水道事業収益	7,418,100,000	30,866,000	0	7,448,966,000	7,600,402,616	151,436,616	
第1項 営業収益	6,460,679,000	0	0	6,460,679,000	6,599,817,594	139,138,594	(注1)
第2項 営業外収益	901,220,000	0	0	901,220,000	915,104,524	13,884,524	(注2)
第3項 特別利益	56,201,000	30,866,000	0	87,067,000	85,480,498	△ 1,586,502	

(注1) 営業収益の決算額は、損益計算書の決算額6,077,124,558円に仮受消費税及び地方消費税522,693,036円を加えた額である。

(注2) 営業外収益の決算額は、損益計算書の決算額912,140,931円に仮受消費税及び地方消費税7,978,366円を加え、納税上生じる雑収益4,674,251円及び不納欠損に係る消費税及び地方消費税340,522円を除いた額である。

支 出

(税込み) (単位:円)

区分	予 算 額							決 算 額	地2項の規 定による第 26条越 第額	不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地3項の規 定による第 24条越 第額	小 計	地2項の規 定による第 26条越 第額	合 計			
第1款 水道事業費用	6,586,500,000	84,926,000	0	0	0	6,671,426,000	0	6,671,426,000	6,108,436,877	0	562,989,123
第1項 営業費用	5,836,619,000	0	0	0	0	5,836,619,000	0	5,836,619,000	5,366,805,710	0	469,813,290
第2項 営業外費用	696,349,000	0	0	0	0	696,349,000	0	696,349,000	650,020,853	0	46,328,147
第3項 特別損失	53,532,000	84,926,000	0	0	0	138,458,000	0	138,458,000	91,610,314	0	46,847,686

(注1) 営業費用の決算額は、損益計算書の決算額5,227,287,266円に仮払消費税及び地方消費税139,518,444円を加えた額である。

(注2) 営業外費用の決算額は、損益計算書の決算額505,010,591円に仮払消費税及び地方消費税354,144円並びに消費税及び地方消費税145,601,700円を加え、非課税売上に係る消費税945,582円を除いた額である。

(注3) 特別損失の決算額は、損益計算書の決算額88,679,061円に仮払消費税及び地方消費税2,931,253円を加えた額である。

## 2) 資本的収入及び支出

## 収 入

(税込み) (単位:円)

区分	予 算 額						決算額	予算額に比 べ決算額の 増 減	備 考
	当初 予算額	補正 予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	繰に係る財源充当額	合計			
第1款 資本的収入	2,397,300,000	3,895,000	2,401,195,000	596,707,000	0	2,997,902,000	1,869,410,722	△1,128,491,278	
第1項 企業債	1,745,000,000	2,100,000	1,747,100,000	545,700,000	0	2,292,800,000	1,472,900,000	△ 819,900,000	
第2項 国庫補助金	26,190,000	1,795,000	27,985,000	0	0	27,985,000	0	△ 27,985,000	
第3項 工事負担金	101,030,000	0	101,030,000	51,007,000	0	152,037,000	111,890,600	△ 40,146,400	(注1)
第4項 受託建設収入	728,000	0	728,000	0	0	728,000	927,122	199,122	(注2)
第5項 出資金	524,351,000	0	524,351,000	0	0	524,351,000	283,693,000	△ 240,658,000	
第6項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

(注1) うち、仮受消費税及び地方消費税1,685,600円

(注2) うち、仮受消費税及び地方消費税75,839円

## 支 出

(税込み) (単位:円)

区分	予 算 額						決算額	翌年度繰越額			備 考	
	当初 予算額	補正 予算額	流用 増減額	小計	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	繰 り 越 額 次 類		地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	繰 り 越 額 次 類	合 計		
第1款 資本的支出	5,680,300,000	3,950,000	0	5,684,250,000	974,370,160	0	6,658,620,160	4,836,080,394	1,436,934,100	0	1,436,934,100	385,605,666
第1項 建設改良費	3,895,649,000	3,950,000	0	3,899,599,000	974,370,160	0	4,873,969,160	3,051,513,390	1,436,934,100	0	1,436,934,100	385,521,670 (注1)
第2項 企業償還金	1,740,675,000	0	0	1,740,675,000	0	0	1,740,675,000	1,740,591,220	0	0	0	83,780
第3項 出資金返還金	43,976,000	0	0	43,976,000	0	0	43,976,000	43,975,784	0	0	0	216

(注1) 決算額のうち、仮払消費税及び地方消費税は236,872,929円である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額2,966,669,672円(1,869,410,722円 - 4,836,080,394円)は、減債積立金1,023,782,637円、過年度分損益勘定留保資金1,709,406,693円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本の收支調整額233,480,342円で補填した。

## ② 損益計算書

(税抜き) (単位:円)

勘定科目	金額
1 営業収益 (1) 給水収益 (2) その他営業収益	6,040,027,252 37,097,306
2 営業費用 (1) 原水費 (2) 净水費 (3) 配水管料 (4) 水器管理費 (5) 業務費 (6) 総務費 (7) 減価償却費 (8) 資産減耗費	228,607,995 780,399,402 765,476,564 180,604,490 174,766,752 206,726,945 2,836,471,845 54,233,273
3 営業利益	5,227,287,266
4 営業外収益 (1) 受取利息及び配当金 (2) 他会計負担金 (3) 加入金 (4) 長期前受金戻入 (5) 雜収益	13,678,423 274,014,000 87,283,706 515,170,107 21,994,695
5 営業外費用 (1) 支払利息及び企業債取扱諸費 (2) 雜支出	485,544,618 19,465,973
6 特別利益 (1) その他特別利益	85,480,498
7 特別損失 (1) その他特別損失 (2) 災害復旧費	59,366,484 29,312,577
8 経常利益	88,679,061
9 特別利益	85,480,498
10 特別損失	△ 3,198,563
11 当年度純利益 前年度繰越利益 その他未処分利益 当年度未処分利益	1,253,769,069 0 1,023,782,637 2,277,551,706
12 利益剰余金 変動額	
13 剰余金	

## ③ 貸借対照表

(税抜き) (単位:円)

資産の部	
1 固定資産 (1) 有形固定資産 イ 土地 ロ 建物 ハ 減価償却累計額 ニ 構築物 ホ 機械及び装置 ホ 機械及び装置 ヘ 車両運搬具 ト 工具器具及び備品 チ 建設仮勘定 有形固定資産合計	2,300,423,564 1,840,665 2,348,743,255 △ 967,660,267 97,671,389,619 △ 46,098,726,651 16,773,963,905 △ 10,866,384,745 145,060,099 △ 88,090,172 304,812,612 △ 242,484,305
(2) 無形固定資産 イ 施設利用権 無形固定資産合計	1,381,082,988 51,572,662,968 5,907,579,160 56,969,927 62,328,307 3,259,683,726
2 流動資産 (1) 現金預金 (2) 未貸倒引当金 (3) 動貯蔵品 (4) 仮払金	64,542,571,305 1,207,011,212 1,207,011,212
流動資産合計	65,749,582,517
資産合計	14,169,880,051 593,153,436 △ 29,238,725 563,914,711 36,472,811 202,753
資産合計	14,770,470,326
資産合計	80,520,052,843

負 債 の 部			
<b>3 固定負債</b>			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,784,690,864		
企 業 債 合 計		28,784,690,864	
(2) 引 当 金			
イ 退職給付引当金	636,609,529		
口 修 繕 引 当 金	1,388,004,535		
引 当 金 合 計		2,024,614,064	
<b>固定負債合計</b>			30,809,304,928
<b>4 流動負債</b>			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,715,960,162		
企 業 債 合 計		1,715,960,162	
(2) 未 払 金			
(3) 預 り 金		1,077,153,485	
(4) 引 当 金		12,410,068	
イ 賞 与 引 当 金	61,139,057		
口 法 定 福 利 費 引 当 金	11,893,626		
引 当 金 合 計		73,032,683	
<b>流動負債合計</b>			2,878,556,398
<b>5 繰延収益</b>			
(1) 長 期 前 受 金			
イ 受贈財産評価額	2,143,525,528		
収 益 化 累 計 額	△ 1,168,023,279		
口 建設改良補助金	4,309,081,202		
収 益 化 累 計 額	△ 2,169,413,971		
ハ 工 事 負 担 金	16,733,232,031		
収 益 化 累 計 額	△ 8,714,948,769		
ニ 他 会 計 負 担 金	4,284,576		
収 益 化 累 計 額	△ 3,686,868		
ホ そ の 他 資 本 剰 余 金	522,631		
収 益 化 累 計 額	△ 405,176		
ヘ 建 設 仮 勘 定 定 約	117,455		
緑延収益合計	192,377,009		
<b>負 債 合 計</b>			11,326,544,914
			45,014,406,240
資 本 の 部			
<b>6 資 本 金</b>			
(1) 自 己 資 本 金			
資 本 金 合 計		31,345,873,955	
<b>7 剰 余 金</b>			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受贈財産評価額	7,844,092		
口 建設改良補助金	56,376,850		
資 本 剰 余 金 合 計		64,220,942	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 建設改良積立金	1,818,000,000		
口 当 年 度 未 处 分 利 益 剰 余 金	2,277,551,706		
利 益 剰 余 金 合 計		4,095,551,706	
剩 余 金 合 計			4,159,772,648
資 本 合 計			35,505,646,603
<b>負 債 資 本 合 計</b>			80,520,052,843

## ④ 水道事業固定資産明細書

## 1) 有形固定資産

(単位:円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末償却 未済高
					当年度增加額	当年度減少額	累計	
土地	2,300,423,564	0	0	2,300,423,564	—	—	—	2,300,423,564
施設用地	2,298,505,921	0	0	2,298,505,921	—	—	—	2,298,505,921
その他用地	1,917,643	0	0	1,917,643	—	—	—	1,917,643
立木	1,840,665	0	0	1,840,665	—	—	—	1,840,665
建物	2,348,044,772	698,483	0	2,348,743,255	50,968,180	0	967,660,267	1,381,082,988
事務所用建物	164,227,001	0	0	164,227,001	4,032,601	0	94,341,582	69,885,419
施設用建物	2,072,904,048	0	0	2,072,904,048	44,355,200	0	804,304,082	1,268,599,966
倉庫車庫用建物	101,555,361	698,483	0	102,253,844	2,561,479	0	60,369,441	41,884,403
その他建物	9,358,362	0	0	9,358,362	18,900	0	8,645,162	713,200
構築物	96,248,045,731	1,624,324,621	200,980,733	97,671,389,619	2,018,027,363	158,136,856	46,098,726,651	51,572,662,968
原水及び浄水施設	15,173,524,649	5,153,862	595,786	15,178,082,725	302,359,912	311,987	7,323,403,947	7,854,678,778
配水施設	79,990,854,059	1,619,170,759	199,813,398	81,410,211,420	1,689,460,776	157,554,830	38,084,073,569	43,326,137,851
その他構築物	1,083,667,023	0	571,549	1,083,095,474	26,206,675	270,039	691,249,135	391,846,339
機械及び装置	16,613,175,605	181,111,551	20,323,251	16,773,963,905	679,874,233	9,079,705	10,866,384,745	5,907,579,160
電気設備	5,691,422,757	5,600,743	778,919	5,696,244,581	176,968,184	0	4,090,607,649	1,605,636,932
ポンプ設備	3,532,392,735	56,760,544	2,093,650	3,587,059,629	163,784,988	1,988,967	2,011,504,509	1,575,555,120
滅菌設備	2,091,743,088	16,436,150	14,802,335	2,093,376,903	139,721,991	5,328,840	1,101,937,823	991,439,080
計量設備	1,048,264,902	76,211,393	1,667,602	1,122,808,693	66,328,417	1,273,000	641,641,389	481,167,304
量水器	563,646,916	3,407,275	980,745	566,073,446	1,862,165	488,898	279,564,200	286,509,246
その他機械装置	3,685,705,207	22,695,446	0	3,708,400,653	131,208,488	0	2,741,129,175	967,271,478
車両運搬具	127,801,979	18,075,120	817,000	145,060,099	10,025,260	776,150	88,090,172	56,969,927
自動車	103,180,943	18,075,120	817,000	120,439,063	9,675,088	776,150	65,552,328	54,886,735
その他車両運搬具	24,621,036	0	0	24,621,036	350,172	0	22,537,844	2,083,192
工具器具及び備品	294,821,712	12,090,900	2,100,000	304,812,612	11,718,040	1,995,000	242,484,305	62,328,307
小計	117,934,154,028	1,836,300,675	224,220,984	119,546,233,719	2,770,613,076	169,987,711	58,263,346,140	61,282,887,579
建設仮勘定	2,313,283,880	1,713,788,873	767,389,027	3,259,683,726	—	—	—	3,259,683,726
合計	120,247,437,908	3,550,089,548	991,610,011	122,805,917,445	2,770,613,076	169,987,711	58,263,346,140	64,542,571,305

## 2) 無形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	耐用年数	当年度減価償却高	年度末現在高	備考
施設利用権	162,233,378	0	0	55年	11,466,614	150,766,764	奥裾花ダム使用権(旧上水道)
	1,043,998,537	0	0	55年	50,509,328	993,489,209	大町ダム使用権
	49,609,268	0	0	60年	1,717,634	47,891,634	市庁舎建設負担金(第2庁舎)
	8,992,386	0	0	60年	291,739	8,700,647	市庁舎建設負担金(松代若穂)
	5,323,796	0	0	55年	1,700,026	3,623,770	裾花ダム負担金
	2,712,616	0	0	55年	173,428	2,539,188	奥裾花ダム使用権(旧簡易水道)
計	1,272,869,981	0	0		65,858,769	1,207,011,212	

## ⑤ 収益費用構成

## 1) 収益構成

(税抜き)(単位：円、%)

区分	平成30年度		令和元年度		前年度との比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減	伸び率
営業収益	6,227,036,770	86.7	6,077,124,558	85.9	△149,912,212	△2.4
給水収益	6,186,957,808	86.1	6,040,027,252	85.4	△146,930,556	△2.4
その他営業収益	40,078,962	0.6	37,097,306	0.5	△2,981,656	△7.4
営業外収益	900,802,586	12.5	912,140,931	12.9	11,338,345	1.3
受取利息及び配当金	8,747,511	0.1	13,678,423	0.2	4,930,912	56.4
他会計負担金	263,439,000	3.7	274,014,000	3.9	10,575,000	4.0
加入金	84,112,400	1.2	87,283,706	1.2	3,171,306	3.8
長期前受金戻入	528,211,927	7.3	515,170,107	7.3	△13,041,820	△2.5
雜収益	16,291,748	0.2	21,994,695	0.3	5,702,947	35.0
特別利益	56,200,000	0.8	85,480,498	1.2	29,280,498	52.1
その他特別利益	56,200,000	0.8	85,480,498	1.2	29,280,498	52.1
合計	7,184,039,356	100.0	7,074,745,987	100.0	△109,293,369	△1.5

## 2) 費用構成

(税抜き)(単位：円、%)

区分	平成30年度		令和元年度		前年度との比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減	伸び率
営業費用	5,263,067,780	90.1	5,227,287,266	89.8	△35,780,514	△0.7
原水費	209,367,360	3.6	228,607,995	3.9	19,240,635	9.2
浄水費	775,803,350	13.3	780,399,402	13.4	4,596,052	0.6
配水及び給水費	796,844,539	13.6	765,476,564	13.2	△31,367,975	△3.9
量水器管理費	136,305,451	2.3	180,604,490	3.1	44,299,039	32.5
業務費	175,636,233	3.0	174,766,752	3.0	△869,481	△0.5
総係費	190,608,208	3.3	206,726,945	3.6	16,118,737	8.5
減価償却費	2,825,341,607	48.4	2,836,471,845	48.7	11,130,238	0.4
資産減耗費	153,161,032	2.6	54,233,273	0.9	△98,927,759	△64.6
営業外費用	524,205,314	8.9	505,010,591	8.7	△19,194,723	△3.7
支払利息及び企業債取扱諸費	516,445,410	8.8	485,544,618	8.4	△30,900,792	△6.0
雜支出	7,759,904	0.1	19,465,973	0.3	11,706,069	150.9
特別損失	54,983,625	1.0	88,679,061	1.5	33,695,436	61.3
その他特別損失	54,983,625	1.0	59,366,484	1.0	4,382,859	8.0
災害復旧費	0	0.0	29,312,577	0.5	29,312,577	皆増
合計	5,842,256,719	100.0	5,820,976,918	100.0	△21,279,801	△0.4

## 3) 性質別費用構成

(税抜き)(単位:円、%)

区分	平成30年度		令和元年度		前年度との比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減	伸び率
職員給与費	717,416,937	12.3	731,855,918	12.6	14,438,981	2.0
給料	339,685,155	5.8	329,825,112	5.7	△9,860,043	△2.9
手当等	179,403,649	3.1	172,669,288	3.0	△6,734,361	△3.8
賞与引当金繰入額	48,421,990	0.8	46,900,024	0.8	△1,521,966	△3.1
賃金	16,276,944	0.3	19,522,808	0.3	3,245,864	19.9
退職給付費	13,789,244	0.2	47,287,197	0.8	33,497,953	242.9
法定福利費	110,548,744	1.9	106,527,839	1.8	△4,020,905	△3.6
法定福利費引当金繰入額	9,291,211	0.2	9,123,650	0.2	△167,561	△1.8
備消品費	14,414,283	0.3	14,399,132	0.2	△15,151	△0.1
通信運搬費	14,209,458	0.2	15,073,789	0.3	864,331	6.1
委託料	689,140,370	11.8	719,324,260	12.4	30,183,890	4.4
手数料	5,171,563	0.1	4,288,711	0.1	△882,852	△17.1
賃借料	43,423,183	0.7	43,111,012	0.7	△312,171	△0.7
修繕費	202,992,888	3.5	219,444,950	3.8	16,452,062	8.1
工事請負費	141,166,410	2.4	158,313,171	2.7	17,146,761	12.1
動力費	289,123,372	5.0	281,022,808	4.8	△8,100,564	△2.8
薬品費	35,336,544	0.6	38,965,626	0.7	3,629,082	10.3
材料費	4,394,000	0.1	4,192,276	0.1	△ 201,724	△4.6
負担金	72,915,100	1.3	88,169,555	1.5	15,254,455	20.9
貸倒引当金繰入額	13,322,000	0.2	8,750,000	0.2	△4,572,000	△34.3
減価償却費	2,825,341,607	48.4	2,836,471,845	48.7	11,130,238	0.4
固定資産除却費	153,132,132	2.6	54,233,273	0.9	△98,898,859	△64.6
たな卸資産減耗費	28,900	0.0	0	0.0	△28,900	皆減
企業債利息	516,445,410	8.8	485,544,618	8.3	△30,900,792	△6.0
固定資産除却損失	54,983,625	0.9	53,531,171	0.9	△1,452,454	△2.6
その他物件費	49,298,937	0.8	64,284,803	1.1	14,985,866	30.4
合計	5,842,256,719	100.0	5,820,976,918	100.0	△21,279,801	△0.4

## (6) 経営状況の推移

(税抜き)(単位:千円、%)

項目	年度	27		28		29		30		元	
		金額	対前年 増減率								
総 収 益 (A)		7,221,117	1.7	7,203,751	△0.2	7,173,481	△0.4	7,184,039	0.1	7,074,746	△ 1.5
経 常 収 益 (B)		7,164,917	1.7	7,147,551	△0.2	7,117,281	△0.4	7,127,839	0.1	6,989,265	△ 1.9
営 業 収 益		5,913,646	△0.3	5,915,433	0.1	6,142,364	3.8	6,227,037	1.4	6,077,125	△ 2.4
うち { 給 水 収 益		5,872,259	△0.4	5,877,229	0.1	6,101,254	3.8	6,186,958	1.4	6,040,027	△ 2.4
受託工事収益		0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
他 会 計 負 担 金		565,261	38.2	562,138	△0.6	327,680	△41.7	263,439	△19.6	274,014	4.0
総 費 用 (C)		5,894,715	△2.0	5,789,516	△1.8	5,669,875	△2.1	5,842,256	3.0	5,820,977	△ 0.4
経 常 費 用 (D)		5,816,122	△1.4	5,734,953	△1.4	5,615,312	△2.1	5,787,273	3.1	5,732,298	△ 0.9
営 業 費 用		5,196,067	△1.2	5,144,714	△1.0	5,059,839	△1.6	5,263,068	4.0	5,227,287	△ 0.7
うち { 人 件 費		668,796	△5.2	693,303	3.7	702,382	1.3	717,662	2.2	732,073	2.0
減価償却費等		2,935,619	2.6	2,977,500	1.4	2,889,482	△3.0	2,978,503	3.1	2,890,705	△ 2.9
支 払 利 息 等		608,534	△3.0	576,587	△5.2	544,633	△5.5	516,445	△5.2	485,545	△ 6.0
経 常 損 △ 益		1,348,795	17.6	1,412,598	4.7	1,501,969	6.3	1,340,566	△10.7	1,256,968	△ 6.2
純 損 △ 益		1,326,402	21.7	1,414,235	6.6	1,503,606	6.3	1,341,783	△10.8	1,253,769	△ 6.6
累 積 欠 損 金		0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
不 良 債 務		0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
経 常 収 支 比 率 $\frac{(B)}{(D)}$		123.2	3.1	124.6	1.2	126.7	1.7	123.2	△2.8	121.9	△ 1.1
総 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(C)}$		122.5	3.7	124.4	1.6	126.5	1.7	123.0	△2.8	121.5	△ 1.2

## (7) 資本的支出とその財源の推移

(税込み)(単位:千円、%)

項目	年度	27		28		29		30		元	
											対前年 増減率
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	3,629,257		3,285,502		3,903,536		3,847,903		3,051,513	△ 20.7
	企 業 債 債 還 金	1,740,168		1,752,751		1,753,688		1,760,482		1,740,591	△ 1.1
	そ の 他	56,200		56,200		56,200		56,200		43,976	△ 21.8
	計	5,425,625		5,094,453		5,713,424		5,664,585		4,836,080	△ 14.6
同 上 財 源	企 業 債	1,802,300		1,660,300		2,085,000		1,709,200		1,472,900	△ 13.8
	国 庫 補 助 金	79,095		82,553		55,103		18,638		0	—
	他 会 計 出 資 金	340,240		377,169		375,369		468,989		283,693	△ 39.5
	工 事 負 担 金	308,762		170,377		171,583		173,982		111,891	△ 35.7
	受 託 建 設 収 入	2,132		597		1,006		1,253		927	△ 26.0
	そ の 他	9		0		0		2		0	—
	損 益 勘 定 留 保 資 金 等	2,669,728		2,580,045		2,755,637		3,027,633		2,733,189	△ 9.7
	消費税資本的収支調整額	223,359		223,412		269,726		264,888		233,480	△ 11.9
	計	5,425,625		5,094,453		5,713,424		5,664,585		4,836,080	△ 14.6

(注) 財源のその他=固定資産売却代金

## (8) 費目別原価構成

(単位：円)

年度	27		28		29		30		元		
	有収水量	29,327,698m³	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	
営業費用	原水費	196,562,511	6.70	189,471,168	6.46	193,790,275	6.62	209,367,360	7.17	228,607,995	8.04
	浄水費	690,285,253	23.54	712,374,117	24.30	747,210,528	25.53	775,803,350	26.57	780,399,402	27.45
	配水及び給水費	900,592,354	30.71	803,905,627	27.42	758,288,903	25.91	796,844,539	27.29	765,476,564	26.93
	量水器管理費	132,004,777	4.50	98,826,954	3.37	108,028,872	3.69	136,305,451	4.67	180,604,490	6.36
	業務費	175,158,382	5.97	171,360,746	5.85	176,856,653	6.04	175,636,233	6.02	174,766,752	6.15
	総係費	165,844,437	5.65	191,275,716	6.53	186,180,924	6.36	190,608,208	6.53	206,726,945	7.27
	減価償却費	2,755,928,419	93.97	2,827,022,600	96.44	2,822,926,075	96.44	2,825,341,607	96.76	2,836,471,845	99.78
	資産減耗費	179,691,099	6.13	150,477,277	5.13	66,556,334	2.27	153,161,032	5.24	54,233,273	1.91
	小計	5,196,067,232	177.17	5,144,714,205	175.50	5,059,838,564	172.86	5,263,067,780	180.25	5,227,287,266	183.89
営業外費用	支払利息及び企 業債取扱諸費	608,533,754	20.74	576,587,308	19.67	544,633,322	18.61	516,445,410	17.69	485,544,618	17.08
	雜支	11,520,914	0.39	13,652,247	0.46	10,839,437	0.37	7,759,904	0.27	19,465,973	0.68
	小計	620,054,668	21.13	590,239,555	20.13	555,472,759	18.98	524,205,314	17.96	505,010,591	17.76
合計	5,816,121,900	198.30	5,734,953,760	195.63	5,615,311,323	191.84	5,787,273,094	198.21	5,732,297,857	201.65	
供給単価	200.23		200.49		208.44		211.90		212.48		

## (9) 性質別原価構成

(単位：円)

年度	27		28		29		30		元		
	有収水量	29,327,698m³	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	金額	1m³当たり経費	
職員給与費	給料	333,882,696	11.38	328,213,670	11.20	328,947,271	11.24	339,685,155	11.63	329,825,112	11.60
	手当等	162,016,084	5.52	171,134,946	5.84	176,595,107	6.03	179,403,649	6.14	172,669,288	6.07
	法定福利費	104,047,540	3.55	100,617,957	3.43	106,667,468	3.65	110,548,744	3.79	106,527,839	3.75
	賃金	16,990,873	0.58	19,860,430	0.68	18,716,011	0.64	16,276,944	0.56	19,522,808	0.69
	退職給付費	0	0.00	20,599,000	0.70	17,654,073	0.60	13,789,244	0.47	47,287,197	1.66
	小計	616,937,193	21.03	640,426,003	21.85	648,579,930	22.16	659,703,736	22.59	675,832,244	23.77
	旅費	646,576	0.02	1,728,303	0.06	1,661,008	0.06	875,276	0.03	583,278	0.02
	被服費	1,215,396	0.04	1,418,879	0.05	1,265,641	0.04	1,977,250	0.07	1,394,935	0.05
その他	備品費	15,005,028	0.51	13,135,067	0.45	14,208,929	0.49	14,414,283	0.49	14,399,132	0.51
	燃料費	8,769,144	0.29	9,047,441	0.31	9,399,994	0.32	10,699,030	0.37	9,861,148	0.35
	光熱水費	13,301,409	0.45	12,489,872	0.43	13,902,613	0.48	13,979,469	0.48	13,148,200	0.46
	印刷製本費	1,366,418	0.05	2,686,934	0.09	2,158,094	0.07	2,210,112	0.07	2,539,645	0.09
	通信運搬費	14,927,321	0.51	14,460,464	0.49	14,958,771	0.51	14,209,458	0.49	15,073,789	0.53
	委託料	661,870,257	22.57	651,014,929	22.21	662,651,836	22.64	689,140,370	23.60	692,893,683	24.37
	賃借料	30,338,988	1.03	29,863,548	1.02	43,480,184	1.49	43,423,183	1.49	43,111,012	1.52
	修繕費	155,349,993	5.30	133,481,663	4.55	169,857,919	5.80	202,992,888	6.96	216,562,950	7.62
	動力費	300,928,774	10.26	254,295,723	8.67	274,567,739	9.38	289,123,372	9.90	281,022,808	9.88
	薬品費	36,517,537	1.25	35,412,533	1.21	37,242,631	1.27	35,336,544	1.21	38,965,626	1.37
	材料費	9,476,555	0.32	6,383,613	0.22	5,132,105	0.18	4,394,000	0.15	4,192,276	0.15
	負担金	73,910,592	2.52	70,977,609	2.42	75,118,449	2.57	72,915,100	2.50	88,169,555	3.10
	福利厚生費	2,168,400	0.07	2,127,129	0.07	2,173,301	0.07	2,234,355	0.08	2,283,587	0.08
	減価償却費	2,755,928,419	93.97	2,827,022,600	96.44	2,822,926,075	96.44	2,825,341,607	96.76	2,836,471,845	99.78
	資産減耗費	179,691,099	6.13	150,477,277	5.13	66,556,334	2.27	153,161,032	5.24	54,233,273	1.91
	支払利息	608,533,754	20.75	576,587,308	19.67	544,633,322	18.61	516,445,410	17.69	485,544,618	17.08
	その他	329,239,047	11.23	301,916,865	10.29	204,836,448	6.99	234,696,619	8.04	256,014,253	9.01
合計	5,816,121,900	198.30	5,734,953,760	195.63	5,615,311,323	191.84	5,787,273,094	198.21	5,732,297,857	201.65	
供給単価	200.23		200.49		208.44		211.90		212.48		

⑩ 供給単価と給水原価の推移

年度 項目	27			28			29			30			元			
	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)													
供給単価	200.23	—	△0.1	200.49	—	0.1	208.44	—	4.0	211.90	—	1.7	212.48	—	0.3	
給水原価	資本費	114.72	64.1	0.6	116.11	65.5	1.2	115.05	66.3	△0.9	114.45	63.6	△0.5	116.86	63.3	2.1
	人件費	21.03	11.7	△5.6	21.85	12.3	3.9	22.16	12.8	1.4	22.59	12.5	1.9	23.77	12.9	5.2
	その他	43.30	24.2	△5.6	39.25	22.2	△9.4	36.30	20.9	△7.5	43.08	23.9	18.7	42.90	23.8	△ 0.4
	計	179.05	100.0	△1.7	177.21	100.0	△1.0	173.51	100.0	△2.1	180.12	100.0	3.8	183.53	100.0	1.9
年間総有収水量 m <sup>3</sup>	29,327,698		△0.4	29,314,166		△0.1	29,271,015		△0.1	29,198,147		△0.2	28,426,381		△ 2.6	
給水収益千円	5,872,259		△0.4	5,877,229		0.1	6,101,255		3.8	6,186,958		1.4	6,040,027		△ 2.4	
費用合計千円	5,250,984		△2.1	5,194,843		△1.1	5,078,882		△2.2	5,259,061		3.5	5,217,128		△ 0.8	

- (注) 1. 供給単価=給水収益÷年間総有収水量  
 2. 給水原価=費用合計÷年間総有収水量  
 3. 資本費=(支払利息+減価償却費)÷年間総有収水量  
 4. 費用合計=経常費用-(受託工事費+材料売却原価+長期前受金戻入)

⑪ 経常収益と料金収入の推移

(税抜き)(単位:千円、%)

年度 項目	経常収益		料金収入		経常収益に占める料金収入(B/A)	料金改定	
	金額(A)	対前年増減率	金額(B)	対前年増減率		年月日	平均改定期
14	5,931,155	△1.4	5,644,172	△1.5	95.2		
15	5,849,012	△1.4	5,571,417	△1.3	95.3		
16	5,933,558	1.4	5,636,067	1.2	95.0		
17	6,042,783	1.8	5,715,789	1.4	94.6		
18	6,013,247	△0.5	5,665,864	△0.9	94.2		
19	5,989,417	△0.4	5,629,178	△0.6	94.0		
20	5,729,644	△4.3	5,412,214	△3.9	94.5		
21	5,857,554	2.2	5,447,908	0.7	93.0		
22	6,246,322	6.6	5,836,617	7.1	93.4	H22. 6. 1	7.71
23	6,487,347	3.9	5,811,323	△0.4	89.6		
24	6,507,452	0.3	5,808,181	△0.1	89.3		
25	6,651,476	2.2	6,042,520	4.0	90.8	H25. 6. 1	7.86
26	7,047,460	6.0	5,893,979	△2.5	83.6		
27	7,164,917	1.7	5,872,259	△0.4	82.0		
28	7,147,551	△0.2	5,877,229	0.1	82.2		
29	7,117,281	△0.4	6,101,255	3.8	85.7	H29. 6. 1	5.49
30	7,127,839	0.1	6,186,958	1.4	86.8		
元	6,989,265	△1.9	6,040,027	△2.4	86.4		

## ⑫ 一般会計繰入金の推移

(単位：千円、%)

年 度			27 決算額 (対前年増減率)	28 決算額 (対前年増減率)	29 決算額 (対前年増減率)	30 決算額 (対前年増減率)	元 決算額 (対前年増減率)	備 考		
一般会計から の繰入金	収 益	営 業	基準内繰入金	9,802 (22.6)	6,875 (△29.9)	9,779 (42.2)	7,797 (△20.3)	6,520 (△16.4)		
		収 益	基準外繰入金	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)		
	収 益	営業外	基準内繰入金	187,943 (△4.4)	179,097 (△4.7)	170,033 (△5.1)	172,865 (1.7)	187,712 (8.6)		
		収 益	基準外繰入金	377,318 (77.6)	383,041 (1.5)	157,647 (△58.8)	90,574 (△42.5)	86,302 (△4.7)		
	計 (A)		575,063 (37.9)	569,013 (△1.1)	337,459 (△40.7)	271,236 (△19.6)	280,534 (△3.4)			
	資本勘定繰入金	資本的 収 入	基準内繰入金	366,554 (28.4)	401,131 (9.4)	387,136 (△3.5)	495,022 (27.9)	297,428 (△39.9)		
			基準外繰入金	387 (2.7)	397 (2.6)	407 (2.5)	418 (2.7)	429 (2.6)		
		計 (B)		366,941 (28.4)	401,528 (9.4)	387,543 (△3.5)	495,440 (27.8)	297,857 (△39.9)		
	総 繰 入 金 合 計 (C)			942,004 (34.0)	970,541 (3.0)	725,002 (△25.3)	766,676 (5.7)	578,391 (△24.6)		
水道事業会計	収 益 的 収 入 (D)			7,221,117 (1.7)	7,203,751 (△0.2)	7,173,481 (△0.4)	7,184,039 (0.1)	7,074,746 (△1.5)		
	資 本 的 収 入 (E)			2,532,538 (11.6)	2,290,996 (△9.5)	2,688,062 (17.3)	2,372,064 (△11.8)	1,869,411 (△21.2)		
	収 入 合 計 (F)			9,753,655 (4.1)	9,494,747 (△2.7)	9,861,543 (3.9)	9,556,103 (△3.1)	8,944,157 (△6.4)		
繰 入 率	収益的収入に対する率 (A) (D)			8.0	7.9	4.7	3.8	4.0		
	資本的収入に対する率 (B) (E)			14.5	17.5	14.4	20.9	15.9		
	総 収 入 に 対 す る 率 (C) (F)			9.7	10.2	7.4	8.0	6.5		

(注) 総務省「地方公営企業決算の状況」による区分

## ⑬ 企業債の状況

## 1) 現況

(単位：円、件、%)

項目	区分	企 業 債		前 年 度 末 未 償 還 高	当 年 度 発 行 額	当 年 度 債 還 額	当 年 度 末 未 償 還 高	
		発 行 総 額	件 数				現 在 高	構 成 比
1. 政 府 資 金		17,191,100,000	79	8,752,593,569	0	744,069,648	8,008,523,921	26.3
財 務 省 理 財 局		17,191,100,000	79	8,752,593,569	0	744,069,648	8,008,523,921	26.3
2. 機 構 資 金		28,686,900,000	110	21,554,514,659	1,472,900,000	744,833,705	22,282,580,954	73.0
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構		28,686,900,000	110	21,554,514,659	1,472,900,000	744,833,705	22,282,580,954	73.0
3. 民 間 資 金		2,808,100,000	15	461,234,018	0	251,687,867	209,546,151	0.7
市 中 銀 行 等		2,808,100,000	15	461,234,018	0	251,687,867	209,546,151	0.7
計		48,686,100,000	204	30,768,342,246	1,472,900,000	1,740,591,220	30,500,651,026	100.0

(注) 借換債を含む。

企業債のうち、7件は当年度で償還終了となった。

## 2) 企業債の推移

(単位：円、%)

項目	年度	27		28		29		30		元	
		金額	構成比								
借入	財務省理財局	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	地方公共団体金融機構	1,802,300,000	100.0	1,660,300,000	100.0	2,085,000,000	100.0	1,709,200,000	100.0	1,472,900,000	100.0
	市中銀行等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計		1,802,300,000	100.0	1,660,300,000	100.0	2,085,000,000	100.0	1,709,200,000	100.0	1,472,900,000	100.0
償還	利息	608,533,754	25.9	576,587,308	24.8	544,633,322	23.7	516,445,410	22.7	485,336,649	21.8
	元金	1,740,167,897	74.1	1,752,750,887	75.2	1,753,688,073	76.3	1,760,482,205	77.3	1,740,591,220	78.2
	計	2,348,701,651	100.0	2,329,338,195	100.0	2,298,321,395	100.0	2,276,927,615	100.0	2,225,927,869	100.0
年度末未償還高		30,580,763,411	—	30,488,312,524	—	30,819,624,451	—	30,768,342,246	—	30,500,651,026	—

## 3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表

令和2年3月31日現在 (単位:件、円)

利 率 %	財務省理財局		地方公共団体金融機構		市中銀行等		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
0.250			1	1,176,362			1	1,176,362
0.300			3	1,475,751,164			3	1,475,751,164
0.500			6	3,511,500,000			6	3,511,500,000
0.600	2	18,371,319	8	3,745,300,000			10	3,763,671,319
0.650			1	2,858,858			1	2,858,858
0.689					2	22,780,115	2	22,780,115
0.700			2	4,745,647			2	4,745,647
0.750						0	0	0
0.820					1	2,433,125	1	2,433,125
0.880					3	102,752,715	3	102,752,715
0.900	4	179,317,542	2	12,399,498			6	191,717,040
0.920						0	0	0
0.950			1	2,426,271			1	2,426,271
0.989					2	8,303,556	2	8,303,556
1.000			1	6,133,505			1	6,133,505
1.100	1	8,546,232				0	1	8,546,232
1.160					1	9,831,976	1	9,831,976
1.170					1	63,444,664	1	63,444,664
1.200	3	16,285,491	4	1,727,600,000			7	1,743,885,491
1.250						0	0	0
1.300			2	294,067,689			2	294,067,689
1.340						0	0	0
1.350			1	3,049,588			1	3,049,588
1.400	1	2,336,493	5	1,836,619,463			6	1,838,955,956
1.500			5	1,604,140,771			5	1,604,140,771
1.600	3	489,411,755					3	489,411,755
1.650			1	275,228,478			1	275,228,478
1.700	2	496,940,910	4	1,857,382,219			6	2,354,323,129
1.900	5	1,246,982,552	11	1,792,357,624			16	3,039,340,176
2.000	15	2,166,477,287	5	689,094,452			20	2,855,571,739
2.050			2	434,788,281			2	434,788,281
2.100	14	1,810,243,122	17	1,966,190,849			31	3,776,433,971
2.150			4	201,392,523			4	201,392,523
2.200	3	72,097,331	6	314,818,593			9	386,915,924
2.300	1	19,633,530	1	14,936,765			2	34,570,295
2.600	3	374,258,917					3	374,258,917
2.700	1	28,484,534					1	28,484,534
2.850			1	127,965,707			1	127,965,707
2.900			1	51,245,286			1	51,245,286
3.150	2	134,721,293					2	134,721,293
3.200			2	102,137,784			2	102,137,784
3.250			2	97,279,604			2	97,279,604
3.400	3	321,244,036					3	321,244,036
3.650	1	9,007,974					1	9,007,974
3.700			2	25,962,814			2	25,962,814
3.850	2	140,813,166					2	140,813,166
4.200	1	20,616,644					1	20,616,644
4.300	3	190,804,668					3	190,804,668
4.400	4	226,742,637					4	226,742,637
4.450			2	23,192,330			2	23,192,330
4.500			1	978,293			1	978,293
4.600	1	16,249,065					1	16,249,065
4.650	2	18,937,423	1	1,968,942			3	20,906,365
4.700			3	49,661,124			3	49,661,124
4.750			2	28,230,470			2	28,230,470
計	77	8,008,523,921	110	22,282,580,954	10	209,546,151	197	30,500,651,026

## 4) 建設投資額に占める企業債比率の推移

(税込み) (単位:千円、%)

項目 年度	建設投資額 ①		企 業 債 ②		建設投資額に占める 企業債の比率②／①
	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	
12	2,544,187	△35.0	1,410,000	△29.3	55.4
13	2,505,407	△1.5	940,000	△33.3	37.5
14	2,079,029	△17.0	764,000	△18.7	36.7
15	1,531,996	△26.3	733,800	△4.0	47.9
16	1,545,041	0.9	615,700	△16.1	39.9
17	1,738,114	12.5	953,600	54.9	54.9
18	2,370,164	36.4	1,428,600	49.8	60.3
19	1,656,953	△30.1	946,100	△33.8	57.1
20	2,350,054	41.8	1,450,000	53.3	61.7
21	2,626,223	11.8	1,883,000	29.9	71.7
22	2,332,251	△11.2	1,404,300	△25.4	60.2
23	3,061,313	31.3	2,061,200	46.8	67.3
24	2,875,320	△6.1	1,719,300	△16.6	59.8
25	3,069,221	6.7	1,900,600	10.5	61.9
26	3,414,017	11.2	1,727,600	△9.1	50.6
27	3,629,257	6.3	1,802,300	4.3	49.7
28	3,285,502	△9.5	1,660,300	△7.9	50.5
29	3,903,536	18.8	2,085,000	25.6	53.4
30	3,847,903	△ 1.4	1,709,200	△ 18.0	44.4
元	3,051,513	△ 20.7	1,472,900	△ 13.8	48.3

(注) 建設投資額=建設改良費総額-受託建設費  
企業債に借換債を含まない。

#### ④ 経営比較分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度基礎数値	
自己資本構成比率(%)	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	55.07	55.82	56.44	57.04	58.16	$\frac{31,345,874\text{千円} + 4,159,773\text{千円} + 11,326,545\text{千円}}{80,520,053\text{千円}} \times 100$	
普及率(%)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$	72.36	72.24	72.18	72.09	72.03	$\frac{269,358\text{人}}{373,971\text{人}} \times 100$	
経営健全性・効率性	経常収支比率(%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	(114.08) 123.19	(115.36) 124.63	(113.95) 126.75	(112.62) 123.16	121.93	$\frac{6,989,265\text{千円}}{5,732,298\text{千円}} \times 100$
	累積欠損金比率(%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	(0.00) 0.00	(0.00) 0.00	(0.00) 0.00	(0.00) 0.00	0.00	$\frac{0\text{円}}{6,077,125\text{千円}} \times 100$
	流动比率(%)	$\frac{\text{流动資産}}{\text{流动負債}} \times 100$	(299.44) 373.74	(311.99) 392.97	(307.83) 424.51	(318.89) 417.38	513.12	$\frac{14,770,470\text{千円}}{2,878,556\text{千円}} \times 100$
	企業債残高対給水収益比率(%)	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{給水収益}} \times 100$	(298.09) 520.77	(291.78) 518.75	(295.44) 505.14	(269.96) 497.31	504.98	$\frac{30,500,651\text{千円}}{6,040,027\text{千円}} \times 100$
	料金回収率(%)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	(106.40) 111.83	(107.61) 113.14	(106.02) 120.13	(105.35) 117.64	115.77	$\frac{6,040,027\text{千円}}{5,217,128\text{千円}} \times 100$
	給水原価(円)	$\frac{\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	(156.29) 179.05	(155.69) 177.21	(158.60) 173.51	(161.82) 180.12	183.53	$\frac{5,217,128\text{千円}}{28,426,381\text{m}^3}$
	施設利用率(%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	(62.34) 55.88	(62.46) 55.91	(62.88) 55.78	(62.30) 55.74	54.96	$\frac{90,703\text{m}^3}{165,039\text{m}^3} \times 100$
	有収率(%)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	(90.15) 86.54	(90.62) 87.08	(90.13) 87.10	(90.20) 86.96	85.63	$\frac{28,426,381\text{m}^3}{33,197,329\text{m}^3} \times 100$
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率(%)	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却資産}} \times 100$	(47.37) 45.02	(48.01) 46.16	(48.01) 47.38	(48.86) 48.14	49.69	$\frac{58,263,346\text{千円}}{117,243,969\text{千円}} \times 100$
	管路経年化率(%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(14.27) 12.17	(16.17) 14.05	(16.60) 16.88	(16.60) 18.97	21.10	$\frac{519.52\text{km}}{2,461.99\text{km}} \times 100$
	管路更新率(%)	$\frac{\text{当該年度に更新した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(0.67) 1.34	(0.67) 1.08	(0.65) 0.55	(0.65) 0.86	0.61	$\frac{15.11\text{km}}{2,461.99\text{km}} \times 100$

\*普及率については、行政区域内に県営水道事業区域が存在するため、同事業区域を除いた給水区域内人口で算出すると99.83%になる。

#### (参考)

項目	算出方法	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度基礎数値	
耐震化の状況	管路の耐震管率(%)	$\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	11.4	12.5	13.1	13.9	14.4	$\frac{355.12\text{km}}{2,461.99\text{km}} \times 100$
	基幹管路の耐震管率(%)	$\frac{\text{基幹管路のうち耐震管延長}}{\text{基幹管路延長}} \times 100$	-	-	40.3	40.6	41.5	$\frac{145.16\text{km}}{349.40\text{km}} \times 100$

## ⑯ 経営分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度基礎数値
負荷率(%)	一日平均配水量 × 100 一日最大配水量	(85.3) 88.5	(89.6) 91.3	(88.9) 90.1	(89.7) 89.7	91.4	$\frac{90,703\text{m}^3}{99,244\text{m}^3} \times 100$
最大稼働率(%)	一日最大配水量 × 100 一日配水能力	(73.1) 63.1	(69.7) 61.2	(70.7) 61.9	(69.5) 62.1	60.1	$\frac{99,244\text{m}^3}{165,039\text{m}^3} \times 100$
有効率(%)	年間総有効水量 × 100 年間総配水量	89.2	90.0	90.1	90.0	89.3	$\frac{29,645,416\text{m}^3}{33,197,329\text{m}^3} \times 100$
配水管使用効率(m³/m)	年間総配水量 導送配水管延長	(20.5) 13.8	(20.3) 13.7	(19.5) 13.7	(19.3) 13.7	13.5	$\frac{33,197,329\text{m}^3}{2,461,986\text{m}}$
配水管と給水人口(人/km)	給水人口 導送配水管延長	(173.4) 113.0	(172.7) 111.9	(165.0) 111.3	(163.8) 110.3	109.4	$\frac{269,358\text{人}}{2,461.99\text{km}}$
供給単価(円)	給水収益 年間総有収水量	(166.29) 200.23	(167.53) 200.49	(168.15) 208.44	(169.65) 211.90	212.48	$\frac{6,040,027,252\text{円}}{28,426,381\text{m}^3}$
職員一人当たり	給水人口(人)	給水人口 損益勘定所属職員数	(3,641) 3,253	(3,647) 3,312	(3,646) 3,331	(3,672) 3,266	269,358人 83人
	給水量(m³)	年間総有収水量 損益勘定所属職員数	(387,309) 345,032	(387,379) 353,183	(388,263) 356,964	(389,535) 351,785	$\frac{28,426,381\text{m}^3}{83\text{人}}$
	営業収益(千円)	営業収益 損益勘定所属職員数	(67,040) 69,572	(67,664) 71,270	(68,088) 74,907	(68,910) 75,025	6,077,125千円 83人
	有形固定資産(千円)	期末有形固定資産 損益・資本勘定所属職員数	(473,138) 567,573	(477,369) 568,750	(489,364) 581,416	(496,205) 581,844	64,542,571千円 110人

## ⑰ 財務分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度基礎数値 (単位:千円)
固定資産構成比率(%)	固定資産 固定資産+流動資産+繰延資産 × 100	(88.0) 86.1	(87.6) 84.4	(87.5) 83.2	(87.4) 82.2	81.7	$\frac{65,749,583}{65,749,583+14,770,470+0} \times 100$
固定負債構成比率(%)	固定負債 負債・資本合計 × 100	(28.4) 41.2	(27.7) 40.2	(27.3) 39.6	(27.1) 38.7	38.3	$\frac{30,809,305}{80,520,053} \times 100$
固定資産対長期資本比率(%)	固定資産 資本金+剰余金+固定負債+繰延収益 × 100	(91.7) 89.5	(91.2) 87.9	(91.2) 86.6	(91.0) 85.8	84.7	$\frac{65,749,583}{31,345,874+4,159,773+30,809,305+11,326,545} \times 100$
固定比率(%)	固定資産 資本金+剰余金+繰延収益 × 100	(130.3) 156.4	(128.3) 151.1	(127.5) 147.4	(125.8) 144.0	140.4	$\frac{65,749,583}{31,345,874+4,159,773+11,326,545} \times 100$
酸性試験比率(%)	現金預金+(未収金-貸倒引当金) 流動負債 × 100	(285.9) 372.4	(300.5) 391.7	(293.5) 423.5	(302.5) 416.4	511.8	$\frac{14,169,880+563,915}{2,878,556} \times 100$
現金比率(%)	現金預金 流動負債 × 100	(255.0) 350.4	(269.4) 370.4	(263.7) 403.4	(270.9) 398.6	492.3	$\frac{14,169,880}{2,878,556} \times 100$
総収支比率(%)	総収益 総費用 × 100	(112.4) 122.5	(115.5) 124.4	(113.8) 126.5	(112.7) 123.0	121.5	$\frac{7,074,746}{5,820,977} \times 100$
営業収支比率(%)	営業収益-受託工事収益 営業費用-受託工事費用 × 100	(107.5) 113.8	(108.1) 115.0	(105.9) 121.4	(104.2) 118.3	116.3	$\frac{6,077,125-0}{5,227,287-0} \times 100$
利子負担率(%)	支払利息+企業債取扱諸費 -時借入金等+固定負債(企業債)+流動負債(企業債) × 100	(2.1) 2.0	(2.0) 1.9	(1.9) 1.8	(1.8) 1.7	1.6	$\frac{485,545}{0+28,784,691+1,715,960} \times 100$
企業債償還元金対減価償却額比率(%)	企業債償還元金 当年度減価償却費-長期前受金戻入 × 100	(75.6) 79.4	(74.4) 76.6	(72.5) 76.7	(72.7) 76.6	75.0	$\frac{1,740,591}{2,836,472-515,170} \times 100$
企業債利息対料金収入比率(%)	企業債利息 料金収入 × 100	(6.4) 10.4	(5.9) 9.8	(5.6) 8.9	(5.2) 8.3	8.0	$\frac{485,337}{6,040,027} \times 100$
企業債元利償還金対料金収入比率(%)	企業債元利償還金 料金収入 × 100	(26.3) 40.0	(25.7) 39.6	(25.5) 37.7	(25.5) 36.8	36.9	$\frac{2,226,136}{6,040,027} \times 100$

## (2) 水道料金

### ① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）

区分 用途	年度	給水件数		有収水量		調定金額		備考	
		件数(件)	対前年比(%)	水量(m³)	対前年比(%)	料金(円)	対前年比(%)	供給単価(円)	対前年比(%)
一般家事用	27	122,433	100.5	21,312,765	99.9	3,907,662,963	99.9	183.35	100.0
	28	123,233	100.7	21,350,934	100.2	3,922,286,303	100.4	183.71	100.2
	29	123,932	100.6	21,248,582	99.5	4,104,637,977	104.6	193.17	105.1
	30	124,034	100.1	21,114,251	99.4	4,164,362,639	101.5	197.23	102.1
	元	124,321	100.2	20,724,415	98.2	4,106,027,287	98.6	198.13	100.5
業務用	27	10,514	99.3	7,947,028	99.1	1,939,571,976	99.2	244.06	100.0
	28	10,499	99.9	7,900,809	99.4	1,930,561,863	99.5	244.35	100.1
	29	10,430	99.3	7,962,794	100.8	1,975,649,502	102.3	248.11	101.5
	30	10,418	99.9	8,034,875	100.9	2,005,272,833	101.5	249.57	100.6
	元	10,304	98.9	7,656,662	95.3	1,917,537,772	95.6	250.44	100.3
公衆浴場用	27	11	100.0	38,091	91.9	1,953,816	94.6	51.29	102.9
	28	11	100.0	34,166	89.7	1,787,264	91.5	52.31	102.0
	29	11	100.0	32,231	94.3	1,705,991	95.5	52.93	101.2
	30	10	90.9	23,840	74.0	1,323,510	77.6	55.52	104.9
	元	10	100.0	21,216	89.0	1,203,828	91.0	56.74	102.2
別荘地用	27	520	98.7	29,814	98.5	23,070,503	98.4	773.81	99.8
	28	522	100.4	28,257	94.8	22,593,673	97.9	799.58	103.3
	29	306	58.6	27,408	97.0	19,261,252	85.3	702.76	87.9
	30	298	97.4	25,181	91.9	15,998,826	83.1	635.35	90.4
	元	283	95.0	24,088	95.7	15,258,365	95.4	633.44	99.7
合計	27	133,478	100.4	29,327,698	99.6	5,872,259,258	99.6	200.23	100.0
	28	134,265	100.6	29,314,166	100.0	5,877,229,103	100.1	200.49	100.1
	29	134,679	100.3	29,271,015	99.9	6,101,254,722	103.8	208.44	104.0
	30	134,760	100.1	29,198,147	99.8	6,186,957,808	101.4	211.90	101.7
	元	134,918	100.1	28,426,381	97.4	6,040,027,252	97.6	212.47	100.3

注) 件数は年度末の給水件数

平成29年度から、業務用水量には他会計から収入のあった事業用水量を含む（平成29年度 3,695m³、平成30年度 10,598m³）

## (②) 1戸当たり1カ月平均使用水量及び水道料金(税込み)

(単位:m<sup>3</sup>・円)

年 度	一般家事用		業務用		公衆浴場用		別荘地用		平 均	
	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金
27	14.6	2,895	61.8	16,282	288.6	15,972	4.7	3,955	18.4	3,981
28	14.5	2,886	61.6	16,258	258.8	14,623	4.5	3,920	18.3	3,961
29	14.4	3,000	62.4	16,710	244.2	13,958	5.3	4,013	18.2	4,091
30	14.3	3,035	63.1	17,015	192.3	11,527	5.8	3,968	18.1	4,141
元	13.9	3,002	60.6	16,498	176.8	10,900	5.7	3,915	17.6	4,059

注) (1) 1カ月の使用水量 =  $\frac{\text{総使用水量}}{\text{調定延件数}} \div 2$  (小数点第2位四捨五入)(2) 1カ月の料金 =  $\frac{\text{総水道料金}}{\text{調定延件数}} \div 2$  (円未満の端数は四捨五入)

## (③) 水道料金の徴収方法(隔月徴収)

(単位:件・%)

項目 年度	納付制		口座振替制		計	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比
27	29,795	22.4	102,923	77.6	132,718	100
28	30,890	23.1	102,719	76.9	133,609	100
29	31,720	23.6	102,456	76.4	134,176	100
30	32,223	23.9	102,327	76.1	134,550	100
元	33,041	24.5	101,604	75.5	134,645	100

注) (1) 年間の平均値で掲載。

(2) 口座振替制については領収書は交付しない。但し、振替後の検針時に配布している『使用水量のお知らせ』に「上・下水道料金振替済のお知らせ」として記載している。

## (④) 水道料金収納状況(税込み)

(R 2. 3. 31現在)(単位:件・円・%)

年 度	調 定		収 入		未 収		収納率(金額比)	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	R 2. 3月末	各年度の翌年度5月末
29	805,291	6,588,856,957	804,406	6,583,411,111	885	5,445,846	99.92	99.51
30	806,709	6,681,914,513	805,474	6,672,505,227	1,235	9,409,286	99.86	99.53
元	808,441	6,562,648,089	730,591	6,002,339,946	77,850	560,308,143	91.46	99.56

## (5) 検針件数（隔月検針）

(単位：件)

年 度	上水道メーター	井戸メーター	減算メーター	合 計	3月の検針員数 (人)	検針員1人当りの 1ヶ月平均検針数
25	149,774	775	35	150,584	72	1,046
26	151,220	828	22	152,070	65	1,170
27	151,952	757	26	152,735	61	1,239
28	152,213	813	25	153,051	62	1,241
29	153,438	800	31	154,269	62	1,248
30	154,293	788	31	155,112	61	1,272
元	155,447	773	19	156,239	61	1,281

※ 件数は年度末の件数（2月、3月の合計）

※ 篠ノ井・川中島・更北地区は県企業局委託法人で検針（本表に含まない）

※ 井戸メーター・減算メーターは、地区にかかわらず全て市上下水道局委託法人で検針

※ 集合住宅：731棟 18,865件（市給水地区内、集中検針対象件数 R 2. 3月現在）

## (6) 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）

(単位：件・m³・円)

年度	件 数			料 金 水 量			水 道 料 金		
	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計
29	769,131	36,164	805,295	28,249,244	1,018,076	29,267,320	6,346,973,854	242,381,326	6,589,355,180
30	771,180	35,529	806,709	28,194,830	992,719	29,187,549	6,441,641,634	240,272,879	6,681,914,513
元	773,368	35,073	808,441	27,451,998	974,383	28,426,381	6,324,539,467	238,108,622	6,562,648,089

## ⑦ 水道料金表

(1カ月につき)

用 途	メーターの口径 (ミリメートル)	基 本 料 金		水 量 料 金	
		使 用 水 量	料 金 (円)	使 用 水 量 (立 方 メ ー ト ル)	料 金 (円)
一 般 用	13		1,199.00	1~ 10	68.2
	20		1,650.00	11~ 20	174.9
	25		2,112.00	21~ 30	189.2
	30		2,552.00	31~ 50	215.6
				51~100	250.8
				101以上	269.5
	40		4,367.00	1~ 50	204.6
	50		8,602.00	51~100	265.1
	75		17,776.00	101以上	269.5
	100		33,440.00		
公 衆 浴 場 用	150		86,636.00		
	200		171,732.00		
	350		697,719.00		
	13		1,023.00		
	20		1,408.00		
	25		1,793.00	1~1,200	46.2
別 莊	30		2,167.00	1,201以上	103.4
	40		3,674.00		
用	50		7,238.00		
	飯綱高原地区	10立方メートルまで	3,905.00	11~ 20 21~ 40 41~100 101以上	203.5 231 264 297
飯綱高原地区以外の地区		10立方メートルまで	2,255.00	11以上	192.5

注) 水道料金は上記表に基づき算出した基本料金と水量料金の合算額とする。(円未満切り捨て)  
総額表示(税込み)

平成25年6月1日施行 改定率 平均7.86%

平成26年4月1日施行 (消費税5%→8%に伴う改定)

平成29年6月1日施行 改定率 平均5.49%

令和元年10月1日施行 (消費税8%→10%に伴う改定)

## (参考) 県営水道料金表

(1カ月につき)

メーターの口径	基 本 水 量	料 金	超 過 料 金
13 ミリメートル	10立方メートルまで	1,413円	基本水量を超える1立方メートルについて 190円
20	20	3,313	
25	25	4,263	
30	40	7,113	
40	60	10,913	
50	100	18,513	
75	200	37,513	
100	300	56,513	
125	400	75,513	
150	600	113,513	
200	1,000	189,513	

特別料金：メーター口径20ミリメートルで基本水量に満たない場合

使 用 水 量	料 金
10立方メートル以下	2,373
10立方メートルを超える15立方メートル以下	2,843

(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）

① 概 要

- 1) 根拠条例 長野市上下水道事業経営審議会条例（平成6年長野市条例第19号）  
(平成19年4月1日に長野市水道料金等審議会条例を改正し、施行)
- 2) 設置目的 水道事業及び下水道事業の経営に関し、必要な事項を審議するため。
- 3) 任 務 上下水道事業管理者の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査及び審議する。
  - ・水道事業及び下水道事業の経営に関する重要な事項
  - ・水道料金及び下水道使用料に関すること
  - ・その他上下水道事業管理者が必要と認める事項
- 4) 組織構成 委員20人以内で組織し、任期3年
- 5) 委員名簿（令和2年3月31日現在）

委員氏名	所 属 団 体 の 役 職 名 又 は 職 業	備 考
鈴木智弘	信州大学	経営大学院長
水野雅義	長野商工会議所	副会頭
丸田由香里	長野県弁護士会	会員
浅野憲哉	長野工業高等専門学校	准教授
野口暢子	長野県立大学	グローバルマネジメント学部講師
望月なつえ	日本公認会計士協会東京会長野県会	会員
北沢陽二郎	長野市公衆浴場組合	組合長
伊藤秀樹	長野市ホテル旅館組合	常務理事
井上孝	長野県クリーニング生活衛生同業組合	理事
傳田恵子	長水豆腐商業組合	組合員
柳原静子	長野市地域女性ネットワーク	会長
北村冷子	長野市食生活改善推進協議会	理事
中村志保美	信州新町味噌製造加工グループ	会員
松澤のあ	NAGANO共感ネット女性会議2010	副代表
真田仁臣	公募委員	
坂井有一	公募委員	
竹内健司	公募委員	
尾澤美由紀	公募委員	

\*前副会長退任後、審議会が東日本台風災害の復旧対応により未開催のため、副会長は未選任

敬称略、順不同

② 開催状況

回	期 日	場 所	主 な 審 議 内 容
1	令和元年 7月19日(金)	犀川浄水場 1階会議室	(1) 上下水道局の組織及び審議スケジュール (2) 水道、下水道事業の概要 (3) 水道料金及び下水道使用料について

回	期 日	場 所	主 な 審 議 内 容
2	9月30日(月)	犀川浄水場 1階会議室	(1) 平成30年度決算の概要 (2) 水道・下水道事業経営戦略の概要及び進捗状況報告 (3) 消費税引き上げに伴う水道料及び下水道使用料の改定
3	延期(本来は1月開催予定)	東日本台風災害の復旧対応により、次年度へ延期 東日本台風災害の復旧対応により、次年度へ延期	予定していた内容 (水道料金及び下水道使用料の概要) (水道施設整備計画) (下水道施設見学 東部浄化センターほか)

③ 過去の答申内容(長野市水道料金等審議会時を含む)

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
S47. 1.22 7回開催	S47. 3.13	(1) S47~50年度の資金不足額2,644,537千円を解消するため、料金改定の必要を認める。 (2) 改定は隔年とし、S47年度約70%、S49年度約19%が妥当 ○附帯意見 ① 業務用中、官公署の料金は、20%程度の増額が適当。この増収分は、一般家事用等の調整財源とし、上げ幅の抑えを配慮のこと。
S48. 5.17 飯綱高原別荘地区の料金について 諮問	S48. 6. 6 4回開催	(1) 飯綱別荘地区は、S43年に設定されたままであること、利用が季節的であること等の特殊性により、一般料金と適切な格差をもって設定されることが望ましく、経営比率を基本として算定した料金が妥当である。 (2) 改定は約214%とし、永住者及びこれに準ずる者を除き個々適用とする。 ○附帯意見 ① 料金体系、業種別については、S49年度一般料金の改定と併せて配慮のこと。
S49. 12.24 6回開催	S50. 2.21	(1) S49年度からの6期拡張等の計画実施のために生ずる資金不足額 1,794,607千円を解消するため、改定の必要を認める。 (2) S50年度に75.1%の値上げを必要とするが、一時にこれを実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S50年度50%、S51年度33%が適当 ○附帯意見 ① 私立福祉施設(保育、幼稚園含む)、地区公民館、集会所、公衆浴場等については、別に考慮 ② 一層の企業努力でS51年度の値上げを極力抑えること。 ③ 答申を尊重のこと。
S50. 12.25 5回開催	S51. 2. 9	(1) 当局の企業努力等もあり、S51年度約27.2%の値上げは適当と認める。ただし、条例第24条第2項の条項は、廃止のこと。 ○附帯意見 ① 一層の企業努力により S52年度値上げを極力抑えること。
S55. 7.25 7回開催	S55. 8.27	(1) S49年度からの6期拡張計画等の実施のために生ずる資金不足額3,104,091千円を解消するため、改定の必要を認める。 (2) 料金体系は、基本料金に口径別の考え方を取り入れ、従量料金は、現行の体系による併用型を採用することが適当。 (3) S55年度53.1%の値上げを必要とするが、一時に実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S55年度(11月から)約38%、S57年度約26.1%の値上げが適当。

諮詢年月日	答申年月日	答申内容概略
S 56. 12. 24	S 57. 2. 13 7回開催	(1) 当局の企業努力等もあり S 57年度総体平均20.06%（一般分平均20.25%、別荘地特別分5.36%）の値上げが適當と認める。 ○附帯意見 ① 業務用料金については、将来生活関連企業の料金を抑える一方、大口使用者の料金遅増制についても検討すること。 ② 別荘地料金については、今後極力料金を抑えるよう努力すること。 ③ 今後の改定に当たっては、一時に大幅な値上げを行わず、小差改定に努めること。 ④ 私立福祉施設（保育園及び幼稚園含む。）及び公衆浴場等については、別に考慮すること。
S 62. 11. 27	S 63. 1. 22 3回開催	(1) 安定した給水体制を確保するための施設整備等に必要な資金のため、S 63年度平均11.5%の引き上げは、やむを得ないものと認める。 なお、別荘料金については、据置きを認める。 ○附帯意見 ① 現行の料金体系（口径別及び用途別の併用型料金体系）のうち用途別による料金格差の緩和を図るため、一般家事用への影響を考慮の上、全国的に採用の多い口径別料金体系への逐次移行について、今後検討を進めること。 なお、公衆浴場の料金体系については、今後とも別途配慮すること。 ② 水道事業の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げ率の抑制に努めること。 ③ 市民サービスの向上については、水道事業運営の基本に据え、各種施策を進めること。
H元. 2. 28	H元. 2. 28 1回開催	(1) 安定した健全経営を維持するため、平成元年4月1日からの3%の引上げは、やむを得ないものと認める。 ○附帯意見 ① 水道料金等に消費税が導入されることについて、委員の一部に反対の意見もあった。 ② 水道の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げの抑制に努めること。 ③ 水道料金等に10円未満の端数が生じたときは、納入の利便を図るため、当該金額を切り捨てるものとする。 ④ 水道料金等に消費税が導入されることに伴う料金改定について、市民に十分理解が得られるような措置を講ずる必要がある。
H 6. 10. 3	H 7. 1.18 4回開催	(1) 料金算定期間は、平成7年度から平成9年度までの3か年間とする。 (2) 料金体系については、次のとおりとする。 ① 一般家事用及び業務用の用途区分を廃止し、口径別料金体系に改める。 ② 別荘地用及び共用栓用以外の基本料金に係る使用水量を廃止する。 ③ 「超過料金」の名称を「水量料金」に改める。 ④ 一般用及び公衆浴場用の水量料金に係る使用水量区分を改める。 (3) 水道料金を平均8.62%引き上げる。 (4) 改定後の料金は、平成7年5月1日使用分から適用するものとする。 ○附帯意見 ① 大口使用者と小口使用者との料金格差を縮小するよう努めること。 ② 物価上昇や水道財政を考慮し、概ね3年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅改定を避けるように努めること。 ③ 公営企業の経営原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。

諮詢年月日	答申年月日	答申内容概略
		<p>④ 料金改定について住民の理解を深めるよう、PR等に努めること。</p> <p>⑤ 限りある水資源を無駄なく大切に使うこと等の必要性についてPR活動を強化すること。</p>
(H 9.10.7)	(H 9.10.7)	水道料金等審議会を開催し、平成10年度から平成12年度までの3か年を料金算定期間とした経営状況を報告し、水道料金を据え置きとした。(諮詢なし)
H13. 1.30	H13. 1.30 1回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成13年度から平成15年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p>
H15. 11. 5	H15.12.25 3回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成16年度から平成18年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p>
H18. 6.26	H18.11.24 3回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成19年度から平成21年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p> <p>○附帯意見 現状の遙増料金体系において一部に不公平感が生じており、累進度の緩和を含め料金体系の在り方についての検討が必要である。</p>
H21.11. 6	H22. 1. 7 4回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成22年度から平成24年度までの3年間とする。</p> <p>(2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.5パーセントとする。</p> <p>(3) 水道料金を平均9.73パーセント引き上げる。</p> <p>(4) 改定後の料金は、平成22年6月1日使用分から適用するものとする。</p> <p>○附帯意見            ① 公営企業として独立採算の原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。            ② 経済情勢や水道経営状況に鑑み、概ね3年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅な改定を避けるよう努めること。            ③ 料金改定について、水道使用者に周知するとともに、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行い、事業に対する理解が更に深まるよう努めること。            ④ 料金体系における累進度の緩和については、使用者間の負担の公平性を高め、大口使用者の需要を促すため、今後も引き継ぎ緩和に努めること。         </p> <p>※市議会建設企業委員会からの意見により、平均7.71%の引き上げとした。</p>
H24. 8.27	H25. 1. 9 7回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成25年度から平成28年度までの4年間とする。</p> <p>(2) 上記の期間における資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.0パーセントとする。</p> <p>(3) 水道料金を平均7.86パーセント引き上げる。</p> <p>(4) 改定後の料金は、平成25年6月1日使用分から適用するものとする。</p> <p>(5) 共用給水装置による料金種別を廃止する。</p> <p>○附帯意見            ① 業務の見直しを積極的に推進し、一層のコスト削減を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。            ② 今後の水道料金及び下水道使用料の見直しについては、利用者負担を勘案し、概ね5年以内とすること。            ③ 料金改定について利用者に周知するとともに、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。            ④ 水需要の変化や負担の公平性の観点から、遙増制料金及び別荘用料金のあり方について検討すること。         </p>
H28. 7.27	H29. 1.17 7回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間とする。</p> <p>(2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率を年0.50パーセントとする。</p>

諮詢年月日	答申年月日	答申内容概略
H28. 7.27 7回開催	H29. 1.17	<p>(3) 基本料金を改定し、水道料金に占める基本料金の構成割合を36パーセントとする。</p> <p>(4) 水道料金を平均5.49パーセント引き上げる。</p> <p>(5) 公衆浴場用水道料金については、公衆浴場の経営実態を勘案し、現行料金を据え置きとする。</p> <p>(6) 別荘用水道料金のうち飯綱高原地区については、現行料金を据え置きとし、それ以外の地区については、一般用料金改定の例により引き上げるものとする。</p> <p>(7) 改定後の料金は、平成29年6月1日使用分からの適用とする。</p> <p>(8) 別荘用水道については、使用しない場合であっても基本料金を納付することとしているが、一般用水道と同様に、使用中止を認める取扱とすることが適当である。</p> <p>○附帯意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 水道事業経営戦略に基づき、より一層の経営効率化を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。</li> <li>② 今後の給水人口減少を見据え、将来世代の負担を軽減するため、企業債借入額の抑制を図るよう努めること。</li> <li>③ 今回作成した経営見通しの事後検証を実施し、安定的な事業運営が見込めない場合には、必要に応じて水道料金の見直しを行うこと。</li> <li>④ 利用者への料金改定の周知に当たっては、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の施設更新計画及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。</li> </ul>

## (4) 主な委託業務（主として100万円以上）

(単位：円)

区分	委託業務内容	委託料	備考
淨水関係	犀川・夏目ヶ原浄水場等運転管理業務	156,960,000	
	機械点検業務	102,301,004	
	乾燥汚泥搬出業務	19,065,196	数量単価契約
	旧簡易水道地区水質検査	15,238,200	
	岩野水源撤去工事実施設計業務委託	10,439,000	
	給水栓水毎日検査・採水業務	7,992,820	
	ろ過砂洗砂業務	5,314,000	数量単価契約
	沈砂池浚渫・清掃業務	1,917,300	
	クリプトスポリジウム等検査業務	1,443,300	数量単価契約
	犀川浄水場外緑地管理業務	1,300,707	
配水・給水関係	公道分修繕業務	133,135,310	数量単価契約・包括委託
	機械点検業務	21,787,532	
	漏水調査業務	18,942,000	
	配水池等清掃業務	12,004,140	
	維持管理道路除雪業務	1,385,557	
料金関係	検針・料金徴収業務	135,149,617	
	水道料金システム処理業務	7,236,232	
	コンビニ収納	5,354,864	数量単価契約
その他の	台風19号災害関連業務	28,720,511	
	宿日直業務	25,674,186	日数単価契約・包括委託
	施設草刈・剪定・伐採業務	25,445,640	
	水道G I S整備・更新業務等	25,179,000	
	施設清掃業務	6,187,357	
	長野市上下水道局広報紙配布業務	5,275,600	
	親水公園管理業務	2,378,635	日数単価契約
	山内・西条浄水場膜モジュール洗浄業務	2,268,000	
	財務会計システム運用支援業務	1,963,500	
	人事給与庶務事務システム運用支援業務	1,266,023	